

2025年度
帝京大学工学部情報科学科
通信教育課程 募集要項



出願期間	正科生	2025年2月1日(土)～2025年3月21日(金)17:00 [書類3月24日(月)必着]
	科目等履修生	2025年2月1日(土)～2025年3月21日(金)17:00 [書類3月24日(月)必着]
		2025年8月25日(月)～2025年9月5日(金)17:00 [書類9月8日(月)必着]
取得できる資格	学位:学士(工学)、高等学校教諭一種(情報) Degree: Bachelor of Engineering	

目次

出願の流れ		②出願手続	15
建学の精神	1	・ 出願書類	16
教育理念	1	③学費等（納入金）	18
教育指針	1	2年次編入学	19
理工学部 of 教育目的	1	①出願資格	19
情報科学科 of 教育目的	1	②出願手続	19
アドミッション・ポリシー	2	・ 出願書類	19
カリキュラム・ポリシー	2	③学費等（納入金）	21
ディプロマ・ポリシー	3	3年次編入学	22
		①出願資格	22
1. 目的選び	4	②出願手続	22
2. 出願から卒業（修了）まで	5	・ 出願書類	22
3. 学習について	6	③学費等（納入金）	24
テキスト授業（T）	6	再入学	25
メディア授業（M）	7	①出願資格	25
スクーリング授業（S）	7	②出願手続	25
スクーリング実施日程	8	・ 出願書類	25
科目修得試験実施日程	9	③学費等（納入金）	26
卒業までに必要な最低単位数（参考）	11	II. 科目等履修生について	27
編入学希望者の既修得単位の認定基準（参考）	11	①出願資格	27
4. 募集について	12	②出願手続	27
募集人員および選考方法	12	・ 出願書類	27
入学時期および出願期間	12	③学費等（納入金）	29
取得できる資格	12	④注意事項	29
入学に関する注意事項	13	⑤教員免許状（高校一種 情報）を希望する方へ	30
出願手続～学修開始まで（補足）	14	⑥学習の継続について	30
I. 正科生について	15	5. 開講科目について	31
1年次入学	15	開講科目一覧表	31
①出願資格	15	開講科目一覧表の注意事項	33

カリキュラムマップ（科目関連相関図）	34	10. 振込依頼書および志願票の記入例	66
6. 科目の概要	35	●振込依頼書記入例	66
7. 教職課程について	46	●志願票記入例	66
Ⅰ. 正科生	47	11. 科目等履修生 履修登録用紙の記入例	67
Ⅱ. 科目等履修生	49	12. 健康診断書	68
Ⅲ. 授業科目等	50	13. 誓約書の記入例	69
8. 教職課程科目の概要	53	14. 個人情報の取り扱いに関する同意書の記入例	71
9. Q & A こんなことが知りたい	56	15. 出願書類郵送用封筒表紙の記入例	72
通信教育について	56		
入学について	57	帝京大学宇都宮キャンパスにおける個人情報の 取扱いについて	73
学費・諸費用について	59		
教科書（テキスト）について	59	出願書類（所定用紙） ※各種所定用紙のプリント出力時のご注意	
科目修得試験について	60	帝京大学グループ健康診断証明書	
スクーリングについて	61	基礎資格証明書	
科目の登録について	62		
卒業について	63		
学生生活について	63		
転籍について	64		
休学について	64		
教職課程について	64		

個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。

業務委託に際し、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。詳細は、本学ホームページにてご確認ください。

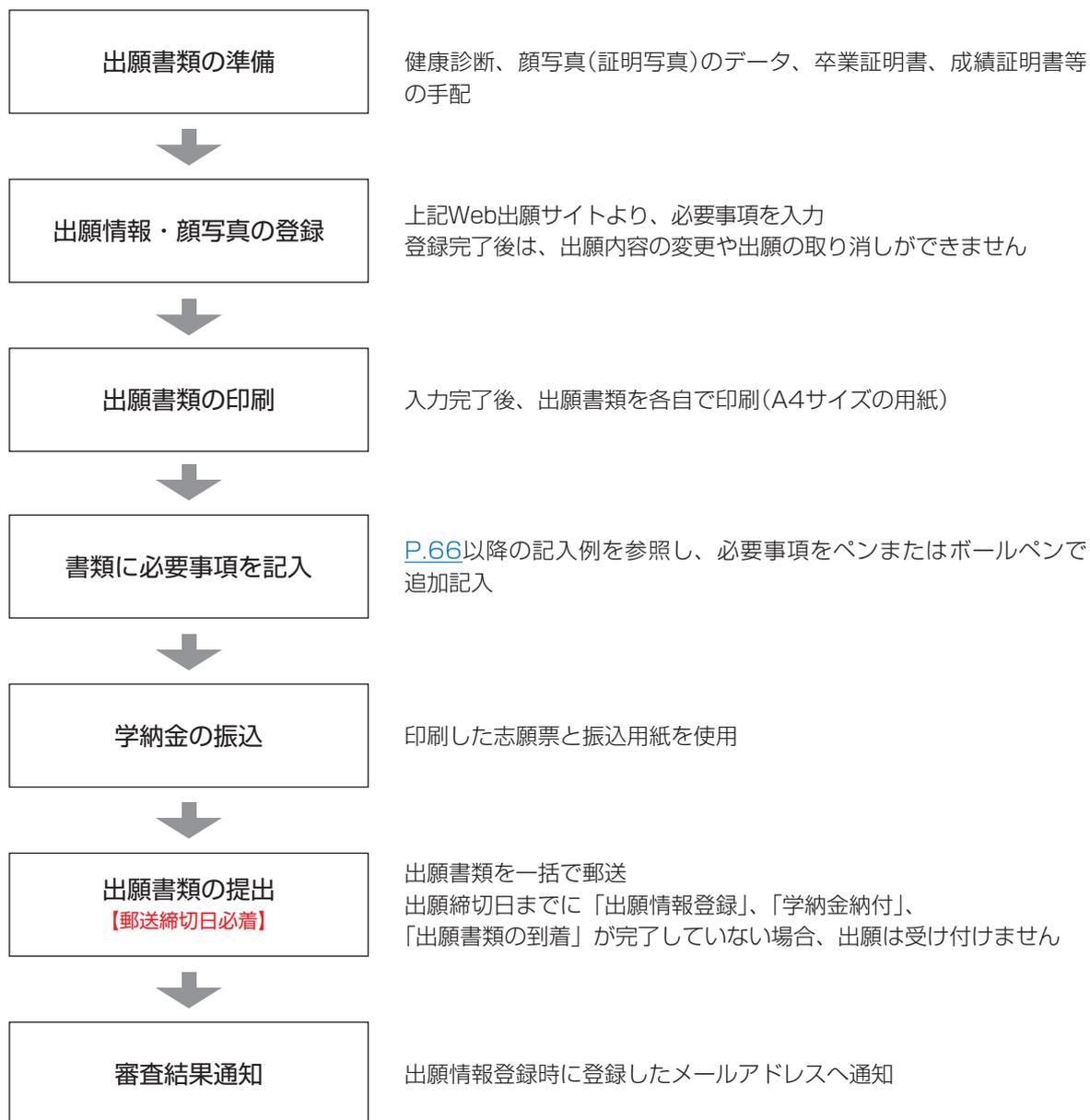
◎インターネットによる出願受付です。
下記Web出願サイトより、手続きを行ってください。



<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>

※帝京大学(通学課程)のインターネット出願とは異なりますのでご注意ください。

出願の流れ



不明な点は、宇都宮キャンパス教務課 (TEL028-627-7117) へお問い合わせください。

建学の精神

努力をすべての基とし
偏見を排し
幅広い知識を身につけ
国際的視野に立って判断ができ
実学を通して創造力および人間味豊かな
専門性ある人材の養成を目的とする

教育理念

「自分流」とは

自分流とは、生き方の哲学そのもので、自分のなすべきこと、興味あることを見つけだし、自分の生まれ持った個性を最大限生かすべく知識や技術を習得し、それを自分の力として行動する。そしてその結果については自分自身が責任をもつことである。本学はこの自分流の生き方を学生に身につけてもらうべく、サポートしている。

教育指針

実践を通して論理的な思考を身につける「**実学**」
異文化理解の学習・体験をする「**国際性**」
必要な知識・技術を偏ることなく幅広く学ぶ「**開放性**」

理工学部 of 教育目的

理工学部は、建学の精神に則り、理学系分野、工学分野にかかわる幅広い知識を身につけ、国際的視野に立って判断ができる人材の育成を目指す。各分野において、実験、実習に重点をおいた理論から実践に亘る実学教育により、創造力および人間味豊かな専門性を持った人材を育成することを目的とする。

情報科学科 of 教育目的

情報科学科通信教育課程は、理工学部の目的に則り、時間や場所に制約されることのない学修機会を提供することにより、教養と理工学の基礎を学び、その上に情報科学の知識と技術を身につけた、高度情報化社会に対応できる専門性のある人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

【帝京大学】

帝京大学は、建学の精神に則り、学位授与に要求される能力を身につけた人材を育成するために、以下の素養を持つ様々な学生を広く国内外から受け入れる。

1. 本学の建学の精神、教育理念および教育指針を理解し、本学にて学ぶことを希望する者。
2. 入学後の修学に必要な基礎学力と学修意欲を有する者。
3. 偏見を排し、幅広い知識を身につけるために努力し続ける態度を体得している者。
4. 本学における学修や経験を通して自らの成長を望み、それをを用いて社会に貢献する意思を有する者。
5. 明確な目的意識を持ち、主体的に他者と協働して学ぶ意欲を有する者。

このような学生を適性に選抜するために、多面的・総合的に評価を行う。

【理工学部】

理工学部は、さまざまな問題が地球規模で複雑に絡み合った現代社会において、幅広い教養と専門分野の知識と技術を身につけ、国際的視野に立って判断ができ、創造力および人間味豊かな専門性を持った社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。

理工学部では、専門分野の知識と技術を基に、新しい物や方法の開発、未知の事象の発見と解明などを、他者と協働して成し遂げるプロセスを学びます。そのため、理工学の学修の基礎となる理数系の知識に加え、新たな知識や概念を獲得するための思考力、語学力、および協調的な態度を身につけていることが重要となります。高等学校等における学修や活動を通じて、次のような能力・素養・意欲を備えた入学者を求めています。

1. 志望する専門学科の学修や、新しい知識や概念の獲得に必要な基礎学力を有する。
2. 何事にも興味を持つ好奇心、種々の課題にチャレンジする積極性、他者と良好なコミュニケーションを取ろうとする協調性を有する。
3. 理工学の専門分野を主体的に学ぼうとする強い意欲を有する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

【帝京大学】

帝京大学は、学位授与に要求される能力を修得するために、学部学科等において教養教育科目および専門科目を体系的・効果的に編成し、講義、演習および実習等を適切に組合せた授業を開講する。また、教育の質の向上に努めるために、履修に必要な指導等をきめ細かく行う。

各科目については、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 教養教育科目においては、帝京大学教養教育ミッションに基づき、生涯学び続ける力の修得ができる科目編成を行う。
2. 専門科目においては、学部学科等の専門分野についての主体的な学びを促し、知識・技能を身につけるための系統的な科目編成を行う。
3. 教育指針の「実学」に基づき、実践を通して論理的な思考を身につけるための科目編成を行う。
4. 教育指針の「国際性」に基づき、異文化理解の学修ができる科目編成を行う。
5. 教育指針の「開放性」に基づき、学生の視野を広げるため、必要な知識・技能を偏ることなく幅広く学ぶことができる科目編成を行う。

【理工学部】

学位授与に要求される能力を修得するために、理工学部は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 生涯学び続ける力、国際的視野に立って判断できる力、そして技術者に必要な基礎的知識を身につけるために
2. 共通教育科目を設定する。
3. 理工系の技術者として必要な専門的知識と総合的視野を身につけるために専門科目を設定する。
4. 実学を通して、さまざまな課題に対応できるように演習・実験・実習・卒業研究を設定する。

【通信教育課程】

学位授与に要求される能力を修得するために、情報科学科通信教育課程は、以下の方針でカリキュラムを編成する。時間や場所に制約されることなく学修が可能となるよう、各科目をテキスト授業、スクーリング授業、インターネットを介したメディア授業のいずれかとして開講する。

1. 人間と社会と環境の関係の重要性を理解し、広い視野を持ち、幅広い教養を身につけることができるよう、教養教育科目、外国語科目の共通教育科目を設ける。
2. 理工系の基盤である数学、物理、化学、情報の知識と活用能力を育むための力を養成するために、専門基礎科目を設定する。
3. 情報科学、データサイエンス、ロボティクスの基礎知識から応用技術までを身につけ、技術者としての倫理観に基づいて判断できる力を養成するために、専門基礎科目、専門展開科目を設定する。
4. 高い技術力、豊かな創造力、優れた課題解決力、総合的判断力を養成するために、専門基礎科目、専門展開科目を設定する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

【帝京大学】

帝京大学は、建学の精神に掲げる人材の育成を目的および使命としており、これを達成するために「自分流」という教育理念および「実学・国際性・開放性」という具体的な教育指針を示し、学部学科等において教育目的を定めている。これらの方針の下で、教養教育科目と専門科目からなる教育課程を編成する。

以下の能力を身につけ、所定の教育課程および単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. 本学の教養教育の学修目標に掲げる能力を身につけている。
2. 幅広い教養と社会的倫理観、豊かな創造力および人間味を身につけている。
3. 専門分野についての知識・技能を有し、それを用いて社会に貢献する意思を持っている。
4. 異文化を理解し、国際的視野により物事を判断できる素養を持っている。
5. 主体性を持って他者と協働して学び、自他を更に高め合う関係を構築できる。

【理工学部】

理工学部は、理学、工学の教育研究を基盤に、専門的知識と総合的視野をもち、社会の発展に寄与できる人材の育成を目指している。以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

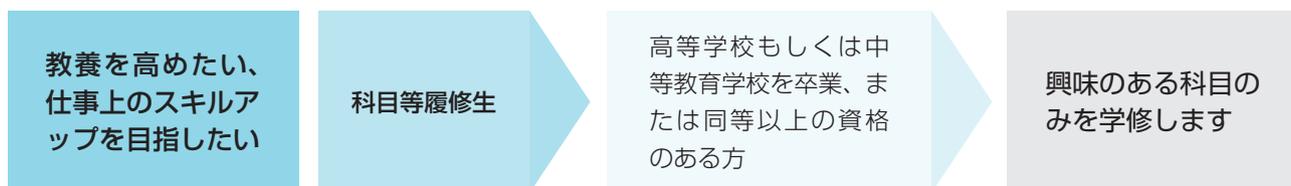
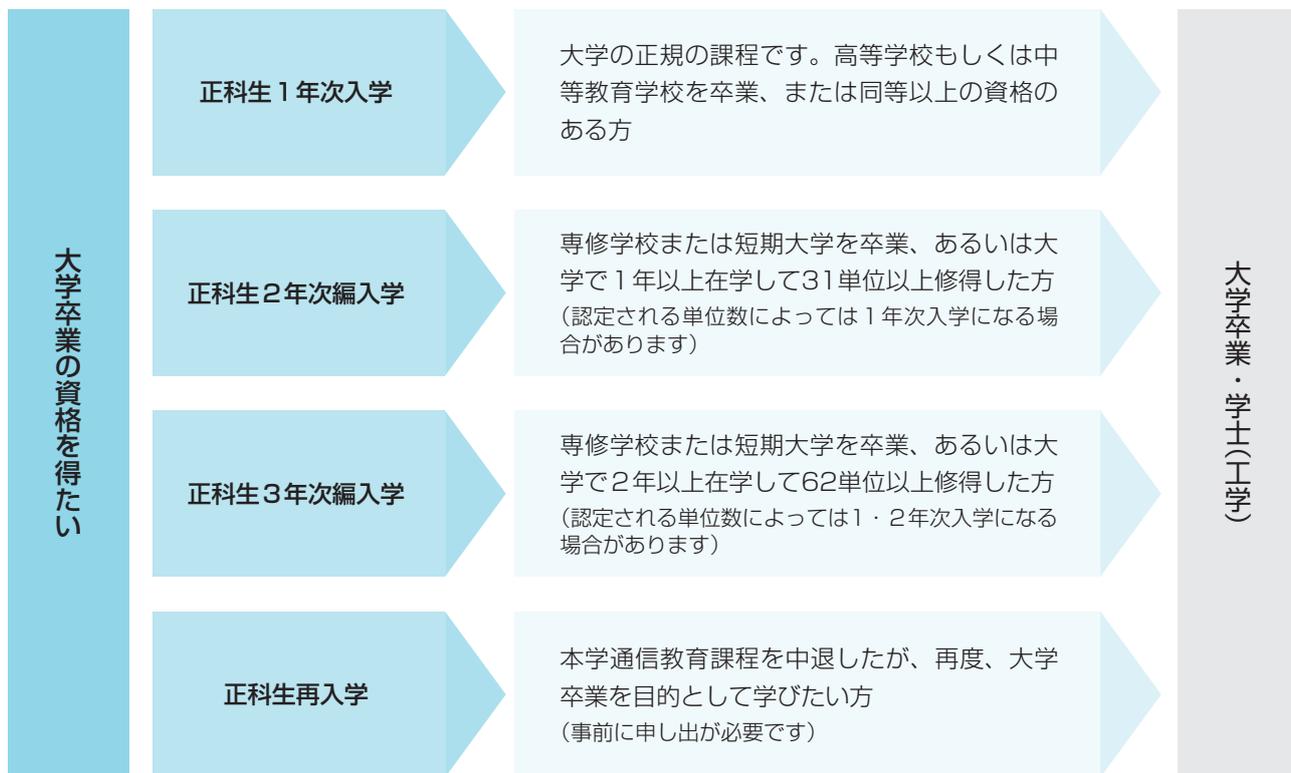
1. 人文科学、社会科学、自然科学を学び、さらに専門科目を通して幅広い知識を身につけ、応用課題に適応できる。
2. 多文化・異文化に関する知識を持ち、コミュニケーションスキルを活用して協働作業ができる。
3. 実学を通して獲得した能力を総合的に活用して、さまざまな課題に対応できる。

【通信教育課程】

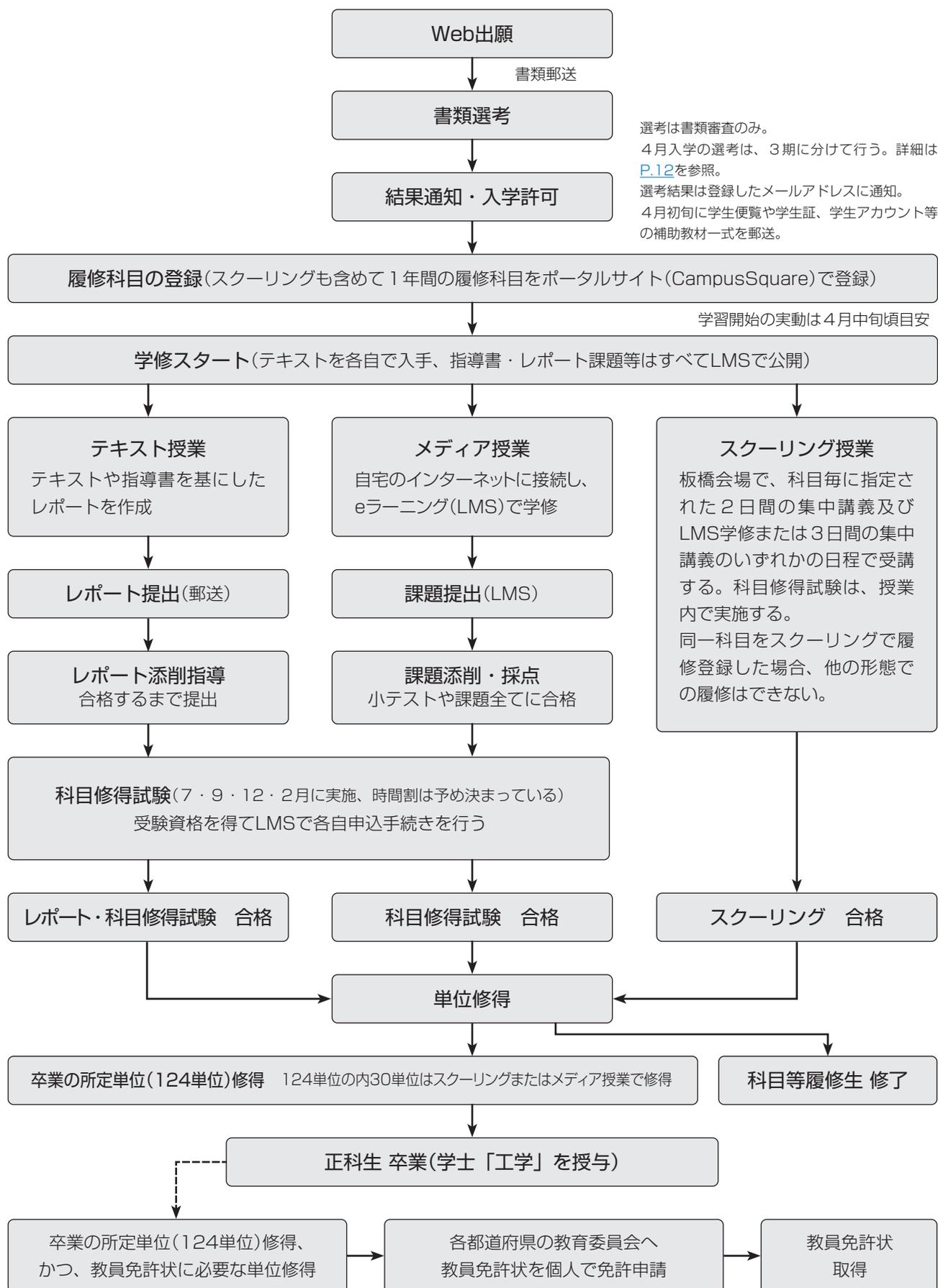
情報科学科通信教育課程は、理工学の基礎の上に情報科学の諸理論と、データサイエンス、AI、ロボティクスの各分野の技術を広く深く理解した上で、情報社会の諸問題を合理的かつ主体的に解決できる能力と、情報システムを構築する実践的な能力を共に身につけ、倫理観を持って国内外において活躍できる豊かな人間性と創造力を持った技術者を養成することを目指している。以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に学位を授与する。

1. 外国語を自主的継続的な学習により身につけ、基礎的な教養をもとに、総合的な判断ができる。
2. 社会と環境の関係の重要性を理解し、広い視野を持ち、技術者としての倫理観に基づいて判断することができる。
3. 情報科学とデータサイエンス、ロボティクスの基礎的な理論とAIの基礎を理解し、それらを現実問題の解決に活用できる。
4. 情報科学の応用技術を理解し、それらを現実の情報システムの開発に活用できる。
5. 高度情報化社会における様々な問題を多面的に分析、統合し、かつ、課題を設定し、継続的な努力により解決することができる。

1. 目的選び



2. 出願から卒業(修了)まで



3. 学習について

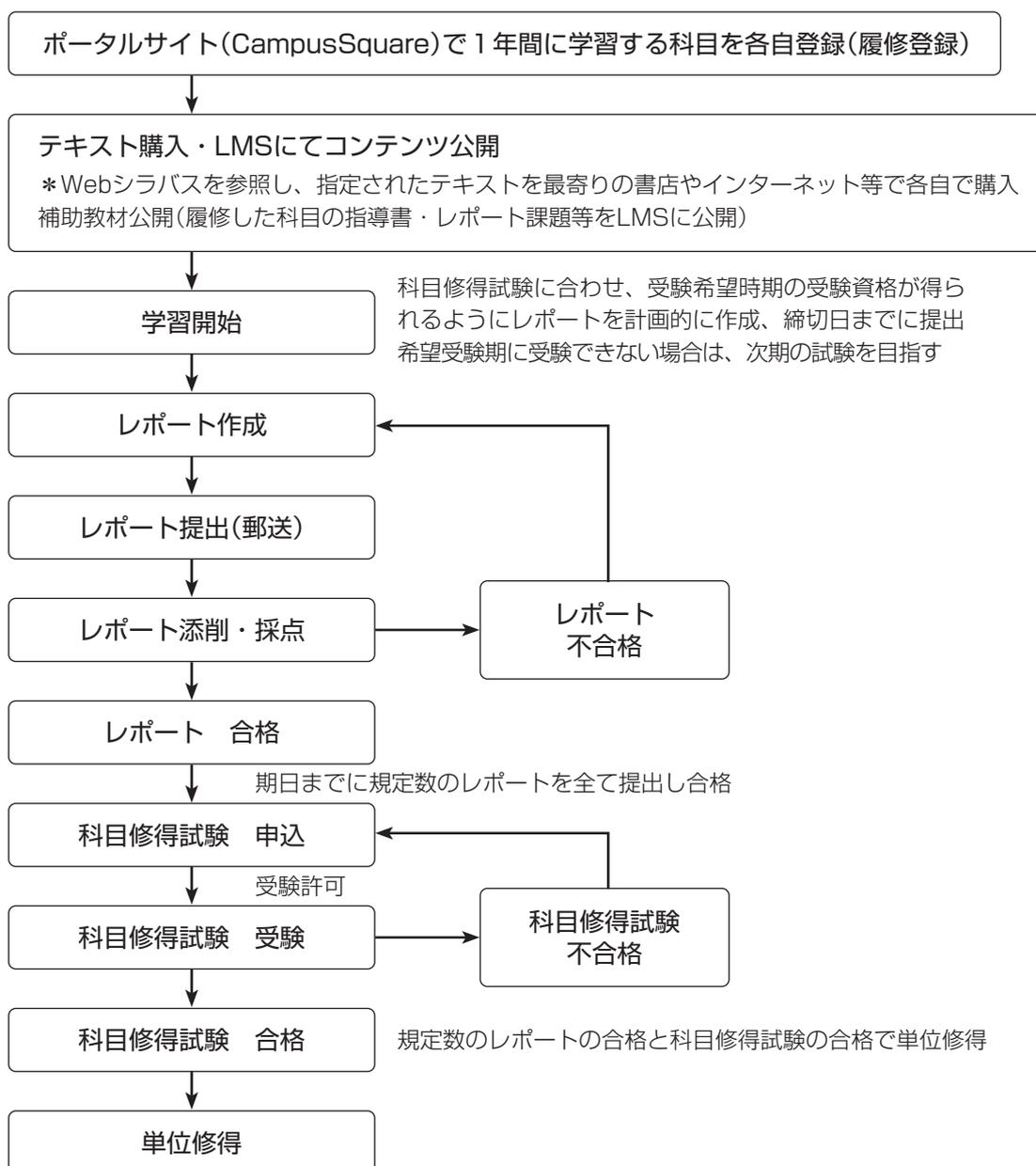
補助教材は到着後ただちに開封し、学生アカウントを使用してポータルサイト（CampusSquare）からeラーニング（LMS = Learning Management System）にログインします。必要な連絡および科目情報を得て、1年間に履修（学習）する科目を登録しなければなりません（履修登録といいます）。履修登録完了後、数日でeラーニングで指導書やレポート課題、学習コンテンツが公開され、学習開始となります。

通信課程では、使用するeラーニング（LMS）が教室となり、大学からのお知らせなども全てLMSで配信されます。インターネット経由で提供される、eラーニング（LMS）の環境にアクセスできること（[P.13参照](#)）や、eメールで教員・事務局とやり取りができることが求められます。

学習は次に説明する テキスト授業（T）・スクーリング授業（S）・メディア授業（M）により行い、全ての科目は、科目修得試験に合格することにより単位を修得できます。

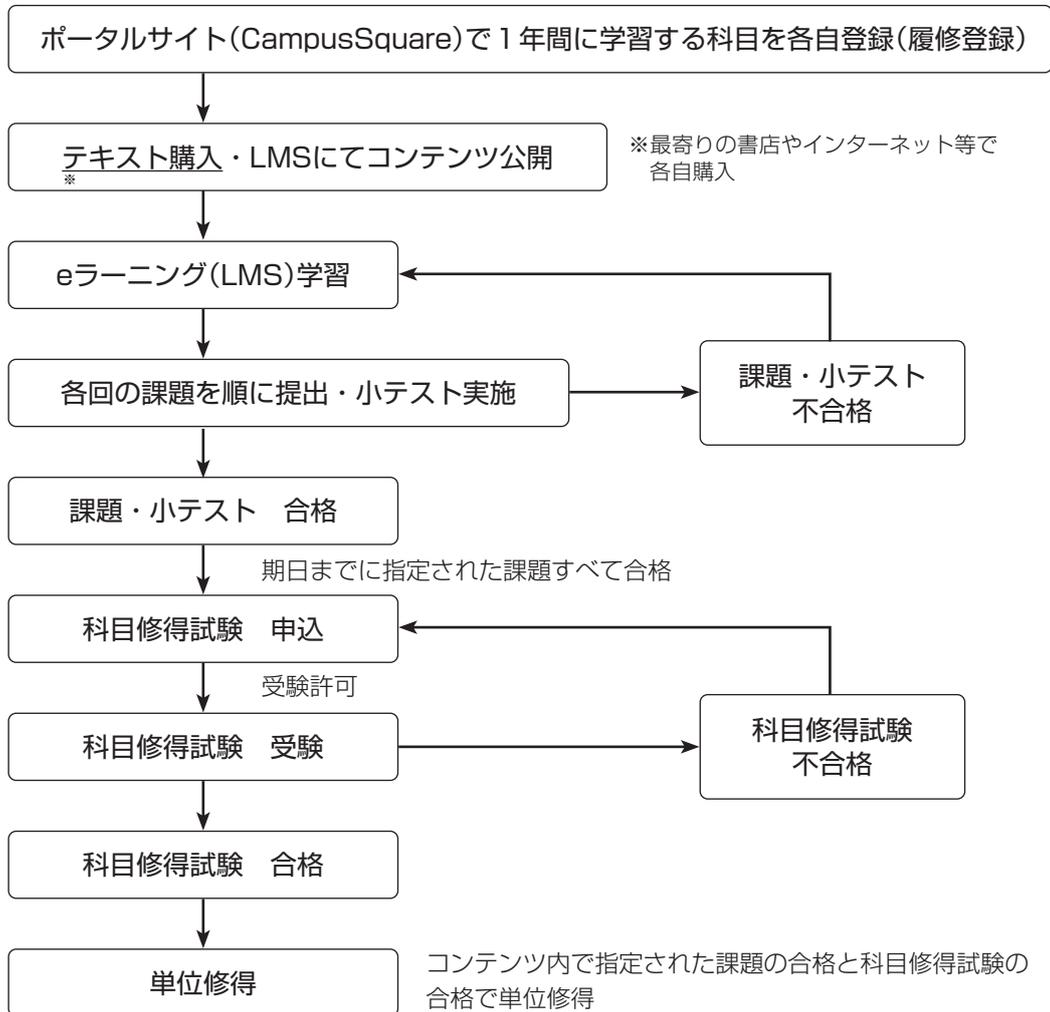
テキスト授業（T）

指定されたテキストを基に自学学習し、与えられた課題に対してレポートを提出します。規定数のレポートに合格した上で、科目修得試験を受験し単位修得をするものです。テキストによる自宅学習が中心となり、通信課程での単位修得の中心となる授業です。



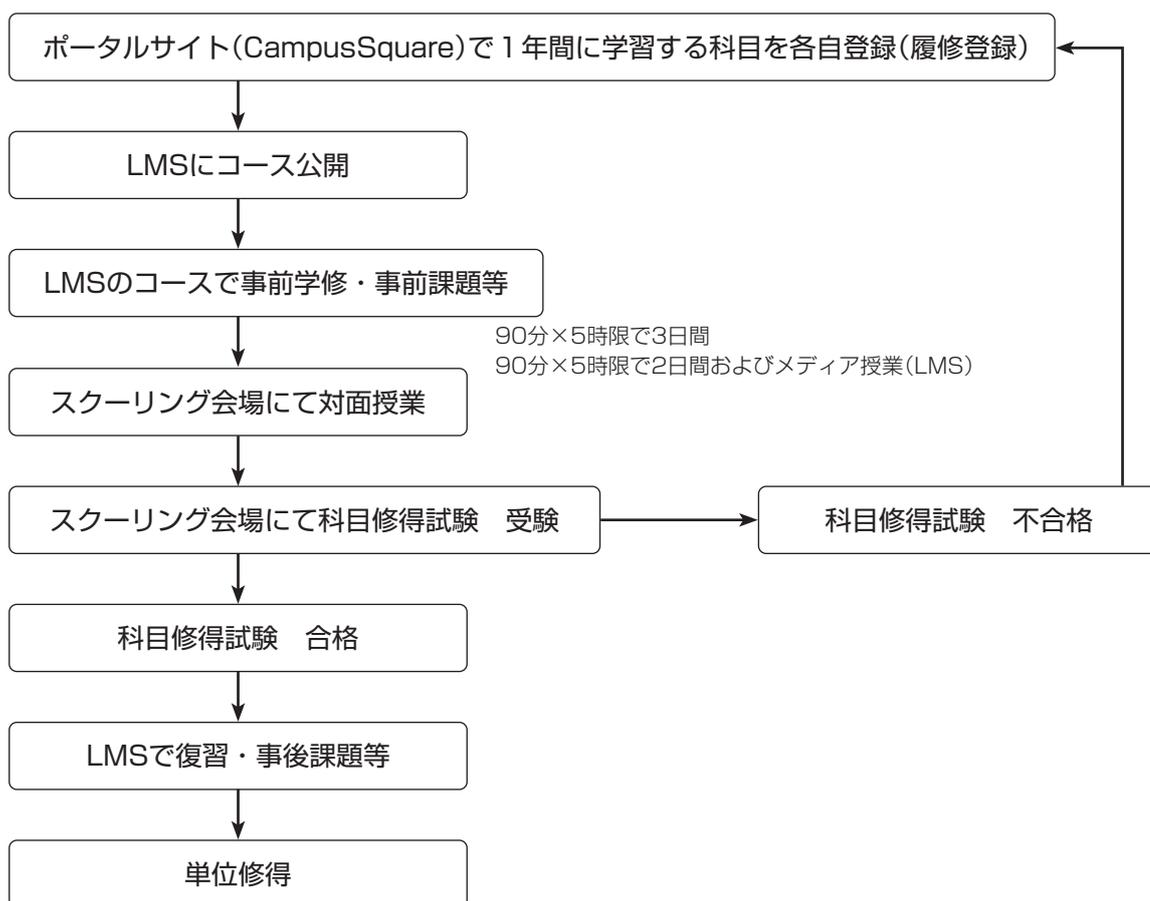
メディア授業 (M)

自宅のパソコンからインターネットを利用してeラーニング(LMS)で学習を進め、演習や小テスト等を行います。指定された課題を合格した上で、科目修得試験を受験し単位修得をするものです。スクーリング(S)でも開講されている科目は、履修登録の際に、どちらの授業形態で学修するかを選択します。メディア科目として受講する場合は、スクーリング科目として履修することができません。



スクーリング授業 (S)

決められた期間通学して、教室等で直接授業を受ける授業形態です。履修登録の際に、スクーリング授業として選択した対象科目について、1科目につき、2日間ないしは3日間受講します。2日間で実施する科目は、LMSでの学修も行わなければ単位認定されません。メディア(M)でも開講されている場合は、履修登録の際に、どちらの形態で学修するかを選択します。スクーリング科目として受講する場合は、メディア科目として履修することができません。



スクーリング実施日程

- 2025年度スクーリング実施日程は入学後にLMSでお知らせします。

科目名 (配当年)	スクーリング会場・実施日		備考
	宇都宮会場	板橋会場	
情報基礎1 (1年)		6～9月 及びLMSの学修	履修登録においてスクーリング(S)を選択することで受講が確定します。スクーリング(S)を選択した場合メディア(M)、テキスト(T)では登録できません。
基礎数学 (1年)		6～9月 及びLMSの学修	
国際言語文化 (1年)		6～9月 及びLMSの学修	
論理数学 (1年)		10～2月 及びLMSの学修	
教育実習指導* (4年)	事前・事後指導 実習終了後に実施		*教職課程履修者で条件を満たした場合のみ受講できます。
教職実践演習(高)* (4年)	実習終了後に実施		

●スクーリング実施会場

試験実施会場		所在地 (最寄駅)
板橋	帝京大学 板橋キャンパス	〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 (最寄駅) JR十条駅北口より徒歩10分
宇都宮	帝京大学 宇都宮キャンパス	〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 (最寄駅) JR宇都宮駅西口(関東自動車バス⑤番のりば)よりバス20分

科目修得試験実施日程

科目修得試験は、1科目につき2回、受験の機会があります。時間割は予め決定（次ページ参照）していますので、受験したい時期のレポート提出締切日に合わせて学修を進めることとなります。I～IV期の科目修得試験は、メディア授業とテキスト授業の試験です。科目修得試験は、インターネット回線を使用して自宅のパソコンで受験するオンライン試験となりますので、事前に自宅の通信環境を整える必要があります。

● 2025 年度科目修得試験日程（予定）

実施時期		試験実施日	レポート提出締切	受験申込期間(LMS)	試験会場
I 期	7月	7/5(土)～7/6(日)	6/6(金)必着	6/6(金)～6/9(月)	自宅 (オンライン試験)
II 期	9月	9/6(土)～9/7(日)	8/8(金)必着	8/8(金)～8/11(月)	
III 期	12月	12/6(土)～12/7(日)	11/7(金)必着	11/7(金)～11/10(月)	
IV 期	2月	2/7(土)～2/8(日)	1/9(金)必着	1/9(金)～1/12(月)	

【科目修得試験の受験資格】

テキスト授業の科目は、規定数のレポート課題を指定された期日（レポート提出締切日）までに提出しすべて合格していること、メディア授業の科目は、各試験期の指定された期日までに規定数の課題をすべて合格していることが、受験資格を得る条件となります。入学時期が遅い場合、受験資格が得られない場合があります。

【科目修得試験（オンライン試験）の受験環境】

●通信環境

インターネット接続が必要です。接続中断等のトラブルを避けるため、有線 LAN ケーブルを使用することを推奨します。Wi-Fi 等を使用する場合は電波の良い環境をご準備ください。動作環境と推奨環境の詳細については [P.13](#) 「入学に関する注意事項（インターネット環境について）」にてご確認ください。

●受験に必要な機器類

カメラ付き PC（Web カメラを接続した PC）、インターネット環境、プリンター（複合機）
Zoom アプリ、レターパック、PDF スキャンアプリ、マイク

● 2025 年度科目修得試験時間割 (予定ですので入学後に LMS で確認してください。)

時限	Ⅰ期				Ⅱ期			
	配当学年	2025年7月5日(土)	配当学年	2025年7月6日(日)	配当学年	2025年9月6日(土)	配当学年	2025年9月7日(日)
1	2	英語3	1	教職論	1	教育の理念と歴史/教育史	1	経済学
	3	特別支援教育論	1	現代世界の政治経済	1	教育心理学	1	ロボティクス概論
	4	人工知能	2	プログラミング3	2	電気回路2	2	教育制度論
			3	画像情報処理	3	情報社会論	2	Webアプリケーション
							3	電波法及び電気通信法
2	1	情報基礎1	1	現代日本史	1	心理学	1	データサイエンス・AI入門
	2	コンピュータネットワーク	1	情報技術基礎	1	西洋史	1	社会心理学
	3	生徒指導・進路指導論	2	法学	2	離散数学	2	プログラミング4
	4	デジタル信号処理	3	情報理論	3	情報科学演習4	3	デジタル通信
3	1	人間関係論	1	社会学	1	スポーツ科学	1	プログラミング2
	1	基礎数学	2	電磁気学1	2	数理統計学	2	英語4
	2	グラフ理論	3	コンピュータアーキテクチャ	3	情報システム	3	情報技術者演習
	4	自動制御論	3	通信方式	4	情報と職業		
4	1	線形代数	1	健康支援学	1	Web技術	1	地理学
	2	電気回路1	2	幾何学	2	情報科学演習2	2	オートマトンと計算理論
	3	情報セキュリティ	3	電子回路1	3	コンピュータグラフィックス	3	論理回路
	4	オペレーションズリサーチ	3	情報科学演習3	3	情報システムデザイン	4	システム科学
5	1	プログラミング1	2	データ構造とアルゴリズム	1	技術者倫理	1	微分積分1
	2	情報科学演習1	2	教育の方法と技術 (ICT活用を含む)	2	英語コミュニケーション	2	応用数学
	3	コンピュータシミュレーション	3	オペレーティングシステム	3	電子回路2	2	データベース論
					4	データサイエンス概論	3	教育相談
6	1	物理学1	1	英語1	1	英語2	1	論理数学
	2	微分積分2	2	情報科教育法1	1	化学1	1	生物学1
					2	電磁気学2	2	教育課程論
					3	特別活動と総合的な学習の時間の指導法/特別活動の指導法	3	情報科教育法2

時限	Ⅲ期				Ⅳ期			
	配当学年	2025年12月6日(土)	配当学年	2025年12月7日(日)	配当学年	2026年2月7日(土)	配当学年	2026年2月8日(日)
1	1	教職論	2	英語3	1	経済学	1	教育の理念と歴史/教育史
	1	現代世界の政治経済	3	特別支援教育論	1	ロボティクス概論	1	教育心理学
	2	プログラミング3	4	人工知能	2	教育制度論	2	電気回路2
	3	画像情報処理			2	Webアプリケーション	3	情報社会論
					3	電波法及び電気通信法		
2	1	現代日本史	1	情報基礎1	1	データサイエンス・AI入門	1	心理学
	1	情報技術基礎	2	コンピュータネットワーク	1	社会心理学	1	西洋史
	2	法学	3	生徒指導・進路指導論	2	プログラミング4	2	離散数学
	3	情報理論	4	デジタル信号処理	3	デジタル通信	3	情報科学演習4
3	1	社会学	1	人間関係論	1	プログラミング2	1	スポーツ科学
	2	電磁気学1	1	基礎数学	2	英語4	2	数理統計学
	3	コンピュータアーキテクチャ	2	グラフ理論	3	情報技術者演習	3	情報システム
	3	通信方式	4	自動制御論			4	情報と職業
4	1	健康支援学	1	線形代数	1	地理学	1	Web技術
	2	幾何学	2	電気回路1	2	オートマトンと計算理論	2	情報科学演習2
	3	電子回路1	3	情報セキュリティ	3	論理回路	3	コンピュータグラフィックス
	3	情報科学演習3	4	オペレーションズリサーチ	4	システム科学	3	情報システムデザイン
5	2	データ構造とアルゴリズム	1	プログラミング1	1	微分積分1	1	技術者倫理
	2	教育の方法と技術 (ICT活用を含む)	2	情報科学演習1	2	応用数学	2	英語コミュニケーション
	3	オペレーティングシステム	3	コンピュータシミュレーション	2	データベース論	3	電子回路2
					3	教育相談	4	データサイエンス概論
6	1	英語1	1	物理学1	1	論理数学	1	英語2
	2	情報科教育法1	2	微分積分2	1	生物学1	1	化学1
					2	教育課程論	2	電磁気学2
					3	情報科教育法2	3	特別活動と総合的な学習の時間の指導法/特別活動の指導法

卒業までに必要な最低単位数（参考）

2025 年度入学生

科目区分		最低必要単位数		備 考	
共通教育科目	必修	4	16	各科目区分において定められた単位を最低限修得してください	
	選択	*12			
専門基礎科目	必修	6	92		
専門基盤科目	必修	22			
専門科目	選択	*64			
共通教育科目、専門科目		選択	16	16	*の最低必要単位数を超えて修得した単位数を充当します
合 計		124		124単位中、スクーリング授業またはメディア授業で必ず30単位以上になるよう修得してください	

- 選択科目は、共通教育科目の選択科目を 12 単位、専門科目の選択 64 単位、科目区分を問わずに選択科目 16 単位、合計 92 単位を最低限修得してください。
- 卒業に必要な最低単位数 124 単位に教員免許状に必要な「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目等」は含むことができません。
- 「各教科の指導法」「情報と職業」「教育の基礎的理解に関する科目等」は、教職課程希望者で入学後に所定の手続きを行った者のみ履修することができます。
- 1 年次は 1 年配当科目のみ履修できます。2 年次では 1・2 年配当の科目が履修でき、3 年次では 1・2・3 年の配当科目、4 年次では年次に関係なく履修できます。
- 修得単位数が少なくても 4 年次まで学年が進級します。卒業単位を満たすまで、4 年次で留め置きとなります。ただし、最長在学年限を超えることはできません。

※ P.15 参照

編入学希望者の既修得単位の認定基準（参考）

科目区分	認定方法		2 年次編入 認定単位数上限	3 年次編入 認定単位数上限
総合基礎科目	必修	個別	4 単位	4 単位
	選択	包括／個別	28 単位	28 単位
専門基礎科目 専門科目	必修	個別	22 単位	24 単位
	選択	包括／個別	32 単位	62 単位
合 計			32 単位	62 単位

- 認定される科目や単位数は、出身校で修得した科目の内容やその単位数により個人で異なります。
- 個別認定とは、出身校で修得した科目の内容が本学の開設科目の内容と合っていれば本学の開設科目を履修したものと認定する方法です。
- 包括認定とは、個々の科目ではなく、本学の開設科目群の各科目区分の選択科目の単位としてまとめて認定する方法です。
- 認定される単位数が少ない場合は、希望していた年次より下の年次での入学許可となります（対象となる場合は Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせします）。

※ 理工系とは異なる文系・医療系等の学校出身の方は、情報系・数学系の科目の修得に時間を要する傾向があります。仕事等との両立に無理のないよう、2 年次編入での出願をお勧めします。

4. 募集について

募集人員および選考方法

学部学科	定 員		選考方法
理工学部 情報科学科 (通信教育課程)	正科生1年次入学	200名	提出された書類により選考します。 筆記試験はありません。
	正科生2年次編入学	若干名	
	正科生3年次編入学	若干名	
	科目等履修生	若干名	

●本課程を中途退学した正科生に対し、「再入学」制度を設けています。

入学時期および出願期間

出願区分	入学時期	Web出願および学納金納入期間 【書類提出日必着】		審査結果通知日	教材発送時期および学習開始時期
正科生1年次入学 正科生2年次編入学 正科生3年次編入学 正科生再入学 科目等履修生	春期 (4月)	第一回	2025年2月1日(土) ～2月14日(金) 【2月17日(月)】	3月4日(火)	教材発送：4月初旬 学習開始：4月中旬
		第二回	2025年2月15日(土) ～3月7日(金) 【3月10日(月)】	3月25日(火)	
		第三回	2025年3月8日(土) ～3月21日(金) 17:00 【3月24日(月)】	4月8日(火)	教材発送：4月下旬 学習開始：5月初旬
科目等履修生	秋期 (10月)	第四回	2025年8月25日(月) ～9月5日(金) 17:00 【9月8日(月)】	9月22日(月)	教材発送：9月下旬 学習開始：10月初旬

- 本学ホームページより、Web出願後、提出書類を郵送してください。
- 出願書類は出願締切日必着です。出願締切日の消印有効ではありません。
- 出願期間内に書類一式が到着したもののみ受け付けます。
- 書類に不備があった場合は、書類が充足された時点での出願期間の受け付けとなります。

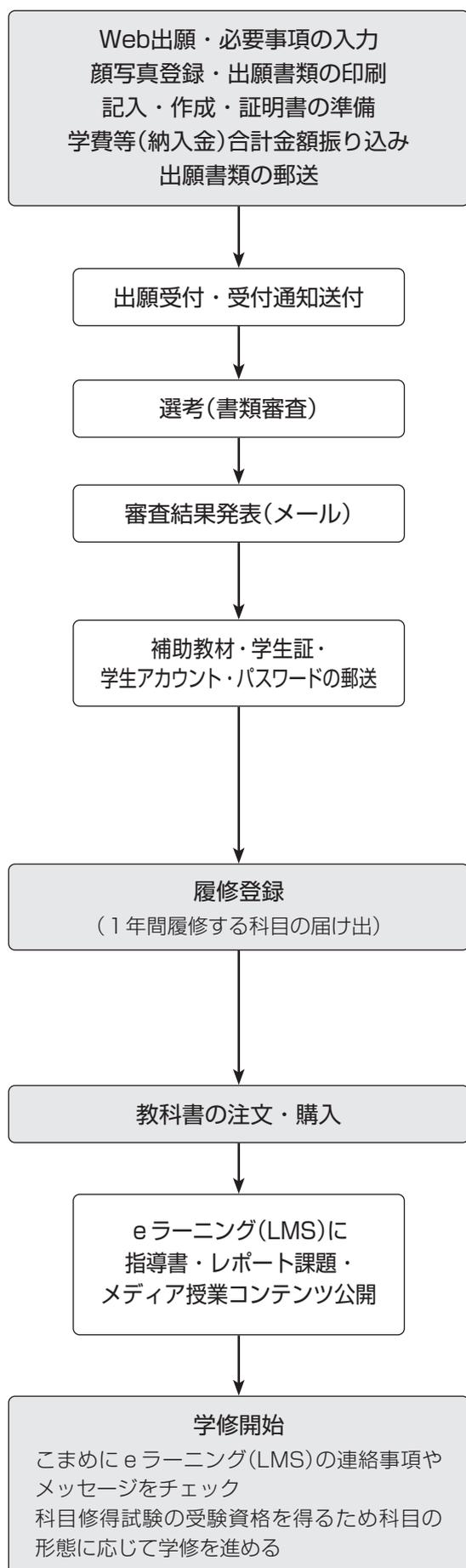
取得できる資格

資 格	取得要件
教育職員免許状 高等学校教諭一種(情報)	所定の単位を修得し、卒業後に個人で申請。
第一級陸上特殊無線技士免許	2年次・3年次編入学の正科生のみ。 「在学中」に指定された科目の単位を修得し、本課程卒業後に個人で申請。 編入学で該当科目を単位認定された場合や、卒業後の科目等履修・単位修得では免許を取得できません。
第三級海上特殊無線技士免許	

入学に関する注意事項

<p>二重学籍の禁止</p>	<p>「学校教育法」に定める短期大学、大学、大学院・専攻科に在籍されている方は、正科生として入学することを認めていません。科目等履修生を希望の場合は、在籍中の学校に本学での履修が可能であるかを確認してください。</p>							
<p>修学上の特別配慮について</p>	<p>スクーリングや科目修得試験などの学校行事に参加することがあるため、身体機能の障がいや疾病・疾患等により修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前（遅くとも出願締切日の2週間前まで）に宇都宮キャンパス教務課まで申し出てください（TEL028-627-7117）。本学の対応を決定した後に、出願していただきます。要望に対応できない場合もありますので、予めご了承ください。また、不慮の事故等により、出願後に特別な配慮が必要となった場合も速やかに連絡してください。</p>							
<p>外国人・日本国外に在住している方の入学について</p>	<p>日本語が堪能であること、日本国内で実施されるスクーリングなどの学校行事に出席することが可能であること、大学からの送付物を日本国内で受け取ることが可能であること（補助教材・レポートなどの送付先は日本国内のみとなります）。</p>							
<p>インターネット環境について</p>	<p>自宅からインターネット経由で提供されるeラーニング（LMS）や講義ビデオ（ビデオライブラリ）の環境にアクセスが可能であることや、eメールで教員および事務とのやりとりが可能であることが必要です。以下の動作環境を備えたパソコンを用意してください。スマートフォン、タブレットでは使用できない機能があります。 プリンター（複合機）、Web会議システムが利用可能な環境（Webカメラ、マイク）も用意してください。 必要な連絡事項およびその他補助教材等もLMSにすべて配信します。各自でこまめにアクセスして情報を得なければなりません。</p> <table border="1" data-bbox="427 1167 1409 1821"> <tr> <td data-bbox="427 1167 603 1525"> <p>Windows OS</p> </td> <td data-bbox="611 1167 1002 1525"> <p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows10以降 CPU Intel Core i3以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p> </td> <td data-bbox="1010 1167 1409 1525"> <p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows 11以降 CPU Intel Core i5以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1536 603 1821"> <p>Mac OS</p> </td> <td data-bbox="611 1536 1002 1821"> <p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 12 (Monterey) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p> </td> <td data-bbox="1010 1536 1409 1821"> <p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 14 (Sonoma) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p> </td> </tr> </table>		<p>Windows OS</p>	<p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows10以降 CPU Intel Core i3以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>	<p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows 11以降 CPU Intel Core i5以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>	<p>Mac OS</p>	<p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 12 (Monterey) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>	<p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 14 (Sonoma) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>
<p>Windows OS</p>	<p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows10以降 CPU Intel Core i3以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>	<p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Windows 11以降 CPU Intel Core i5以上 メモリ 8GB以上 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Microsoft Edge - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>						
<p>Mac OS</p>	<p>【必要動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 12 (Monterey) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>	<p>【推奨動作環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> OS Mac OS 14 (Sonoma) 以降 ブラウザ (以下のいずれかの最新版) - Safari - Google Chrome - Firefox <p>・インターネット接続環境</p>						
<p>入学手続き完了後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が判明した場合や入学資格がないことが判明した場合は、入学許可を取り消します。 編入学で2025年3月31日までに入学資格を満たす単位数を修得していない場合は、入学年次を変更するか、入学許可を取り消します。</p>								

出願手続～学修開始まで(補足)



Web 出願を行い、出願書類を印刷し、出願書類に必要な事項を正確に追記し、出願区分に応じた学費等（納入金）の合計金額を、金融機関より電信扱いで振り込んでください。学費等納入後、必要な書類一式を出願締切日までに郵便局より簡易書留で郵送してください。

※出願期間内に書類が到着したものについてのみ、出願を受け付けます。

出願書類が届き次第、入力したメールアドレスに連絡をします。書類に不備があった場合はメールにてお知らせします。

4月入学の書類選考は、3回行います。4月からの学習開始や入学式への参加を希望する場合は第2回までに出願してください。

選考後、審査結果通知日に入学に関する書類（合否通知等）をメールで通知します。

4月初旬に、学生便覧・学生証・学生アカウント（ID・PW）・レポート用紙・封筒等の補助教材一式を郵送します。到着後は直ちに開封してください。学生アカウントを使用してポータルサイト（CampusSquare）からeラーニング（LMS）にログインし、連絡事項を確認してください。

補助教材が到着したら、直ちに学生便覧やWebシラバスを確認し、eラーニング（LMS）の連絡事項を確認してから、1年間に学習する科目を選択してください。

履修登録はポータルサイト（CampusSquare）にて各自で行います。履修登録をしない場合、レポート課題等は公開されませんので注意が必要です。

※科目等履修生は出願書類提出時に履修科目を届け出ます。

宇都宮キャンパスのホームページから「Webシラバス」を参照し、指定されたテキストを各自で購入してください。最寄りの書店やインターネットで購入可能です。

履修登録が受理されると、eラーニング（LMS）に必要な補助教材の指導書やレポート課題が公開されます。

メディア授業のコンテンツや課題、小テストも公開されます。テキスト授業・メディア授業ともに、科目修得試験の受験資格を得るためのレポート締切日を目安にして学習を進めます。

大学からの必要な連絡事項（試験の申込方法、その他の手続き、教員との質疑応答など）は全てeラーニング（LMS）で配信、やり取りをします。

I. 正科生について

大学卒業を目的として入学する学生を「正科生」といいます。

修業年数および在籍期間

正科生	期 間			備 考
	1 年次入学	2 年次編入学	3 年次編入学	
修業年限	4 年	3 年	2 年	休学期間は含まれない
最長在学年限	8 年	7 年	6 年	休学期間は含まれない

1 年次入学

大学に4年以上在学し、所定の124単位以上を修得することにより、大学卒業資格と学士(工学)の学位が授与されます。また、あわせて指定された科目を修得することにより、教員免許状(高校一種(情報))の資格の取得も可能です。(ただし、単位修得状況によっては、修業年限を超過する場合があります。教員免許状の取得を希望する場合は、本要項 P.46 「7. 教職課程について」を参照し、必要な科目を確認してください。)

なお、通信課程在学中に通学課程への入学を希望する場合は、所定の要件を満たし編入学試験に合格すると、本学通学課程への編入学が可能です。詳細は教務課へお問い合わせください。

①出願資格

以下のいずれかに該当する者

- 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。
- 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる下記(1)～(5)の者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - (2) 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者。
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者。
 - (4) 文部科学大臣の指定した者。
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。

②出願手続(インターネットによる出願と出願書類の郵送)

下記 Web 出願サイトにて出願を行ってください。

<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>



Web 出願サイトで入力が完了しましたら、出願書類を印刷し、必要事項を記入の上、証明書類とともに郵送してください。

出願締切日までに、学費等(納入金)合計金額の納付および出願書類等を郵送し、手続きを完了してください。

書類選考により可否を決定します。必要な書類等は、P.66～71の記入例を参照のうえ、間違いのないように記入してください。「振込依頼書・振込金受取書・志願票」に、金融機関収納印押印の後、市販の角2封筒(A4サイズ)に出願用封筒表紙を貼り付け、出願書類一式を封入し、郵便局より簡易書留で帝京大学宇都宮キャンパス教務課宛に送付してください。出願締切日までに書類が到着したもののみ受け付けます。

・出願書類（インターネットによる出願後、所定用紙が印刷できます）

1～6は、Web 出願サイトで入力した後に各自で印刷（A4サイズの用紙）してください。

所定用紙を印刷した後に、修正・訂正があった場合は、Web 出願サイトに入力した情報は修正せずに、印刷した用紙に二重線で訂正をしてください。

書類到着、書類の不備等については、Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせをします。

一度提出された出願書類は返却しません。出願書類に不備がある場合は、補完されるまで選考は保留となります。

	提出書類	補 足 事 項
1	志願票	<ul style="list-style-type: none"> 所定の事項を P.66 の記入例を参照し、必要事項を追加記入してください。 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した証明写真（カラー、縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）をアップロードしてください。入学後の学生証に使用します。 過去に本学通信教育課程に在籍していた場合は、在籍当時の学籍番号を記入してください。学籍番号不明の場合は、教務課にお問い合わせください。
2	志望理由書	ペンまたはボールペンで600字程度記入してください。
3	健康診断書	P.68 を参照し、医療機関で証明を受けてください（3ヶ月以内に発行のもの）。
4	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> P.69 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく記入の上、各自の印を押印してください。 保証人は、保護者または成人で独立の生計を立てている成年者に依頼してください。
5	個人情報の取り扱いに関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> P.70 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく追加記入してください。 提出日を記入し、各自の印を必ず押印してください。
6	出願書類郵送用封筒表紙	<ul style="list-style-type: none"> P.71 の記入例を参照し、印刷したものを市販の角2封筒（A4サイズ）に貼付してください。 封入した書類をチェックし、封をしてください。
7*	入学資格を証明する書類 (次ページ参照)	<ul style="list-style-type: none"> すべて出願前3ヶ月以内に発行されたもので、最終学歴の証明書を提出してください。 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。
8	その他 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校証明書等と志願票氏名の記載が異なる場合は、本人確認書類（戸籍個人事項証明書）を提出してください。 外国籍の方は住所、在留資格、在留期間等が明記された住民票を提出してください。（外国人登録証明書（カード）ではなく、居住地の市・区役所等で発行された証明書を提出してください） 単位認定を希望する方は、大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の成績証明書に記載された科目の内容がわかる「講義概要」または「シラバス」を提出してください。最大30単位まで単位認定されます。
9	学費等 (納入金)	<ul style="list-style-type: none"> 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 ATM・ネットバンキングから振り込む場合は、依頼人コードと依頼人名、フリガナを続けて入力し、「振り込み控え」を添付してください。 振込金受取書は各自で保管してください。 金額は P.18 ③学費等（納入金）を参照してください。 ゆうちょ銀行から振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

* 7の入学資格を証明する書類

入学資格	提出書類	補足事項
高等学校卒業見込み 中等教育学校卒業見込み 大学入学資格が付与されている 専修学校高等課程修了見込み 高等専門学校第3学年修了または 修了見込み	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 2025年3月卒業見込と明記されない様式の場合は『卒業見込証明書』も提出してください。 卒業後、速やかに『卒業証明書』を提出してください。
高等学校卒業 中等教育学校卒業	卒業証明書 調査書	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の事情により『調査書』の交付が受けられない場合は『成績証明書』を提出してください。 高等学校等卒業生で保存年限（5年）が経過しているため『調査書』『成績証明書』が交付されない場合は、『調査書・成績証明書が発行されない事に関する証明書』の交付を依頼し、提出してください。
文部科学省高等学校卒業程度認定試験合格または合格見込み	合格（見込）成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 『合格証明書』では受け付けません。成績が記載されている証明書を提出してください。 大学入学資格検定の合格者も該当します。 合格後速やかに『合格成績証明書』を提出してください。
大学・短期大学 中途（満期）退学	在学期間証明書 成績証明書 高等学校卒業資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> 在籍していた大学等の発行する証明書と高等学校等が発行する卒業証明書と調査書を提出してください。
大学・短期大学・高等専門学校（5年制）卒業または卒業見込み、大学院修了または修了見込み	卒業（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 大学院を修了（見込）の方は、大学と大学院のそれぞれの証明書を提出してください。 外国の大学卒業（見込）の方は、学位取得（見込）証明書を必ず提出してください。
専修学校修了または2025年3月修了見込	修了（見込）証明書 成績証明書 基礎資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> Web出願サイトまたはこちらから印刷した『基礎資格証明書』を出身校に記入依頼し、提出してください。 交付については、『基礎資格証明書』の留意事項を参照し、出身校に確認してください。
外国において学校教育における12年の課程の修了者および2025年3月31日までに修了見込みの者	修了（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校または最終出身学校の書類で、原本を提出してください。 日本と外国双方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。 「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。

③学費等（納入金）

(1) 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口等で振り込んでください。

※ 10万円を超える現金による振り込みは、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）が必要となります。

	選考料	入学金	学生教育研究 災害傷害保険費	授業料	合 計
納入金	10,000円	30,600円	140円	162,000円	202,740円
備 考	入学時のみ	入学時のみ	入学時のみ (4年間分)	年額	

●帝京大学各学部の卒業生および中途退学者は、入学金が免除され合計金額が172,140円になります。

●本学通信教育課程の中途退学者で、大学卒業を目的として再入学を希望する場合は [P.25](#) の「再入学」を参照してください。

●日本学生支援機構給付奨学金の予約採用（入学金・授業料減免の権利をお持ちの方）の決定通知を受け取られた方についても、入学手続時納入金額を期日までに納入してください。入学金の返金・授業料減免に関する手続きは入学後に行います。なお、本学の入学を辞退される場合は、本制度の適用外となり、本学の入学金は返還されません。

(2) 合計金額を一括納入してください。**分納はできません。**

(3) 一度納入された学費は返還しません。

ただし、選考の結果、入学不許可の場合は、選考料を除く残りの金額を返還します（特別な理由により返還が生じた際は、振り込み手数料を除いた金額を返還します）。

また、入学許可後に入学辞退を希望し、**2025年4月25日（金）12時00分までに帝京大学宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）に申し出た場合は、**授業料と学生教育研究災害傷害保険費のみを返還（ただし振り込み手数料を除いた金額）します。なお、辞退申し出後の変更は一切受け付けません。

(4) 授業料は、補助教材費・科目修得試験受験料・スクーリング受講料が含まれます。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、入学後別途必要です。

(5) 2～4年次の各年度の学費は、授業料のみとなります。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、別途必要です。また、2年次以降も学費は分納できません。なお、休学や修業年限を超えた場合、新たに所属する年度及び年次の学納金が適用されます。

(6) 教職課程の履修を希望される方は、別途教職課程履修費が必要になります。

郵送された案内に従い、所定期間内に一度納入すると次年度以降の教職課程費は必要ありません。

※ 1年次のガイダンス後に案内を郵送しますので、**出願時は納入しない**でください。

教職課程履修費	25,000円
---------	---------

なお、教職課程の履修にあたっては、[P.46](#) の「7. 教職課程について」の教育実習の要件等をよく確認したうえで、入学後に開催されるガイダンスへ出席する必要があります。

2年次編入学

大学に3年以上在学し、所定の124単位以上を修得することにより、大学卒業資格と学士(工学)の学位が授与されます。また、あわせて指定された科目を修得することにより、教員免許状(高校一種(情報))の資格の取得も可能です。(ただし、3年間の最短修業年限を超過する場合があります。教員免許状の取得を希望する場合は、本要項 P.46 の「7. 教職課程について」を参照し、必要な科目の確認をしてください。)

①出願資格

以下のいずれかに該当する者

- 学校教育法による大学・短期大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
- 学校教育法による大学に1年以上在学し、31単位以上を修得した者、または2025年3月修得見込みの者。
- 学校教育法による高等専門学校を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
- 学校教育法による専修学校の修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上の専門課程(文部科学大臣の定める基準を満たす)を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
※専修学校専門課程に昭和51年4月以前に入学した者、および卒業した課程が専修学校としての設置認可を文部科学省から受ける前の者は、編入学への出願はできません。
※各種学校は該当しません。
- 学校教育法による高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上であり、かつ、文部科学大臣の定める基準を満たすもの)を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
- 旧国立養護教養成所、および旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者。
- 外国において通常の課程による14年以上の学校教育を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者。
- 外国において通常の課程の大学に1年以上在学し、31単位相当以上を修得した者、または2025年3月修得見込みの者。

②出願手続(インターネットによる出願と出願書類の郵送)



下記 Web 出願サイトにて出願を行ってください。

<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>

Web 出願サイトで入力が完了しましたら、出願書類を印刷(A4サイズの用紙)し、必要事項を記入の上、証明書類とともに郵送してください。

出願締切日までに、学費等(納入金)合計金額の納付および出願書類等を郵送し、手続きを完了してください。

書類選考により合否を決定します。必要な書類等は、P.66～71の記入例を参照のうえ、間違いのないように記入してください。「振込依頼書・振込金受取書・志願票」に、金融機関収納印押印の後、市販の角2封筒(A4サイズ)に出願用封筒表紙を貼り付け、出願書類一式を封入し、郵便局より簡易書留で帝京大学宇都宮キャンパス教務課通信教育係宛に送付してください。出願締切日までに書類が到着したもののみ受け付けます。

・出願書類(インターネットによる出願後、所定用紙が印刷できます)

1～6は、Web 出願サイトで入力した後に各自で印刷してください。

所定用紙を印刷した後に、修正・訂正があった場合は、Web 出願サイトに入力した情報は修正せずに、印刷した用紙に二重線で訂正をしてください。

書類到着、書類の不備等については、Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせをします。

一度提出された出願書類は返却しません。出願書類に不備がある場合は、補完されるまで選考は保留となります。

	書類	補 足 事 項
1	志願票	<ul style="list-style-type: none">• 所定の事項を P.66 の記入例を参照し、必要事項を追加記入してください。• 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等(納入金)の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。• 出願前3ヶ月以内に撮影した証明写真(カラー、縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの)をアップロードしてください。入学後の学生証に使用します。• 過去に本学通信教育課程に在籍していた場合は、在籍当時の学籍番号を記入してください。学籍番号不明の場合は、教務課にお問い合わせください。
2	志望理由書	ペンまたはボールペンで600字程度記入してください。

3	健康診断書	P.68 を参照し、医療機関で証明を受けてください（3ヶ月以内に発行のもの）。
4	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> • P.69 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく記入の上、各自の印を押印してください。 • 保証人は、保護者または成人で独立の生計を立てている成年者に依頼してください。
5	個人情報の取り扱いに関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> • P.70 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく追加記入してください。 • 提出日を記入し、各自の印を必ず押印してください。
6	出願書類郵送用封筒表紙	<ul style="list-style-type: none"> • P.71 の記入例を参照し、印刷したものを市販の角2封筒（A4サイズ）に貼付してください。 • 封入した書類をチェックし、封をしてください。
7*	入学資格を証明する書類（下記参照）	<ul style="list-style-type: none"> • すべて出願前3ヶ月以内に発行されたもので、最終学歴の証明書を提出してください。 • 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。
8	講義概要またはシラバス	<ul style="list-style-type: none"> • 単位認定のため、成績証明書に記載された科目の講義内容や時間数がかかるものを提出してください。 • 講義内容がわかるものが無い場合は、成績証明書に記載されている科目名からの判断となり、認定される単位数は少なくなります。
9	その他（該当者のみ）	<ul style="list-style-type: none"> • 出身学校証明書等と志願票氏名の記載が異なる場合は、本人確認書類（戸籍個人事項証明書）を提出してください。 • 外国籍の方は住所、在留資格、在留期間等が明記された住民票を提出してください。（外国人登録証明書（カード）ではなく、居住地の市・区役所等で発行された証明書を提出してください） • 教職課程の履修を希望する場合は、『学力に関する証明書』を提出してください。初めて教職課程を希望する場合、出身大学（短期大学）では免許状に関わる科目を修得していなくても「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」に該当する科目があれば対象となりますので、提出してください。
10	学費等（納入金）	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 • ATM・ネットバンキングから振り込む場合は、依頼人コードと依頼人名、フリガナを続けて入力し、「振り込み控え」を添付してください。 • 振込金受取書は各自で保管してください。 • 金額は次ページ③学費等（納入金）を参照してください。 • ゆうちょ銀行から振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

* 7の入学資格を証明する書類

入学資格	提出書類	補 足 事 項
大学中途（満期） 退学	在学期間証明書 成績証明書 高等学校卒業資格を 証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> • 在籍していた大学等の発行する証明書と高等学校等の発行する卒業証明書と調査書を提出してください。 • 高等学校の事情により『調査書』の交付が受けられない場合は、『成績証明書』を提出してください。 • 高等学校等卒業生で保存年限（5年）が経過しているため『調査書』『成績証明書』が交付されない場合は、『調査書・成績証明書が発行されない事に関する証明書』の交付を依頼し、提出してください。
大学・短期大学・高等専門学校（5年制）卒業または卒業見込み、大学院修了または修了見込み	卒業（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> • 大学院を修了（見込）の方は大学と大学院のそれぞれの証明書を提出してください。 • 外国の大学卒業（見込）の方は、学位取得（見込）証明書を必ず提出してください。

専修学校修了または 2025年3月修了見込	修了（見込）証明書 成績証明書 基礎資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> Web 出願サイトまたはこちらから印刷した『基礎資格証明書』を出身校に記入依頼し、提出してください。 交付については、『基礎資格証明書』の留意事項を参照し、出身校に確認してください。
外国において通常の課程 による14年以上の学校教育を修了または2025年3月31日までに修了見込みの者	修了（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 最終出身学校の書類で、原本を提出してください。 日本と外国双方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。 「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。

③学費等（納入金）

(1) 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口等で振り込んでください。

※ 10万円を超える現金による振り込みは、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）が必要となります。

	選考料	入学金	学生教育研究 災害傷害保険費	授業料	合計
2年次編入生	20,000円	30,600円	140円	154,020円	204,760円
備考	入学時のみ	入学時のみ	入学時のみ (3年間分)	年額	

● 帝京大学卒業生および中途退学者は、入学金が免除され合計金額が174,160円になります。

● 本学通信教育課程の中途退学者で、大学卒業を目的として再入学を希望する場合は [P.25](#) の「再入学」を参照してください。

● 日本学生支援機構給付奨学金の予約採用（入学金・授業料減免の権利をお持ちの方）の決定通知を受け取られた方についても、入学手続時納入金額を期日までに納入してください。入学金の返金・授業料減免に関する手続きは入学後に行います。なお、本学の入学を辞退される場合は、本制度の適用外となり、本学の入学金は返還されません。

● 書類審査の結果の入学許可となった年次の入学金と授業料が適用されます。

(2) 合計金額を一括納入してください。**分納はできません。**

(3) 一度納入された学費は返還しません。

ただし、選考の結果、入学不許可の場合は、選考料を除く残りの金額を返還します（特別な理由により返還が生じた際は、振り込み手数料を除いた金額を返還します）。

また、入学許可後に入学辞退を希望し、**2025年4月25日（金）12時00分までに帝京大学宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）に申し出た場合は、授業料と学生教育研究災害傷害保険費のみを返還（ただし振込手数料を除いた金額）**します。なお、辞退申し出後の変更は一切受け付けません。

(4) 授業料は、補助教材費・科目修得試験受験料・スクーリング受講料が含まれます。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、入学後別途必要です。

(5) 3年次以降の学費は、授業料のみとなります。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、別途必要です。また、3年次以降も学費は分納できません。なお、休学・留年等により進級できなかった場合、新たに所属する年度および年次の学納金が適用されます。

(6) 教職課程を希望される方は、別途教職課程履修費が必要になります。

郵送された案内に従い、所定期間内に一度納入すると次年度以降の教職課程費は必要ありません。

※ 2年次のガイダンス後に案内を郵送しますので、**出願時は納入しない**でください。

教職課程履修費	25,000円
---------	---------

なお、教職課程の履修にあたっては、[P.46](#) の「7. 教職課程について」の教育実習の要件等をよく確認したうえで、入学後に開催されるガイダンスへ出席する必要があります。

3年次編入学

大学に2年以上在学し、所定の124単位以上を修得することにより、大学卒業資格と学士(工学)の学位が授与されます。(ただし、2年間の最短修業年限を超過する場合があります)

①出願資格

以下のいずれかに該当する者

- 学校教育法による大学・短期大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
- 学校教育法による大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者、または2025年3月修得見込みの者。
- 学校教育法による高等専門学校を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
- 学校教育法による専修学校の修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上の専門課程(文部科学大臣の定める基準を満たす)を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
※専修学校専門課程に昭和51年4月以前に入学した者、および卒業した課程が専修学校としての設置認可を文部科学省から受ける前の者は、編入学への出願はできません。
※各種学校は該当しません。
- 学校教育法による高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上であり、かつ、文部科学大臣の定める基準を満たすもの)を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
- 旧国立養護教養成所、および旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者。
- 外国において通常の課程による14年以上の学校教育を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者。
- 外国において通常の課程の大学に2年以上在学し、62単位相当以上を修得した者、または2025年3月修得見込みの者。

②出願手続(インターネットによる出願と出願書類の郵送)



下記 Web 出願サイトにて出願を行ってください。

<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>

Web 出願サイトで入力完了しましたら、出願書類を印刷(A4サイズの用紙)し、必要事項を記入の上、証明書類とともに郵送してください。

出願締切日までに、学費等(納入金)合計金額の納付および出願書類等を郵送し、手続きを完了してください。

書類選考により合否を決定します。必要な書類等は、[P.66～71](#)の記入例を参照のうえ、間違いのないように記入してください。「振込依頼書・振込金受取書・志願票」に、金融機関収納印押印の後、市販の角2封筒(A4サイズ)に出願用封筒表紙を貼り付け、出願書類一式を封入し、郵便局より簡易書留で帝京大学宇都宮キャンパス教務課宛に送付してください。出願締切日までに書類が到着したもののみ受け付けます。

・出願書類(インターネットによる出願後、所定用紙が印刷できます)

1～6は、Web 出願サイトを入力した後に各自で印刷してください。

所定用紙を印刷した後に、修正・訂正があった場合は、Web 出願サイトに入力した情報は修正せずに、印刷した用紙に二重線で訂正をしてください。

書類到着、書類の不備等については、Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせをします。

一度提出された出願書類は返却しません。出願書類に不備がある場合は、補完されるまで選考は保留となります。

	書 類	補 足 事 項
1	志願票	<ul style="list-style-type: none">• 所定の事項を P.66 の記入例を参照し、必要事項を追加記入してください。• 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等(納入金)の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。• 出願前3ヶ月以内に撮影した証明写真(カラー、縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの)をアップロードしてください。入学後の学生証に使用します。• 過去に本学通信教育課程に在籍していた場合は、在籍当時の学籍番号を記入してください。学籍番号不明の場合は、教務課にお問い合わせください。

2	志望理由書	ペンまたはボールペンで 600 字程度記入してください。
3	健康診断書	P.68 を参照し、医療機関で証明を受けてください（3ヶ月以内に発行のもの）。
4	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> • P.69 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく記入の上、各自の印を押印してください。 • 保証人は、保護者または成人で独立の生計を立てている成年者に依頼してください。
5	個人情報の取り扱いに関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> • P.70 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく追加記入してください。 • 提出日を記入し、各自の印を必ず押印してください。
6	出願書類郵送用封筒表紙	<ul style="list-style-type: none"> • P.71 の記入例を参照し、印刷したものを市販の角2封筒（A4サイズ）に貼付してください。 • 封入した書類をチェックし、封をしてください。
7*	入学資格を証明する書類 (下記参照)	<ul style="list-style-type: none"> • すべて出願前3ヶ月以内に発行されたもので、最終学歴の証明書を提出してください。 • 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。
8	講義概要またはシラバス	<ul style="list-style-type: none"> • 単位認定のため、成績証明書に記載された科目の講義内容や時間数がわかるものを提出してください。 • 講義内容がわかるものが無い場合は、成績証明書に記載されている科目名からの判断となり、認定される単位数は少なくなります。
9	その他 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> • 出身学校証明書等と志願票氏名の記載が異なる場合は、本人確認書類（戸籍個人事項証明書）を提出してください。 • 外国籍の方は住所、在留資格、在留期間等が明記された住民票を提出してください。（外国人登録証明書（カード）ではなく、居住地の市・区役所等で発行された証明書を提出してください）
10	学費等 (納入金)	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 • ATM・ネットバンキングから振り込む場合は、依頼人コードと依頼人名、フリガナを続けて入力し、「振り込み控え」を添付してください。 • 振込金受取書は各自で保管してください。 • 金額は次ページ③学費等（納入金）を参照してください。 • ゆうちょ銀行から振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

* 7の入学資格を証明する書類

入学資格	提出書類	補 足 事 項
大学中途（満期） 退学	在学期間証明書 成績証明書 高等学校卒業資格を 証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> • 在籍していた大学等の発行する証明書と高等学校等の発行する卒業証明書と調査書を提出してください。 • 高等学校の事情により『調査書』の交付が受けられない場合は、『成績証明書』を提出してください。 • 高等学校等卒業生で保存年限（5年）が経過しているため『調査書』『成績証明書』が交付されない場合は、『調査書・成績証明書発行されない事に関する証明書』の交付を依頼し、提出してください。

大学・短期大学・高等専門学校（5年制）卒業または卒業見込み、大学院修了または修了見込み	卒業（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院を修了（見込）の方は大学と大学院の証明書をそれぞれ提出してください。 ・外国の大学卒業（見込）の方は、学位取得（見込）証明書を必ず提出してください。
専修学校修了または2025年3月修了見込	修了（見込）証明書 成績証明書 基礎資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・Web 出願サイトまたはこちらから印刷した『基礎資格証明書』を出身校に記入依頼し、提出してください。 ・交付については、『基礎資格証明書』の留意事項を参照し、出身校に確認してください。
外国において通常の課程による14年以上の学校教育を修了または2025年3月31日までに修了見込みの者	修了（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・最終出身学校の書類で、原本を提出してください。 ・日本と外国双方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。 ・「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。

③学費等（納入金）

(1) 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口等で振り込んでください。

※ 10万円を超える現金による振り込みは、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）が必要となります。

	選考料	入学金	学生教育研究 災害傷害保険費	授業料	合 計
3年次編入生	20,000 円	30,600 円	140 円	154,020 円	204,760 円
備考	入学時のみ	入学時のみ	入学時のみ (2年間分)	年額	

● 帝京大学卒業生および中途退学者は、入学金が免除され合計金額が 174,160 円になります。

● 本学通信教育課程の中途退学者で、大学卒業を目的として再入学を希望する場合は [P.25](#) の「再入学」を参照してください。

● 日本学生支援機構給付奨学金の予約採用（入学金・授業料減免の権利をお持ちの方）の決定通知を受け取られた方についても、入学手続時納入金額を期日までに納入してください。入学金の返金・授業料減免に関する手続きは入学後に行います。なお、本学の入学を辞退される場合は、本制度の適用外となり、本学の入学金は返還されません。

● 書類審査の結果の入学許可となった年次の入学金と授業料が適用されます。

(2) 合計金額を一括納入してください。**分納はできません。**

(3) 一度納入された学費は返還しません。

ただし、選考の結果、入学不許可の場合は、選考料を除く残りの金額を返還します（特別な理由により返還が生じた際は、振り込み手数料を除いた金額を返還します）。

また、入学許可後に入学辞退を希望し、**2025年4月25日（金）12時00分までに帝京大学宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）に申し出た場合は**、授業料と学生教育研究災害傷害保険費のみを返還（ただし、手数料を除いた金額）します。なお、辞退申し出後の変更は一切受け付けません。

(4) 授業料は、補助教材費・科目修得試験受験料・スクーリング受講料が含まれます。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、入学後別途必要です。

(5) 4年次以降の学費は、授業料のみとなります。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、別途必要です。また、4年次以降も学費は分納できません。なお、休学・留年等により進級できなかった場合、新たに所属する年度および年次の学納金が適用されます。

再入学

本学通信教育課程を中途退学した正科生が、再び入学できる制度があります。入学時期は4月のみです。退学時の修得単位を再認定し審議のうえ、入学の可否および再入学の年次を決定します。カリキュラムの変更により、前籍で修得した単位が卒業に必要な単位数に認定されない場合もあります。再入学を希望する場合は、本募集要項等一式の他に、「再入学願（所定用紙）」が必要となります。

再入学年次および最長在学年限

再入学年次	1年	2年	3年	4年	備考
再認定単位数	0～31	32～61	62～93	94以上	退学時修得単位数目安
修業年限	4年	3年	2年	1年	休学期間は含まれない
最長在学年限	8年	7年	6年	5年	

①出願資格

本学通信教育課程を諸事情のため退学した者で、卒業資格の取得を目的とする者。

②出願手続（インターネットによる出願と出願書類の郵送）

下記 Web 出願サイトにて出願を行ってください。

<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>



Web 出願サイトで入力が完了しましたら、出願書類を印刷（A4サイズの用紙）し、必要事項を記入の上、証明書類とともに郵送してください。

出願締切日までに、学費等（納入金）合計金額の納付および出願書類等を郵送し、手続きを完了してください。

書類選考により可否を決定します。必要な書類等は、[P.66～71](#) の記入例を参照のうえ、間違いのないように記入してください。「振込依頼書・振込金受取書・志願票」に、金融機関収納印押印の後、市販の角2封筒（A4サイズ）に出願用封筒表紙を貼り付け、出願書類一式を封入し、郵便局より簡易書留で帝京大学宇都宮キャンパス教務課宛に送付してください。出願締切日までに書類が到着したもののみ受け付けます。

・出願書類（インターネットによる出願後、所定用紙が印刷できます）

2～7は、Web 出願サイトで入力した後に各自で印刷してください。

所定用紙を印刷した後に、修正・訂正があった場合は、Web 出願サイトに入力した情報は修正せずに、印刷した用紙に二重線で訂正をしてください。

書類到着、書類の不備等については、Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせをします。

一度提出された出願書類は返却しません。出願書類に不備がある場合は、補完されるまで選考は保留となります。

	書類	補足事項
1	再入学願	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）へ連絡し、予め入手しておいてください。 所定用紙は、もれなく記入してください。
2	志願票	<ul style="list-style-type: none"> 所定の事項を P.66 の記入例を参照し、必要事項を追加記入してください。 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した証明写真（カラー、縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）をアップロードしてください。入学後の学生証に使用します。 過去に本学通信教育課程に在籍していた場合は、在籍当時の学籍番号を記入してください。学籍番号不明の場合は、教務課にお問い合わせください。
3	志望理由書	ペンまたはボールペンで600字程度記入してください。

4	健康診断書	P.68 を参照し、医療機関で証明を受けてください（3ヶ月以内に発行のもの）。
5	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> • P.69 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく記入の上、各自の印を押印してください。 • 保証人は、保護者または成人で独立の生計を立てている成年者に依頼してください。
6	個人情報の取り扱いに関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> • P.70 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく追加記入してください。 • 提出日を記入し、各自の印を必ず押印してください。
7	出願書類郵送用封筒表紙	<ul style="list-style-type: none"> • P.71 の記入例を参照し、印刷したものを市販の角2封筒（A4サイズ）に貼付してください。 • 封入した書類をチェックし、封をしてください。
8	その他 （該当者のみ）	<ul style="list-style-type: none"> • 在籍当時と志願票氏名の記載が異なる場合は、本人確認書類（戸籍個人事項証明書）を提出してください。 • 外国籍の方は住所、在留資格、在留期間等が明記された住民票を提出してください。（外国人登録証明書（カード）ではなく、居住地の市・区役所等で発行された証明書を提出してください）
9	学費等 （納入金）	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 • ATM・ネットバンキングから振り込む場合は、依頼人コードと依頼人名、フリガナを続けて入力し、「振り込み控え」を添付してください。 • 振込金受取書は各自で保管してください。 • 金額は③学費等（納入金）を参照してください。 • ゆうちょ銀行から振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

③学費等（納入金）

(1) 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口等で振り込んでください。

※ 10万円を超える現金による振り込みは、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）が必要となります。

	選考料	学生教育研究 災害傷害保険費	授業料	合計
再入学1～4年	10,000円	140円	154,020円	164,160円
備考	入学時のみ	入学時のみ	年額	

●日本学生支援機構給付奨学金の予約採用（入学金・授業料減免の権利をお持ちの方）の決定通知を受け取られた方についても、入学手続時納入金額を期日までに納入してください。入学金の返金・授業料減免に関する手続きは入学後に行います。なお、本学の入学を辞退される場合は、本制度の適用外となり、本学の入学金は返還されません。

●書類審査の結果の入学許可となった年次の入学金と授業料が適用されます。

(2) 合計金額を一括納入してください。**分納はできません。**

(3) 一度納入された学費は返還しません。

ただし、選考の結果、入学不許可の場合は、選考料を除く残りの金額を返還します（特別な理由により返還が生じた際は、振り込み手数料を除いた金額を返還します）。

(4) 授業料は、補助教材費・科目修得試験受験料・スクーリング受講料が含まれます。

ただし、教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、入学後別途必要です。

(5) 次年度以降の学費は、授業料のみとなります。

また、次年度以降も学費は分納できません。休学・留年等により進級できなかった場合、新たに所属する年度および年次の学納金が適用されます。

Ⅱ. 科目等履修生について

大学卒業を目的としないで、本学通信課程に開設している科目のうち任意の科目を選んで学習（履修）する学生のことを「科目等履修生」といいます。教養のために興味ある科目のみ、あるいは教員免許状等の資格の取得に必要な特定の科目のみを履修することができます（ただし、他大学在籍中で教員免許状修得見込の方は除く）。入学にあたっては、高等学校卒業またはそれと同等以上の資格が必要です。

また、独立行政法人 大学評価・学位授与機構の授与する、学士の学位取得に要する基礎資格該当の積み上げ単位にも使用することができます。

在籍期間	春期（4月）生	2025年 4月1日～2026年3月31日
	秋期（10月）生	2025年10月1日～2026年3月31日

①出願資格

正科生の出願資格に該当する者。

②出願手続（インターネットによる出願と出願書類の郵送）

下記 Web 出願サイトにて出願を行ってください。

<https://www.e-campus.gr.jp/teikyo-utsunomiya-correspondence/public/application/>



Web 出願サイトで入力が完了しましたら、出願書類を印刷（A4サイズの用紙）し、必要事項を記入の上、証明書類とともに郵送してください。

出願締切日までに、学費等（納入金）合計金額の納付および出願書類等を郵送し、手続きを完了してください。

書類選考により合否を決定します。必要な書類等は、[P.66～71](#)の記入例を参照のうえ、間違いのないように記入してください。「振込依頼書・振込金受取書・志願票」に、金融機関収納印押印の後、市販の角2封筒（A4サイズ）に出願用封筒表紙を貼り付け、出願書類一式を封入し、郵便局より簡易書留で帝京大学宇都宮キャンパス教務課通信教育係宛に送付してください。出願締切日までに書類が到着したもののみ受け付けます。

・出願書類（インターネットによる出願後、所定用紙が印刷できます）

1～6は、Web 出願サイトを入力した後に各自で印刷してください。

所定用紙を印刷した後に、修正・訂正があった場合は、Web 出願サイトに入力した情報は修正せずに、印刷した用紙に二重線で訂正をしてください。

書類到着、書類の不備等については、Web 出願サイトで登録したメールアドレスにお知らせをします。

一度提出された出願書類は返却しません。出願書類に不備がある場合は、補完されるまで選考は保留となります。

	書 類	補 足 事 項
1	志願票	<ul style="list-style-type: none"> 所定の事項を P.66 の記入例を参照し、必要事項を追加記入してください。 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した証明写真（カラー、縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）をアップロードしてください。入学後の学生証に使用します。 過去に本学通信教育課程に在籍していた場合は、在籍当時の学籍番号を記入してください。学籍番号不明の場合は、教務課にお問い合わせください。
2	履修登録用紙	<ul style="list-style-type: none"> 履修する科目を選択（春期生は30単位上限、秋期生は24単位上限）してください。 科目によって単位数が異なります。自動計算されますが、よくご確認ください。 科目によっては、前提となる科目の修得が条件（学習の順番が決まっている）付けされている科目や、プログラミング言語の理解等がないと学修が進まない科目があります。科目概要やシラバス（本学ホームページ）を参照し、必要な科目をよく考えて、選択してください。教員免許の取得を目的とする場合は特に注意してください。 出願後、自己の都合による科目変更は認めません。 教職科目は、教員免許希望者のみ履修できます。 秋期（10月）入学を希望する方は、メディア科目以外の科目を選択してください。

3	健康診断書	P.68 を参照し、医療機関で証明を受けてください（3ヶ月以内に発行のもの）。
4	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> • P.69 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく記入の上、各自の印を押印してください。 • 保証人は、保護者または成人で独立の生計を立てている成年者に依頼してください。
5	個人情報の取り扱いに関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> • P.70 の記入例を参照し、ペンまたはボールペンでもれなく追加記入してください。 • 提出日を記入し、各自の印を必ず押印してください。
6	出願書類郵送用封筒表紙	<ul style="list-style-type: none"> • P.71 の記入例を参照し、印刷したものを市販の角2封筒（A4サイズ）に貼付してください。 • 封入した書類をチェックし、封をしてください。
7*	入学資格を証明する書類 (下記参照)	<ul style="list-style-type: none"> • すべて出願前3ヶ月以内に発行されたもので、最終学歴の証明書を提出してください。 • 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。
8	その他 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> • 出身学校証明書等と志願票氏名の記載が異なる場合は、本人確認書類（戸籍個人事項証明書）を提出してください。 • 外国籍の方は住所、在留資格、在留期間等が明記された住民票を提出してください。（外国人登録証明書（カード）ではなく、居住地の市・区役所等で発行された証明書を提出してください） • 教職課程の履修を希望される方は、『学力に関する証明書』を提出してください。
9	学費等 (納入金)	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口で振り込んでください。「取扱金融機関印が押印された」志願票を提出してください。 • ATM・ネットバンキングから振り込む場合は、依頼人コードと依頼人名、フリガナを続けて入力し、「振り込み控え」を添付してください。 • 振込金受取書は各自で保管してください。 • 金額は P.29 ③学費等（納入金）を参照してください。 • ゆうちょ銀行から振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

* 7の入学資格を証明する書類

入学資格	提出書類	補 足 事 項
高等学校卒業見込み 中等教育学校卒業見込み	調査書	<ul style="list-style-type: none"> • 2025年3月卒業見込と明記されない様式の場合は『卒業見込証明書』も提出してください。 • 卒業後、速やかに『卒業証明書』を提出してください。
大学入学資格が付与されている専修学校高等課程修了見込み		
高等専門学校第3学年修了または修了見込み		
高等学校卒業 中等教育学校卒業	卒業証明書 調査書	<ul style="list-style-type: none"> • 高等学校の事情により『調査書』の交付が受けられない場合は『成績証明書』を提出してください。 • 高等学校等卒業等で保存年限（5年）が経過しているため『調査書』『成績証明書』が交付されない場合は、『調査書・成績証明書発行されない事に関する証明書』の交付を依頼し、提出してください。
文部科学省高等学校卒業程度認定試験合格または合格見込み	合格（見込）成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> • 『合格証明書』では受け付けません。成績が記載されている証明書を提出してください。 • 大学入学資格検定の合格者も該当します。 • 合格後速やかに『合格成績証明書』を提出してください。

大学・短期大学 中途（満期）退学	在学期間証明書 成績証明書 高等学校卒業資格を 証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> 在籍していた大学等の発行する証明書と高等学校等が発行する卒業証明書と調査書を提出してください。
大学・短期大学・高等専門 学校（5年制）卒業ま たは卒業見込み、大学院 修了または修了見込み	卒業（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 大学院を修了（見込）の方は、大学と大学院のそれぞれの証明書を提出してください。 外国の大学卒業（見込）の方は、学位取得（見込）証明書を必ず提出してください。
専修学校修了または 2025年3月修了見込	修了（見込）証明書 成績証明書 基礎資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> Web 出願サイトまたはこちらから印刷した『基礎資格証明書』を出身校に記入依頼し、提出してください。 交付については、『基礎資格証明書』の留意事項を参照し、出身校に確認してください。
外国において学校教育に おける12年の課程の修 了者および2025年3 月31日までに修了見込 みの者	修了（見込）証明書 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校または最終出身学校の書類で、原本を提出してください。 日本と外国双方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。 「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。

③学費等（納入金）

- (1) 印刷した志願票・振込用紙を金融機関へ持参し、学費等（納入金）の合計金額を窓口等で振り込んでください。
 ※ 10万円を超える現金による振り込みは、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）が必要となります。

	選考登録料	学生教育研究 災害傷害保険	補助教材費	授業料		
				テキスト科目	スクーリング科目 メディア科目	スクーリング 演習科目
春期（4月）生	17,000円	140円	5,000円	1単位	1単位	1単位
秋期（10月）生				5,000円	7,000円	10,000円
備考						情報基礎1のみ該当

- 秋期（10月）出願では、メディア科目の受講申込受付を行いません。
- 学費の算出等で不明な点は、宇都宮キャンパス教務課へお問い合わせください。
- 他大学に在学している場合は、振り込み前に、学生教育研究災害傷害保険費について教務課へお問い合わせください。

- (2) 合計金額を一括納入してください。分納はできません。
- (3) 一度納入された学費は返還しません。
 ただし、選考の結果、入学不許可の場合は、選考登録料を除く残りの金額を返還します。（特別な理由により返還が生じた際は、振り込み手数料を除いた金額を返還します。）
 また、入学許可後に入学辞退を希望し、**2025年4月25日（金）12時00分までに帝京大学宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）に申し出た場合は、授業料と学生教育研究災害傷害保険費のみを返還（ただし振込手数料を除いた金額）**します。
 なお、辞退申し出後の変更は一切受け付けません。
- (4) 授業料は、科目修得試験受験料が含まれます。
- (5) 教科書（テキスト）・指導書・参考書に係わる費用は、入学後別途必要です。

④注意事項

- (1) 入学後の科目変更は一切受け付けません。[P.9](#)の科目修得試験の受験時期も参照し、上限30単位までの科目選択をしてください。入学許可・学習開始時期によっては、受験できない時期があります。
 特に、プログラミング言語の理解ができていないと、情報科学演習1～4の学修が進みません。ホームページで講義概要（シラバス）を参照して使用する言語等を確認してください。情報科学演習1～4を履修する場合は、プログラミング1～4（正科生必修科目）も履修することを推奨します。
- (2) 秋期（10月）生は、メディア科目の受講ができません。

- (3) 科目等履修生で教員免許状（情報）の履修を希望する方、秋期（10月）生を希望する方は、出願前に必ず宇都宮キャンパス教務課（TEL028-627-7117）まで連絡してください。
- (4) 在籍期間終了時、正科生へ入学した場合は、学生証を返却する必要があります。

⑤教員免許状（高校一種 情報）を希望する方へ

- (1) 本要項 P.46 の「7. 教職課程について」を参照の上、出身大学より「学力に関する証明書」を入手し、免許状申請を予定している都道府県の教育委員会で指導を受け、必要な科目の確認をしてください。
- (2) 科目等履修生で教員免許状（情報）を取得できるのは、すでに他教科の高等学校教諭一種免許をお持ちの方、または教員免許取得に必要な単位の一部を取り残して出身大学を卒業された方となります。他大学在籍中で教員免許取得見込の方はご出願ができません。
ただし、教育実習、教育実習指導、教職実践演習は本学の卒業生のみ履修することができます。
- (3) 教育実習、教育実習指導、教職実践演習は、本学の卒業生以外の方は履修できません。
- (4) 本学卒業生で、教育実習を希望し在学中に教職課程履修費を納入していない方は、別途教職課程履修費が必要になります。

教職課程履修費	25,000円
---------	---------

- (5) 教員免許状の申請は、個人申請となります。
- (6) 免許状の取得を条件に翌年度4月からの採用が内定している場合などで、年度内の免許状取得を希望する方は、教育委員会の個人申請の受付期間や、本学の単位修得証明書の発行時期に留意する必要があります。

本学の成績証明書発行（単位修得証明書）は3月中旬です。それより発行時期を早めることはできません。予めご了承ください。

⑥学習の継続について

在籍期間終了後、引き続き学習の継続を希望することができます。継続して希望する場合は、下記「継続を希望する場合」のとおり手続きを行ってください。なお、**在籍期間内に単位修得ができなかった科目については、レポート合格などが無効となります。**単位修得できなかった科目の履修を希望する場合は、改めて履修登録することが必要です。継続する科目とあわせて別の科目を追加履修することもできます。

●継続を希望する場合

2月末日までに、継続したい旨の連絡をeメールまたはLMSのメッセージでご連絡ください。学費等（納入金）については、新年度の募集要項記載の納入金と同額となります。新年度の募集要項をご確認の上、改めて出願手続きを行ってください。なお、継続の場合の提出書類は、以下の3点です。

- (1) 提出書類 … 新年度の志願票、履修登録用紙、健康診断書
- (2) 学費等（納入金） … 新年度の募集要項記載の納入金と同額となります。
(選考登録料、学生教育研究災害傷害保険費、補助教材費、授業料)

●本学正科生への入学を希望する場合

本学通信教育課程の科目等履修生から、翌年の正科生入学を希望する場合は、2月末日までの早い時期にeメールまたはLMSのメッセージでご連絡ください。

- 本通信教育課程で修得した単位は、本通信教育課程の正科生の単位に算入することができます。
- 本通信教育課程の科目等履修生で在籍した期間を、本通信教育課程の正科生の在籍期間に算入する場合は、下表のとおり、修得単位数、修得科目、修得期間等を勘案し、2年を超えない範囲で認めます。

一定の単位を修得した本学科目等履修生が本学通信教育課程に入学し卒業を目指す場合の在籍期間

科目等履修生としての修得単位および当該単位の修得に要した期間	通算される年数	編入年次	修業年限	最長在学年限
32単位以上修得し、かつ、単位の修得に要した期間が1年以上	1年	2年	3年	7年
62単位以上修得し、かつ、単位の修得に要した期間が2年以上	2年	3年	2年	6年

- 単位修得に要した期間中に「他の大学、短期大学、高等専門学校または専修学校専門課程の学生であった期間」がある場合、その期間は修業年限の通算の対象になりません。

5. 開講科目について

2025年度入学生 開講科目一覧表(予定)

テキスト授業(T)、スクーリング授業(S)、メディア授業(M)

単位数の○数字は必修科目

授業科目名		標準履修学年	試験実施時期	単位数	授業形態			
共通 教育 科目	教養 教育 科目	心理学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		現代日本史	1	I・Ⅲ	2	T		
		西洋史	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		人間関係論	1	I・Ⅲ	2	T		
		法学	2	I・Ⅲ	2	T		
		現代世界の政治経済	1	I・Ⅲ	2	M		
		社会学	1	I・Ⅲ	2	T		
		経済学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		社会心理学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M		
		地理学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		健康支援学	1	I・Ⅲ	2	T		
		スポーツ科学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
	外国語 教育 科目	英語1	1	I・Ⅲ	②	M		
		英語2	1	Ⅱ・Ⅳ	②	M		
		英語3	2	I・Ⅲ	2	T		
		英語4	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		英語コミュニケーション	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T		
		国際言語文化	1	6~9月期	2	S		
		国際事情1	1~4		2	S		
	国際事情2	1~4		2	S			
	専門 科目	専門 基礎 科目	必修	情報基礎1	1	6~9月期	②	S
				情報基礎1	1	I・Ⅲ	②	M
基礎数学				1	6~9月期	②	S	
基礎数学				1	I・Ⅲ	②	M	
論理数学				1	10~2月期	②	S	
論理数学				1	Ⅱ・Ⅳ	②	M	
選択			線形代数	1	I・Ⅲ	2	M	
			微積分学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T	
			微積分学2	2	I・Ⅲ	2	T	
			微分方程式	2		2	M	
			グラフ理論	2	I・Ⅲ	2	M	
			離散数学	2	Ⅱ・Ⅳ	2	M	
専門 基礎 科目		幾何学	2	I・Ⅲ	2	M		
		物理学1	1	I・Ⅲ	2	T		
		化学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M		
		生物学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M		
		情報技術基礎	1	I・Ⅲ	2	M		
		技術者倫理	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M		
		専門 基礎 科目	必修 20 単 位	プログラミング1	1	I・Ⅲ	②	M
				プログラミング2	1	Ⅱ・Ⅳ	②	M
				プログラミング3	2	I・Ⅲ	②	M
				プログラミング4	2	Ⅱ・Ⅳ	②	M
情報科学演習1	2			I・Ⅲ	②	M		
情報科学演習2	2			Ⅱ・Ⅳ	②	M		
情報科学演習3	3			I・Ⅲ	②	M		
情報科学演習4	3			Ⅱ・Ⅳ	②	M		
データサイエンス・AI入門	1			Ⅱ・Ⅳ	②	M		
データサイエンス応用基礎1	2				②	M		
データサイエンス応用基礎2	2		②	M				

		授業科目名	標準履修学年	試験実施時期	単位数	授業形態	
専門科目	専門 基盤 科目	選 択	コンピュータネットワーク	2	I・III	2	M
			情報理論	3	I・III	2	T
			情報セキュリティ	3	I・III	2	T
			情報システムデザイン	3	II・IV	2	M
			画像情報処理	3	I・III	2	T
			Web 技術	1	II・IV	2	T
			情報と職業	4	II・IV	2	M
			計算機アーキテクチャ	3	I・III	2	M
			コンピュータグラフィックス	3	II・IV	2	M
			オペレーティングシステム	3	I・III	2	M
			データ構造とアルゴリズム	2	I・III	2	M
			データベース論	2	II・IV	2	M
			情報社会論	3	II・IV	2	M
			量子情報科学	3		2	M
			オートマトンと計算理論	2	II・IV	2	T
	専門 展 開 科目	選 択	数理統計学	2	II・IV	2	T
			計測工学	3		2	M
			コンピュータシミュレーション	3	I・III	2	M
			人工知能の基礎	2	I・III	2	M
			人工知能の応用	4		2	M
			オペレーションズリサーチ	4	I・III	2	T
			管理工学概論	4		2	M
			経営情報学	4		2	M
			ロボティクス概論	1	I・III	2	M
			電磁気学	2	I・III	2	T
			電気回路1	2	I・III	2	T
			電気回路2	2	II・IV	2	T
			機械要素設計	2		2	M
			電子回路	3	I・III	2	T
			論理回路	3	II・IV	2	M
電子デバイス	3		2	M			
メカトロニクス	4		2	M			
ロボットセンシング	4		2	M			
ラプラス変換・フーリエ解析	3	II・IV	2	T			
自動制御	4	I・III	2	T			
教職課程関係科目	教科指導法	教職課程履修者 必修	情報科教育法1	2	I・III	2	M
			情報科教育法2	3	II・IV	2	M
	教職論		1	I・III	2	T	
	教育の理念と歴史		1	II・IV	2	M	
	教育制度論		2	II・IV	2	T	
	教育課程論		2	II・IV	2	M	
	教育心理学		1	II・IV	2	T	
	特別支援教育論		3	I・III	1	M	
	特別活動と総合的な学習の時間の指導法		3	II・IV	2	T	
	教育の方法と技術 (ICT 活用を含む)		2	I・III	2	M	
	生徒指導・進路指導論		3	I・III	2	T	
	教育相談		3	II・IV	2	M	
	教職実践演習		4		2	S	
	教育実習		4		2	S	
	教育実習指導		4		1	S	

※次ページの「開講科目一覧表の注意事項」を必ず参照してください。

開講科目一覧表の注意事項

- 変更がある場合は、本学ホームページまたはLMS（入学後）でお知らせします。
- 正科生は、当該年次より上の年次配当の科目を履修することができません。
- 以下の科目は授業形態を選択（スクーリングまたはメディア）して履修します。2つの授業形態を両方履修することはできません。年度途中で授業形態を変更することはできません。
「情報基礎1」、「基礎数学」、「論理数学」
- 以下の科目は、2026年度に開講します（予定）。
「微分方程式」、「データサイエンス応用基礎1」、「データサイエンス応用基礎2」、「機械要素設計」
- 以下の科目は、2027年度に開講します（予定）。
「量子情報科学」、「計測工学」、「電子デバイス」
- 以下の科目は、2028年度に開講します（予定）。
「人工知能の応用」、「管理工学概論」、「経営情報論」、「メカトロニクス」、「ロボットセンシング」
- 秋期（10月）科目等履修生は、メディア科目と一部のスクーリング科目を履修できません。
- 教職科目は、教職課程費を別途納付した教職課程履修希望の正科生または科目等履修生が履修できます。
- 4年次配当の「情報と職業」は、教職課程費を別途納付した教職課程履修希望の正科生または科目等履修生が履修できます。
- 前頁「2025年度入学生 開講科目一覧表（予定）」に記載されている科目は2025年度入学生向けの開講科目です。編入学生の場合、2年次編入者は2024年度、3年次編入者は2023年度のカリキュラムが適用されるため、履修可能な科目が異なる場合があります。Webシラバスで2024年度に開講されている科目をご参考ください。

カリキュラムマップ (科目関連相関図)

情報科学科 カリキュラム構成

	専門基礎	情報科学	データサイエンス	ロボティクス	共通教育	教職
4年		M 情報と職業	T オペレーションズリサーチ M 経営情報学 M 管理工学概論 M 人工知能の応用	T 自動制御 M メカトロニクス M ロボットセンシング		S 教職実践演習 (高) S 教育実習 S 教育実習指導
3年		M 情報科学演習4 M 情報科学演習3 T 画像情報処理 T 情報理論 T 情報セキュリティ M 量子情報科学 M 計算機アーキテクチャ M コンピュータグラフィックス M オペレーティングシステム M 情報社会論 M 情報システムデザイン	M コンピュータシミュレーション M 計測工学	M 論理回路 T 電子回路 M 電子デバイス T ラプラス変換・フーリエ変換		M 教育相談 T 生徒指導・進路指導論 T 特別活動と総合的な学習の時間の指導法 M 情報科教育法2 M 特別支援教育論
2年	M 幾何学 M 離散数学 M グラフ理論 M 微分方程式 T 微積分学2	M プログラミング4 M プログラミング3 M 情報科学演習2 M 情報科学演習1 T Web 技術 M コンピュータネットワーク M データ構造とアルゴリズム M データベース論 T オートマトンと計算理論	M データサイエンス応用基礎2 M データサイエンス応用基礎1 T 数理統計学 M 人工知能の基礎	T 電気回路2 T 電気回路1 T 電磁気学 M 機械要素設計	T 英語コミュニケーション T 英語4 T 英語3 T 法学	T 教育制度論 M 教育の方法と技術 (ICT 活用を含む) M 情報科教育法1 M 教育課程論
1年	M/S 論理数学 M/S 基礎数学 M/S 情報基礎1 M 情報技術基礎 T 物理学1 M 化学1 M 生物学1 T 微積分学1 M 線形代数 M 技術者倫理	M プログラミング2 M プログラミング1	M データサイエンス・AI 入門	M ロボティクス概論	M 英語2 M 英語1 T スポーツ科学 T 地理学 T 健康支援学 T 社会学 T 経済学 T 心理学 T 西洋史 M 現代世界の政治経済 T 現代日本史 T 人間関係論 M 社会心理学 S 国際言語文化 S 国際事情2 S 国際事情1	T 教育心理学 M 教育の理念と歴史 T 教職論

6. 科目の概要 (2025年度)

* 複数の授業形態で実施される科目については、いずれか1つの形態で履修します。年度途中の変更はできません。

※科目の内容は変更される場合があります。

単位数の○数字は必修科目

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容	
共通 教育 科目	教 養 教育 科目	心理学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T	心理学とは、こころの働きに関する「科学」である。現在では、“こころ”についてメディアや一般向けの書物で言及される機会も増えており、そこで面白おかしく語られる言説は通俗的な心理学とも呼ばれ、科学的な心理学の知見とは異なることも少なくない。そこで、本科目では、科学的な心理学が確立してきた研究法を学びながら、科学的な心理学と通俗的な心理学の違いを理解することを目標とする。
		現代日本史	1	Ⅰ・Ⅲ	2	T	国際社会に多種多様な形で存在する文化と、いかに向き合っ、自国の文化を形作っていくかが、今日の大きな課題である。この問題への歴史的な認識を深めるために、近代日本が、欧米文化をどのように根付かせたのかを、日本在来の文化に対してどのような態度をとったのかを、さまざまな角度から検討していく。特に政治決定のやり方、それを支える国民意識のあり方といった政治文化の変貌の様相を中心課題とする。
		西洋史	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T	この授業の目標は、近現代史を中心とする世界の歴史を、その地理的条件や政治経済の状況と関連付けながら理解することにより、日本と世界の現状を歴史的視点から認識する能力を養うことにある。具体的には、古代・中世の世界史（地中海、オリエント、アジア）を概観したうえで、大航海時代から冷戦終結に至る欧米各国の歴史を、同時代のアジア、日本の状況も視野に入れつつ詳説することにより、あらゆる領域における自由化の進展と経済成長を基調とする20世紀西洋史を理解するために必要な基礎知識を身につける。
		人間関係論	1	Ⅰ・Ⅲ	2	T	人間関係において重要な役割を果たすコミュニケーションの構造や特徴を理解することで、自らを取りまく人間関係について、客観的に考察する視点を獲得することを目標とする。その際、特に日本語によるコミュニケーションに焦点をあてる。まず、コミュニケーションの全体像を日本語におけるコミュニケーション、言語・非言語コミュニケーションなどの観点から概観する。続いて、(1) 対人関係のコミュニケーション、(2) 日本語における比喩やオノマトペ、(3) 公共の場や異文化間におけるコミュニケーションについて考える。最後に、それまでの授業を統括し、コミュニケーションの諸相から人間関係について考察する。
		法学	2	Ⅰ・Ⅲ	2	T	われわれの身の回りに日常的に生起する法現象を、客観的に認識することの重要性を理解してもらうことが最大の目的である。法を社会統制の1つとして、生きた社会の関連の中で捉え、法を抽象的にでなく、具体的な問題に即して重点的に把握することができる「眼」(リーガル・マインド)を育てることを目標として、日本国憲法を含む法学のほぼ全分野にわたって、重要なテーマを選んで、わかりやすく解説していく。
		現代世界の政治 経済	1	Ⅰ・Ⅲ	2	M	政治と経済は、密接な関係を有している。現代世界において、その関係性を知り、理解することが一層重要になってきた。政治と経済、さらに社会の3つとも紐づけられているのは、実は財政学という分野である。政治、経済、社会の3つのシステムを維持し、社会を統合することは、財政の役割である。 本講義では、政治と経済の基礎概念、理論を学習したうえで、財政のアプローチから政治と経済について解説する。現代世界において、福祉国家の在り方が課題となっている。「福祉国家のゆくえ」と「日本における福祉国家の在り方」という事例課題を念頭に、政治と経済の関係性を理解してもらい、福祉国家の誕生、発展と今後について、福祉財政のアプローチから説明し、履修者と一緒を考えていきたい。

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
共通 教育 科目	社会学	1	I・III	2	T	社会を人々が織りなすネットワークとして捉えるのが社会学の考え方である。こうした考え方を修得し、現代社会のしくみを構造的に理解できるようになることを目標とする。個人の心のようなミクロな水準から、国家のようなマクロな水準にまで、社会学の基礎となる概念や理論を幅広く学ぶ。また、今日の社会で生じているさまざまな社会問題を読み解くことにもチャレンジしてもらう。
	経済学	1	II・IV	2	T	本講義では、個人や企業、政府の各主体がどのような考えから行動し、それがどのような動きをしているか（ミクロ的視点）、理論的に解説する。また景気や物価、失業など日本や世界の経済全体の動きを知るための手段（マクロ的視点）を教える。具体的には、生産、消費、交換、貿易、財市場、貨幣市場、労働、政策の効果などの項目を取り上げる。
	社会心理学	1	II・IV	2	M	社会心理学は、社会における人のこころの動きについて明らかにする学問です。この授業では、社会心理学の基礎的な概念や理論を学びます。社会の中での人のこころの動きについて、社会的影響、感情、他者に対する判断・態度、集団、消費行動、文化、といった側面から学んでいきます。
	地理学	1	II・IV	2	T	地理学とは人間活動が引き起こすさまざまな事象を空間という概念によって説明する学問であり、人文地理学と自然地理学とに分かれる。本講義では、都市、農村、工業、商業、観光など、人文地理学を構成する諸分野について事例を交えながら解説していく。本講義を通して、日常生活で見られるさまざまな現象を、地理学的な考え方によって理解し、表現できる能力を身につけてもらいたい。
	健康支援学	1	I・III	2	T	中学高校における保健授業は、自己の健康に重点がおかれ、他者の健康をいかに増進するかについての視点がややもすると軽視されていた。本授業では、他者の健康を支援する能力を向上させるために、公衆衛生学、精神保健社会学、健康教育学の知識と技術を学ぶ。他者とは、家族、職場の人々、地域の思春期の若者、老人を含む。
	スポーツ科学	1	II・IV	2	T	近年、健康や体力の維持・増進に果たすスポーツや運動の役割が非常に重要視されている。しかし、どんなスポーツや運動でも効果が確実に現われ、それが健康に結び付くというものではない。健康や体力の維持・増進の為に、スポーツや運動を実施するうえでの正しい知識をもつこと、ストレスなどの生活環境と上手に共存してゆく術を理解し、実践していくことをねらいとして展開する。
	英語1	1	I・III	②	M	入学までに学んだ英語を土台として、英語力を総合的に向上させることを目標とする。初めは平易な教材を用いて、既習の文法事項の復習を行い、語彙の増強、読解力の強化、英語の音声に慣れ親しむことなどを目指す授業を行う。中でも、文法事項の復習と発展を意識しながら授業を進めていく。練習問題に取り組むことなどを含んだ演習形式の授業となる。
	英語2	1	II・IV	②	M	入学までに学んだ英語を土台として、おもに英文の読解力を向上させることを中心とした、総合力向上のための授業である。初めは平易な教材を用いて、読解力の強化、語彙の増強、文法事項の復習、英語の音声に慣れ親しむことなどをめざす授業を行う。とくに、英語の構文を正確に把握し、文意を正しく理解することを意識しながら授業をすすめていく。演習形式の授業である。
	英語3	2	I・III	2	T	簡単な英語が聞き取れるようになることを目標とする。いろいろな形式の問題に取り組みながら聞き取る能力の向上を図っていく。知っているはずの単語や表現も聞き取れないことがある。連音や短縮発音などが聞き取りを難しくしていると思われる。練習問題を通して、こうした英語の音声の特徴を理解してほしい。ただし、聞き取りは音声だけの問題ではない。文法や語彙、表現を習得して、理解する速度を上げなければ音声の速さについていけないことも忘れないでほしい。
	外国語 教育 科目					

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容	
共通 教育 科目	外国 語 教 育 科 目	英語4	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T	本科目は、「英語1」「英語2」で学んだことを土台として、おもにライティング能力を向上させることを目的とする。そのために、これまで学んできた文法の知識を活かしながら、簡潔かつ効果的に英文を書くことを学ぶ。また、辞書を使いこなせるようになるために、品詞に関する理解も深める。
		英語コミュニケーション	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T	本授業の目的は、実践的なコミュニケーションを念頭において、英文を正しく組み立てられるようにすることである。本授業では、現代社会において重要なコミュニケーションのツールであるeメールの書き方を学ぶことを中心に、実践的な英語での読み書き能力を養い、英語で文書を作成する能力を身につけることを目指す。
		国際言語文化	1	6~9月期	2	S	「国際言語文化」では、私たちの言語文化と関わりの深い〈中国語圏の言語文化〉を知ることを通じて、専攻分野の学びに奥行きが生まれるよう、中国語と中国語圏の文化を学ぶ。なお、中国語については「普通話（ブートンホア）」と呼ばれる共通語を扱う。また、本講義では受講対象者を初心者（かつ、日本語母語話者）に定めるが、受講生がスクーリング終了後も学習を継続し、「（中国語学習の準備完了レベルである）中国語検定試験準4級」以上の取得が目指せるよう、中国語の基礎力（発音、漢字〔簡体字〕表記および基礎文法に関する能力）の定着を図る。
		国際事情1	1~4	—	2	S	外国事情は、語学力の向上と異文化への理解を深めることを目的とした、通学課程で実施されている短期留学である。約3週間にわたり語学研修や見学をとおりコミュニケーションや各国の文化、社会事情を学ぶ。海外での経験は異文化への理解を深め、国際的な視野と生活文化に対する幅広い知識を身につけることができる。留学費用が別途必要となる。
		国際事情2	1~4	—	2	S	外国語研修は、語学力の向上と異文化への理解を深めることを目的とした、通学課程で実施されている短期留学である。約3週間にわたり語学研修や見学をとおりコミュニケーションや各国の文化、社会事情を学ぶ。海外で修学する事により、好奇心と興味の幅を広げ、生きた語学を学ぶことができる。留学費用が別途必要となる。
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	情報基礎1	1	Ⅰ・Ⅲ / 6~9月期	②	S / M	Windows システムのパーソナルコンピュータ(PC)端末を使って行う。すべての学生が共通的に持つべき情報リテラシーとして、オフィス系ソフトウェアと Web ブラウザ等の基本的な使い方とそれらの間の有機的連携方法、ハードウェアの基本的な使い方を実習的な形式で教授する。これによって理工学技術者として必要な情報処理能力を修得することを目的とする。
		基礎数学	1	Ⅰ・Ⅲ / 6~9月期	②	S / M	本科目では、理工系の諸分野で共通に用いられる基本的な数学概念を学習する。主に以下の項目について学習する。 (1) さまざまな関数（三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数） (2) 数列や関数の極限（数列の極限、無限級数の和、関数の極限） (3) ベクトル（ベクトル演算、ベクトルの内積、ベクトルの外積、等） (4) 複素数（複素数平面、共役複素数、オイラーの公式、ド・モアブルの定理、等）
		論理数学	1	Ⅱ・Ⅳ / 10~2月期	②	S / M	情報科学の基礎である集合と論理の基礎を習得し、情報科学の様々な問題に対応できる論理的な思考力を高めることを目標とする。抽象的な概念の理解に役立つように、できる限り具体例を示すとともに、演習を取り入れる。集合、写像、関係、命題論理、述語論理から構成される。
		線形代数	1	Ⅰ・Ⅲ	2	M	線形代数の入門コースである。理学・工学で用いられる数学の基礎知識を習得するとともに、それらの運用能力を高めて、専門科目の教科書などを独習できる力を付けることを目標とする。行列、1次変換、逆行列、行列式、逆行列と連立1次方程式、ベクトルの1次独立性、行列の対角化と固有値から構成される。

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専 門 科 目	微積分学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T	1変数関数の微分と積分の基礎について学習する。授業形態としては印刷教材を用いた通信形式とする。理工学で用いられる微積分の基礎知識を習得するとともに、計算能力を高め、事象を数学的に考察する能力を培うことを授業の目標とする。授業項目は、導関数、関数の増減と極大極小、合成関数の導関数、高次導関数、逆関数の導関数、テイラー展開、不定積分、定積分、面積と体積である。
	微積分学2	2	Ⅰ・Ⅲ	2	T	多変数関数の微分と積分の基礎について学習する。授業形態としては印刷教材を用いた通信形式とする。理工学で用いられる偏微分と重積分の基礎知識を習得するとともに、計算能力を高め、事象を数学的に考察する能力を培うことを授業の目標とする。授業項目は、偏導関数、合成関数の導関数、平均値の定理、極大・極小、陰関数定理、重積分、累次積分、極座標による積分である。
	微分方程式	2	—	2	M	(2026年度開講)
	グラフ理論	2	Ⅰ・Ⅲ	2	M	本科目では、情報科学の基礎としてのグラフ理論を学習する。グラフ理論は、点や線を使った図形で問題を分析する数学である。主に、以下の項目について学習する。 (1) グラフの種類 (オイラーグラフ、ハミルトングラフ、木、平面的グラフ、有向グラフ、2部グラフ、等) (2) グラフの性質 (巡回性、全域性、平面性、彩色可能性、向き付け可能性、連結性、等) (3) グラフ理論における代表的な定理 (オイラーの一筆書き定理、Kuratowskiの定理、4色定理、最大フロー・最小カット定理、Hallの定理、Mengerの定理、等)
	離散数学	2	Ⅱ・Ⅳ	2	M	有限体と整数論についての入門コースである。情報の誤りを自動的に検出・訂正する符号の仕組みを有限体に基づき理解すること、および、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号を整数論に基づき理解することを目標とする。演算と代数系、半群と群、環と体、情報の伝達、符号の誤り、誤りの検出と訂正、有限体、ハミング符号、巡回符号、BCH符号、暗号、整数、素数と素因数分解、ユークリッドの互除法、1次不定方程式、合同式、フェルマーの小定理、RSA暗号から構成される。
	幾何学	2	Ⅰ・Ⅲ	2	M	本科目では、主にユークリッド幾何学、射影幾何学および解析幾何学の基礎について学習する。これらの内容に加えて、現代的な幾何学からの話題として、位相幾何学、グラフ理論および計算幾何学に関連する話題を紹介する。ユークリッド幾何学および射影幾何学については、以下のような定理およびそれらの応用について学習する。 (1) チェバの定理 (2) メネラウスの定理 (3) デザルグの定理 (4) パスカルの定理 (5) プリアンションの定理 解析幾何学については、以下の項目について学習する (1) 2次曲線 (放物線、楕円、双曲線) (2) 2次曲面 (楕円面、一葉・二葉双曲面、双曲放物面、等)
	物理学1	1	Ⅰ・Ⅲ	2	T	実験・観察に基づき自然界の法則を体系化する学問である物理学の基礎となる力学についての入門コースである。理学・工学の諸分野に求められる物理学的な考え方と諸現象を数学的に取り扱う方法の基礎を身に付けることを目標とする。位置・速度・加速度、力と運動、エネルギーと運動量をテーマとして、質点の運動、力と力の釣り合い、ニュートンの運動法則、運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、エネルギー保存則、運動量と力積、運動量保存則等について学習する。演習問題を解くことにより理解を深める。

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容	
専門 科目	専門 基礎 科目	化学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M	地球上の物質はすべて原子から構成されており、それらが化学結合するとともに、その結合が組み変わる化学変化をしている。本科目は、理工系分野で必要となる化学の入門コースとなる科目である。自然界で起きている、あるいは工業生産の現場で使われている種々の化学変化を理解するための基本的な知識を身につけることを目標とする。原子の構造、原子量・物質量の概念、化学結合、分子の極性、物質の状態とその変化、気体の熱力学的性質、結晶固体の構造などについて学習するとともに、演習などを通じて理解を深めていく。
		生物学1	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M	この講義では、生物が地球上に誕生してから現在に至るまでの進化の道筋と、生物のからだを構成する仕組みについて理解できることを目的とします。まず、生命の起源とともに進化の道筋について概説します。そして、「生命とは何か」を理解する上でその基礎となる細胞の構造や働きなどについて説明します。さらに、生命の中心物質である遺伝子とその遺伝のしくみや、その個体が生命を維持していくしくみを平易に解説します。最後はバイオテクノロジーや地球環境などの話題を取り上げ、現代の社会問題における科学技術の役割について理解を深めます。
		情報技術基礎	1	Ⅰ・Ⅲ	2	M	情報技術に関する基礎的な知識を修得することを目標とする。そのために次の内容を学習する。(1) 情報技術の基礎理論 (2) コンピュータシステム (3) 情報技術の技術要素 (4) 開発技術とマネジメント
		技術者倫理	1	Ⅱ・Ⅳ	2	M	「技術者はなぜ説明責任を負うのか」、「なぜヒューマンエラーは起きるのか」、「どのような場合に内部告発すべきなのか」等々、専門的な知識をもつ技術者だからこそ考えるべき様々な倫理的問題があります。本講義では、技術者が直面する倫理的問題について、具体的な事例を参考にしながら考察していきます。
	専門 基礎 科目	プログラミング1	1	Ⅰ・Ⅲ	②	M	プログラミング言語 Processing を利用し、プログラミングの基礎を学修する。具体的には、プログラムとは何か、Processing のインストール及び Processing 開発環境の操作方法、簡単な描画プログラム、データ型、演算子、標準出力、変数、繰り返し処理、マウス情報の取得、条件判断処理、関数などを学ぶ。
		プログラミング2	1	Ⅱ・Ⅳ	②	M	プログラミング言語 Processing を利用して、実用的なプログラムを作成するうえで必要となる基礎的な知識、技術および概念を習得することを目標とする。具体的には、オブジェクト指向プログラミングの基礎的な概念、多数のデータを扱うための配列やコレクションクラス、文字列の操作やテキストファイルの入出力、グラフィカルなユーザ・インタフェースをもつプログラムの作成技法について学ぶ。
		プログラミング3	2	Ⅰ・Ⅲ	②	M	Java 言語を通してオブジェクト指向プログラミングの基礎を学ぶ。Java は現在のソフトウェア開発において最も利用されているプログラミング言語の1つであり、オブジェクト指向プログラミングは現在最も一般的なソフトウェア開発技法の1つである。カプセル化、継承、多態性といったオブジェクト指向の基本的な概念、その具体的な実装としてのクラスやインタフェースなどを、演習を通じて学ぶ。さらに、例外処理の概念と実装方法についても扱う。
		プログラミング4	2	Ⅱ・Ⅳ	②	M	統合開発環境 (IDE) を使用した Java 言語によるプログラミング演習を通じて、プログラム開発の実践的な技法を学ぶ。デバッガの使用方法、JUnit を用いたテスト駆動開発、Java のオブジェクトモデルと JavaSEAPI の活用、データストリーム (ファイルの入出力)、およびイベント駆動型プログラミングの概念と技法 (JavaAWT, Swing) を理解し、これらを使用して GUI プログラムを作成できる技能の習得を目指す。さらには、アノテーションやラムダ式についても学ぶ。

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専 門 基 盤 科 目	情報科学演習 1	2	I・III	②	M	コンピュータの本質となる中央処理装置（CPU）の仕組みを深く理解すること、アセンブラ言語によるプログラミングについて理解することを目的とする。そのために、情報処理技術者試験で採用されている仮想計算機 COMET II とそのアセンブラ言語 CASL II を教材として CASL II の簡単なプログラムを作成する演習を行う。また、CPU の詳細な動作について学び、それを説明できるようにする。授業担当者が開発したシミュレータを用いる。
	情報科学演習 2	2	II・IV	②	M	マルチメディアモデリング演習として、画像の幾何学的変換や画像処理を行うプログラムを作成できるようになること、および画像を扱うソフトウェアを用いて画像処理や画像の作成ができるようになることを目標とする。画像の幾何学的変換、画像に対するフィルタ処理、動画画像処理を行うプログラムを作成し、画像処理を行うペイント系のソフトウェアや、曲線により画像を描画するドロー系のソフトウェアの基本的な操作ができるようになることを目指す。
	情報科学演習 3	3	I・III	②	M	TCP/IP 及びアプリケーションサービスのプロトコルについての理解を深め、各種サーバを設置できる力を身に付ける。授業では、学内の演習用のサーバに設置されたバーチャルマシンにアクセスすることで、各種の演習を行う。最初に Linux の操作演習を行い、次に基本的な TCP/IP の設定演習を行う。その後、メールサーバ、ウェブサーバ、ネームサーバなどの各種サーバのインストールと設定の演習、関連プロトコルの調査を行う。
	情報科学演習 4	3	II・IV	②	M	情報システムの設計と実装を演習する。まず、UML についてレビューした後、設定した課題について、UML を使ったモデリング実習を行う。次にデータベースと SQL 言語についてレビューし、データベースを操作する Java プログラミングについて学ぶ。その後、モデル化した情報システムの一部を Java 言語と SQL データベースを用いて実装する。これらを通して、情報システムのモデリングと開発について学ぶ。
	データサイエンス・AI 入門	1	II・IV	②	M	知識基盤社会においては、情報技術の進展に伴い、社会から得られる膨大なデータの利活用は、今後の情報社会の根幹をなすものです。そのためのデータサイエンス・AI に関する基礎的な知識とスキルは、学生が、今後の社会で活躍するために必要となる基礎的な素養です。この科目では、データサイエンス・AI が、社会生活と専門分野の中でどのように活用され、新しい価値を生んでいるのかについて理解できるようにします。また、データサイエンス・AI の基本的な技術や、それを活用する場合の留意事項、さらに、データリテラシーの基本についても学びます。
	データサイエンス応用基礎 1	2	—	②	M	(2026 年度開講)
	データサイエンス応用基礎 2	2	—	②	M	(2026 年度開講)
	コンピュータネットワーク	2	I・III	2	M	インターネットをはじめとするネットワークの利用は、私たちの暮らしの中に浸透しつつある。ネットワーク技術者は、単に環境を利用するだけでなく、その仕組みを理解し、自身でネットワークを構築したり、外部の攻撃からコンピュータを守るための知識や技術が求められている。この講義は、コンピュータネットワークについて初めて学ぶ学生を対象とし、ネットワーク技術の基礎となる以下の内容を学んでゆく。 ・コンピュータネットワークの基礎（コンピュータネットワークを理解するために必要な基礎的な要素について） ・インターネット（インターネットの歴史や通信方式について） ・OSI 参照モデル（通信機能を階層化して各層の役割） ・ネットワークセキュリティ（情報を安全にやり取りするための技術について）

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容	
専 門 科 目	専 門 基 盤 科 目	情報理論	3	I・III	2	T	本科目では、まず基礎として、情報理論を学ぶうえで必要となる確率論を学ぶ。そのうえで、通信路、情報源、情報量の概念を定義する。これらの概念に基づき、情報源符号化ならびに通信路符号化を取り上げる。さらに符号理論の基礎を学ぶ。また情報理論により導かれるものとして、暗号理論ならびに情報セキュリティの基礎に関連するトピックも取り上げる。授業項目としては、確率論の基礎、情報量、エントロピー、情報源符号化、通信路符号化、誤り訂正符号の基礎、暗号理論の情報セキュリティの基礎を取り上げる。達成度は、情報理論の基礎知識を正しく理解し活用できるレベルを基準とし、各講義内容の課題に対するレポートにより評価する。
		情報セキュリティ	3	I・III	2	T	本科目では、情報セキュリティおよびその基礎となる暗号理論について次のような事柄の学習を目標とする。情報セキュリティの基礎となる暗号理論は数学、計算機科学と密接な関わりを持つ。特に、初等整数論を中心とする数学は公開鍵暗号系を理解するには必須となっている。本講義では証明等これらの本質には深くは立ち入らないが、数式の意味を理解できるようになることをここでの目標とする。次に、暗号プロトコル、ネットワークプロトコルを取り上げる。この分野では、日常の常識では理解できないような概念が表れる。それらの目的、意味を理解できるようにすることをここでの目標とする。また、暗号ならびにセキュリティの分野では安全性の評価も重要なトピックとなる。この分野では厳密な議論が要求されるが、本講義では直感的に概要を把握できるようにすることを目標とする。以上のような段階を踏むことで、情報セキュリティの現在および将来の流れを概観できるだけの基礎力を身につけることを全体を通しての目標とする。
		情報システムデザイン	3	II・IV	2	M	本授業は情報システム開発に関わる基礎的かつ技術的な知識及び技能を習得する。特に、情報システム開発の分析、設計、工程において必要となる基礎的な知識の習得、および、各工程における生産性及び品質を向上させるための技法の習得を目指す。
		画像情報処理	3	I・III	2	T	主要な情報メディアである画像情報の処理技術について学ぶ。本講義では、コンピュータで画像を取り扱うための基本的な方法および理論と要素技術について講義形式で学ぶとともに、実際に画像処理プログラムを画像に適用して、その効果を確認することで画像処理技術の動作原理について理解を深める。本講義で学ぶ内容は以下のとおりである。デジタル画像の構成／幾何学変換／空間フィルタリング／画像の周波数表現／周波数領域のフィルタリング処理技術／画像中の特定のパターンを検出する手法、など
		Web 技術	1	II・IV	2	T	インターネットは、新しい通信インフラストラクチャーとして、欠くことのできないものになっている。本授業では、インターネットのアプリケーションの中でも、最も使用頻度の高いWeb に焦点を絞り、Web に関する基礎技術について学修する。具体的には、Web ページを作成するためのHTML、XML、CGI、JavaScript 等について学修する。
		情報と職業	4	II・IV	2	M	教員免許状（高校一種情報）の取得を目指す教職課程履修者のための科目である。従って、教員免許状の取得を目指す学生のみが履修できる。情報産業の社会にはたす役割を考えるとともに、情報産業に携わる職業についてどのような職業があるのかについて理解する。また、さらに、情報技術のスキルのみを追求するのではなく、情報化社会の進展と職業の持つ意義を考えられるような職業観と勤労観の在り方について考えていく。最後に実際の高校生に対するIT 技術者についてのキャリア教育について考えていく。
		計算機アーキテクチャ	3	I・III期	2	M	コンピュータはどのように構成されているのか、どのように構成する方法があるのかを理解する。コンピュータの構成と動作原理、アーキテクチャの定義と階層構成、アーキテクチャの評価、命令セットアーキテクチャ、制御装置の方式（結線論理、マイクロプログラミング、割り込み）、演算装置、記憶装置（キャッシュ、主記憶の高速化、仮想記憶）などについて、教科書を読み進めながら小テストに解答する形で学習する。

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専 門 基 盤 科 目	コンピュータグラフィックス	3	Ⅱ・Ⅳ	2	M	コンピュータグラフィックス（CG）の基礎理論について理解することを目的とする。そのために、CGの作成および利用に関する知識の理解、2次元CGおよび3次元CGの定義と基礎的な技法、3次元CG作成における、モデリング、レンダリングの意味と具体的な手法（モデルの数値表現法、投影法およびレンダリング法）について学ぶ。さらに、フラクタルや物理シミュレーションなど、CG作成に使われる技術について学ぶ。
	オペレーティングシステム	3	Ⅰ・Ⅲ	2	M	この授業科目では、オペレーティングシステムについて、その役割と仕組み、その他、現代のオペレーティングシステムに要求される項目に関して理解することを目標とする。以下の（１）～（４）の内容について学習する。 （１）一般ユーザおよびプログラマに対して提供するコンピュータのインタフェース （２）オペレーティングシステムに関する基礎的な概念、評価指標、標準化 （３）プログラムの処理としてのオペレーティングシステムの動作 （４）ネットワークやセキュリティといった近年特に重要性が高まってきている機能
	データ構造とアルゴリズム	2	Ⅰ・Ⅲ	2	M	よいプログラムを作るにはデータ構造とアルゴリズムの知識が必要である。そのために以下に示す内容を学修する。 （１）計算量：アルゴリズムの良し悪しの評価指標の１つである計算量について学ぶ。 （２）文字列アルゴリズム：文字列の探索はもっともよく使われるアルゴリズムの１つである。どのような探索アルゴリズムがあり、計算量がどの程度異なるのかを学ぶ。 （３）整列アルゴリズム：データを大きい順または小さい順への整列ももっともよく使われるアルゴリズムの１つである。どのような整列アルゴリズムがあり、計算量がどの程度異なるのかを学ぶ。 （４）基本データ構造：アルゴリズムを設計するには、データ構造が重要である。代表的なデータ構造について学ぶ。 （５）最短経路アルゴリズム：グラフ上の最短経路を解くアルゴリズムを学ぶ。適切なデータ構造を用いることで、アルゴリズムの計算量が大幅に短縮できることを学ぶ。 （６）最小全域木アルゴリズム：データ構造の違いにより、最小全域木アルゴリズムの計算量が大きく異なることを学ぶ。
	データベース論	2	Ⅱ・Ⅳ	2	M	この授業科目では、データベースについての基本的な概念、およびデータベースシステムの基本的な仕組みに関して理解することを目標とする。以下の（１）～（４）の内容について学習する。 （１）データモデル （２）データベース言語 （３）リレーショナルデータベースの設計 （４）データベースシステムの仕組み
	情報社会論	3	Ⅱ・Ⅳ	2	M	「情報化と社会」という問題を、①情報化社会とは何か、②情報化社会に生きるとはどういうことか、③社会にとって情報化とはどういうことか、という三点を基軸に取り上げる。情報技術（ITおよびICT）の特性をもとに、情報化が社会に及ぼす影響を、経済・社会・文化のそれぞれについて考える。
	量子情報科学	3	—	2	M	(2027年度開講)

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専 門 基 盤 科 目	オートマトンと 計算理論	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T	本科目では計算機で計算できるとはどういうことか、それには限界があるのかといったことを理論的な面から学ぶ。計算機による計算を理論的に扱うためにまず計算機そのものを単純な形でモデル化する。このモデルを計算モデルあるいはオートマトンと呼ぶ。また、計算機に与えられるプログラムもやはり単純な形でモデル化する。これを言語と呼ぶ。言語は一般にある規則に従う記号列の集合を指し、この規則を文法と呼ぶ。オートマトンと文法は互いに対をなし、さらに階層構造を持つことが知られている。各階層に属するそれぞれのオートマトンまたは文法について、ある言語を生成できるか否か、受理できるか否かを示すことで各オートマトン及び文法の等価性あるいは非等価性を示す。さらに最上位の階層に位置するオートマトンである Turing マシンについて、その万能性と限界を示すことで本質的に計算機では解けない問題があることを示す。また、Turing マシンと計算量という概念を用いて計算機科学の対象となる問題が現実的な時間で解ける問題とそうではない問題に分けられることを示し、後者の構造や相互関係について学ぶ。
	数理統計学	2	Ⅱ・Ⅳ	2	T	記述統計学及び、推定統計学の基礎として確率分布の概念（特に正規分布）を取り上げ、推定統計学の応用として正規分布を仮定した推定・検定の初歩事項について理解し、数理統計学の基礎的問題の計算が出来るようにする。具体的には、記述統計学（1変数の特微量、2変数間の相関・回帰分析）、確率（場合の数、試行と事象、確率の意味、確率の計算、独立事象）、離散型確率分布（確率変数と確率分布、平均と分散・標準偏差、二項分布、ポアソン分布）、連続型確率分布（正規分布、中心極限定理、様々な確率分布）、多変数の確率分布、推定・検定（平均値等に関する）を取り上げる。本講義では高校数学の確率や数列、大学の微積分学を理解していることが望ましい。
	計測工学	3	—	2	M	(2027年度開講)
	コンピュータシ ミュレーション	3	Ⅰ・Ⅲ	2	M	コンピュータを利用した数値計算の解析手法を理解することを目標とする。方程式の解法、行列の計算、連立方程式の解法、離散データの関数補間と近似、数値積分法、微分方程式の解法を説明する。これらの解析手法を理解するとともに、実際に解析を行って理解を深める。本講義では、Excel を用いて解析を行う。さらに、オープンソースのソフトウェアを利用して、実践的な熱流体解析を体験する。
	人工知能の基礎	2	Ⅰ・Ⅲ	2	M	人工知能（AI）を作るための様々な考え方や技術を概観する。AIの歴史、知識表現と推論、探索、記号操作に基づく古典的なAIから、ゲームAI、遺伝的アルゴリズム、ファジィ、ニューラルネット、そして最近のDeepLearning技術まで幅広く知的な情報処理をする技術について学ぶ。これらを通じて、AIを理解して応用する力を身につけることを目標とする。また、最新技術について調べて他者に説明する力、未来に向けた我々人間とAIの関係について自分で考える力を養う。
	人工知能の応用	4	—	2	M	(2028年度開講)
	オペレーション ズリサーチ	4	Ⅰ・Ⅲ	2	T	オペレーションズリサーチ（OR）は様々な分野に適用可能な数学的手法である。ORは当初は軍事目的で研究が始まったが、現在では工場の生産・資材・物流管理等、日常に必要なプロセスを効率化する分析ツールとして活用されており、様々な応用先が考えられる。この講義では線形計画法・待ち行列理論等のORにおける基本的技法を理解し、表計算ソフトウェアのExcelを用いて実際にORを利用できる能力を身につけることを目標とする。この科目の履修では、表計算ソフトウェアのExcelの使用を必須とする。また、確率統計などの数学素養の他、Excelの簡単な操作スキルをあらかじめもっていることが望ましい。なお、課題レポート作成ではExcel以外のソフトウェアの使用を認めない。
	管理工学概論	4	—	2	M	(2028年度開講)

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専門 展開 科目	経営情報学	4	—	2	M	(2028年度開講)
	ロボティクス 概論	1	I・III	2	M	私たちの身の回りでは、掃除ロボットやコミュニケーションロボットなどが活躍していますが、製造業や物流業界でも自動化・効率化などで種々のロボットが欠かせない存在になっています。本講義では、ロボット開発に必要な回路設計、構造・駆動、センサ、制御の技術要素を解説します。それらの技術要素は学年進行に伴い、以下の科目でさらに深く学びます。 回路設計：電気回路、電子回路、電磁気学、論理回路 センサ：ロボットセンシング、電子デバイス 制御：ラプラス変換・フーリエ解析、自動制御 構造・駆動：機械要素設計、メカトロニクス 本講義のまとめでは、AI (Artificial Intelligence・人工知能) を活用したロボットの進歩と未来についても考えてみます。
	電磁気学	2	I・III	2	T	電磁気学は電気回路および電子回路などのエレクトロニクス分野や情報科学における最も基礎的で重要な学問の一つである。本講では電磁気学の中で特に重要な部分を整理して学習する。電磁気学の具体的な内容はベクトル解析、電界と電位、電荷と電界、電流と磁界、うず、電磁誘導と変位電流、マクスウェルの方程式について学ぶ。さらには熱・波動・ポテンシャルなどの広範囲の物理現象を紹介する。
	電気回路1	2	I・III	2	T	電気回路が対象とする素子は抵抗素子(抵抗R)、容量素子(コンデンサC)、誘導素子(コイルL)である。これらの素子で回路が構成され、直流電源で駆動されている回路を直流回路、また交流電源で駆動されている回路を交流回路という。電気回路ではこれらの回路中の任意の場所での電圧とそこを流れる電流を解析することを学ぶ。電気回路1では、これらの素子が直列接続あるいは並列接続されている比較的簡単な回路における直流回路および交流回路の解析を行う。解析の手段として微分方程式、複素数、ベクトル、行列などの数学的手法を用いるので、これらの数学的知識を十分持ち合わせていることが望ましい。
	電気回路2	2	II・IV	2	T	電気回路1に続いて、より発展的な内容について学ぶ。2端子回路の直列接続および並列接続、電磁誘導結合回路の解析、交流回路網の解析と周波数特性、直列共振回路および並列共振回路、3相交流回路、非正弦波交流回路などについて学ぶ。電気回路1と同様に、微分方程式、複素数、ベクトル、行列などの数学的手法を用いるので、これらの数学的知識を十分持ち合わせていることが要求される。電気回路1、2共に定常状態に於ける回路解析を主とするが、過渡現象についても発展的課題として学ぶことを期待する。
	機械要素設計	2	—	2	M	(2026年度開講)
	電子回路	3	I・III	2	T	最初に、アナログ電子回路の基礎としてトランジスタ増幅回路を学ぶ。次に、アナログ電子回路の応用としてオペアンプ回路・負帰還・発振回路と、高周波に特有な回路理論(分布定数回路論)や電子回路に関する計測技術、電源回路について学ぶ。微積分学や物理学の基礎的素養があり、電磁気学や電気回路1と2を履修済であることが望ましい。
	論理回路	3	II・IV	2	M	コンピュータシステムのハードウェアの基本となる論理回路の基礎理論および設計方法を理解することを目標とする。そのために、以下の内容を学ぶ。 (1) 論理代数と論理関数 (2) 論理素子 (3) 組合せ論理回路とその設計方法 (4) 順序回路とその設計方法 (5) 算術演算回路

科目区分	授業科目名	配当年	試験 実施時期	単位数	授業 形態	科目の内容
専 門 展 開 科 目	電子デバイス	3	—	2	M	(2027年度開講)
	メカトロニクス	4	—	2	M	(2028年度開講)
	ロボットセン シング	4	—	2	M	(2028年度開講)
	ラプラス変換・ フーリエ解析	3	Ⅱ・Ⅳ	2	T	(2027年度開講)
	自動制御	4	Ⅰ・Ⅲ	2	T	産業分野や民生分野を問わず各分野で自動制御技術がとりいれられ、 制御工学は重要な学問分野になっている。本講では、自動制御システム の解析から設計に至る制御工学の基礎の修得を目的とする。 ①自動制御の概要（自動制御とは） ②自動制御系の基礎数学（複素数、ラプラス変換とその応用） ③自動制御系の表現（伝達関数、要素の伝達関数ブロック線図） ④過渡応答（インパルス応答、ステップ応答一時遅れ系のステップ応 答など） ⑤周波数応答（伝達関数と周波数応答、ベクトル軌跡ボード線図など） ⑥制御系の安定判別（ナイキスト法など）

7. 教職課程について

本学部においては、卒業後、高等学校の教師になろうという意志と情熱をもつ学生のために、教職課程を設置し教育職員免許状(以下教員免許状)を取得できるようにしています。

正科生として教員免許状を取得するには、基礎資格＝大学卒業(学士)またはそれと同等以上の資格と、教育職員免許法及び同法施行規則に定められている単位を修得する必要があります。定められた科目の単位を修得し、学士の学位を取得した者に対して、都道府県教育委員会へ申請することにより授与されます。

教員については、教育基本法が次のように規定しています。

教育基本法第9条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

今、教員の資質の向上が課題となっています。「教育の専門家としての確かな力量」の基礎を培うため、この課程を履修しようとする学生は、入学時より計画的に履修すること、履修カルテの記入やガイダンスへの出席等が必要になります。教職に就く意志や熱意に欠ける安易な考えでは単位修得が困難となります。

本学の正科生が、教職課程を履修するためには、別途教職課程を登録し、授業料とは別に教職課程履修費25,000円が必要となります。入学後、所定の期間に手続きします。

●本学通信教育課程で取得できる教育職員免許状の種類

免許状の種類(教科)	対 象
高等学校教諭一種免許状(情報)	正科生1年次入学/正科生2年次編入学/科目等履修生

●教員免許状を取得するにあたっての注意事項

教員免許状授与に関し、以下の教育職員免許法5条第1項第4号から第7号までの規定に該当する者は、教員免許状の取得ができません。また、教員免許状の取得目的で本学に入学することもできません。

第4号 禁錮以上の刑に処せられた者

第5号 第十条第一項第二号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者

第6号 第十一条第一項又は第二項の規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から三年を経過しない者

第7号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

●教員免許状の申請について

教員免許状は、教育職員免許法にしたがって、居住の都道府県教育委員会に、個人申請することにより授与されます。

申請に必要な単位修得証明書は、学年末に発行します。単位修得証明書の年度の途中での発行はできません。

なお、教員採用試験にあたっては、年齢制限がある場合もありますのでこの点も注意してください。

●教員免許状を取得するには

基礎資格については下表「入学区分・年次」において、また既に免許状を所持している方は、所持している免許状により取得方法が異なります。「免許状の主な取得方法」を参照し、該当する方法で取得してください。

なお、既に免許状を所持している方や、不足科目を補うための科目等履修生の方が、履修科目を決める際は、出身校や都道府県の教育委員会等で不足状況等の確認をし、各自の責任において確認を行ってください。

入学区分・年次

入学資格		入学区分・年次	基礎資格
高等学校卒業		正科生1年次入学	本学を卒業して学士の学位を取得
高等専門学校、短期大学卒業		正科生2年次編入学	本学を卒業して学士の学位を取得
専門学校の専修課程(修業年限2年以上かつ総授業時間数1,700時間以上または62単位以上)を修了した者			
大学1年以上在学中中途退学した者で、31単位以上を修得している者、または、卒業した者		科目等履修生	基礎資格(学位)あり
大学卒業	卒業を目的とせず、教員免許状取得のためにのみ科目の修得を希望		
	既に所持している教員免許状を基礎資格に、本学で高校一種(情報)免許取得を希望		

免許状の主な取得方法

①	初めて高等学校教諭一種免許状を取得する場合	免許法第5条別表第1を根拠に取得
②	既に他教科の高等学校教諭一種免許状または高校専修免許状を所持している場合(他教科免許申請)	免許法第6条別表第4を根拠に取得
③	中学校教員免許状を所持し中学校実務経験が3年以上ある場合(隣接校種免許申請)	免許法第6条別表第8を根拠に取得
④	高等学校教諭臨時免許状を所持し高校実務経験が5年以上ある場合(上級免許申請)	免許法第6条別表第3を根拠に取得

I. 正科生

教職課程を履修する正科生の方、卒業と同時に初めて高等学校教員免許状取得する方が免許状を取得する方法です。

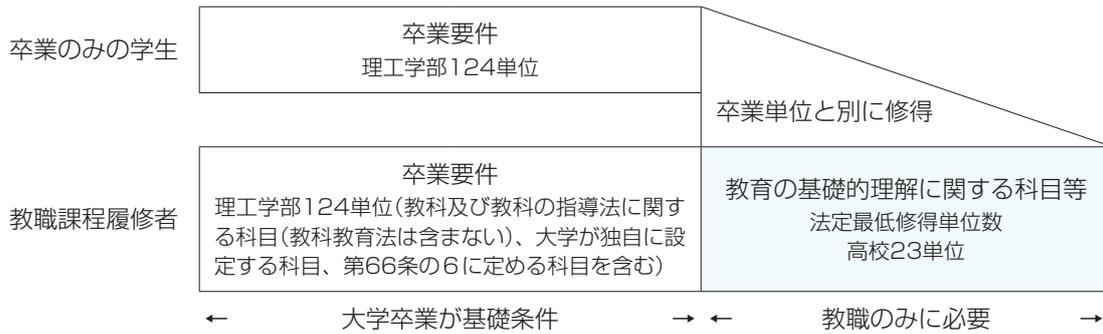
- 基礎資格として、本学を卒業して学士の学位を取得しなければなりません。
- 教育職員免許状取得のための以下の最低修得単位数を修得しなければなりません。

科目区分	高等学校教諭一種免許状取得のための法定最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	24単位
教育の基礎的理解に関する科目等(注1)	23単位
大学が独自に設定する科目(注2)	12単位
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8単位
計	67単位

(注1)「教育の基礎的理解に関する科目等」は卒業要件(124単位)には含まれません。

(注2)「大学が独自に設定する科目」は、「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の法定最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当することができます。その場合は、履修方法に十分注意してください。

教職課程履修者の修得単位数



●教育実習について

教育実習は、他の科目と違って特別の手続きを必要とするものです。それは、教育実習が実際の教育現場で2週間にわたり行われるからです。そのため、これらの実習については、あらかじめ受け入れ先を決めておくなどの準備が必要となります。いったん決めた受け入れ先を変更することはできませんし、途中で取りやめることもできません。これらのことに十分に留意して、手続きを進める必要があります。

※教育実習・教育実習指導・教職実践演習は正科生または、本学通信教育課程を卒業した科目等履修者が履修できます。

※二種免許状のみをお持ちの方は、教育実習と実習指導、教育実践演習も本学で取り直しとなります。

(1)教育実習を履修するための資格要件

教育実習は、将来教員を目指す人のために、実習校と所轄教育委員会の教育的配慮・好意によって受け入れて頂くものです。また、実際の教育現場において実習を行うわけですから、厳しい条件が要求されます。必要な要件をすべて充足していない場合は、実習の資格がないものと見なし、実習を履修できません。

また、一度申し込むと、特別の事情がない限り、自発的な辞退はできません。

- 1年次 ●履修登録を済ませて、4月の「教職ガイダンス」に必ず出席し、教職課程費を納入すること
- 2年次 ●2年次編入学で課程登録を希望する場合は、4月の「教職ガイダンス」に必ず出席し、教職課程費を納入すること
 - 2年次終了までに、『教職論』『教育の理念と歴史』『教育心理学』『教育の方法と技術(ICT活用を含む)』『情報科教育法1』の単位を修得すること
 - 2年次終了時で卒業に必要な単位を70単位以上修得すること
- ※上記全ての要件を満たしている場合、教育実習の申込が可能です。希望する場合は3月末までにLMS >みんなの広場>メッセージよりお知らせください。
- 3年次 ●教育実習校を自分で見つけること
 - 4月の「教育実習のためのガイダンス」に必ず出席し、教職課程担当教員より翌年実習予定の許可を得ること
 - 3年次終了までに『教育制度論』『教育課程論』『特別活動と総合的な学習の時間の指導法』『情報科教育法2』の単位を修得すること
 - 3年次終了時で卒業に必要な単位数を100単位以上修得していること
- ※上記全ての要件を満たしていない場合、既に定習の内諾を得ていても実習に参加することができません。
- 教育実習に関わる諸書類「教育実習申込書」、「実習従事誓約書」等を所定の期日までに提出していること
- 4年次 ●『教育実習指導』を履修登録し、事前の指導をスクーリングで受けていること
 - 『生徒指導・進路指導論』『教育相談』を最終的に単位修得すること

通信課程の場合、4年次を「卒業する年」とし、3年次は「その前年」と考え、卒業する年はいつなのか、その年に教育実習に行くためには学習をどのように進めるかをしっかりと計画してください。

(2)実習校の決定と実習期間

基本的には各自が出身校での内諾交渉をします。実習は、1週間45時間を持って1単位とし、高校の2週間で2単位を履修します。ただし、実習校においてはそれぞれの実情に応じて、実習期間や方法が一律ではありませんので、事前に十分に実習校と相談してください。

●教育実習指導について

教育実習に行くためには、事前・事後の指導を対面で受講しなければなりません。事前指導では、教育実習に必要な心構えや基礎知識を学ぶとともに、授業実践に必要なオリエンテーションが行われます。事後指導では、教育実習を終えた後に、それぞれに実習校での体験や知見を話し合い各自の教育実習の意味をまとめます。

●履修カルテについて

「教育の基礎的理解に関する科目等」に『教職実践演習』があります。これは、教職課程総まとめの必修科目として、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認し、弱点領域を補うなど、重要な位置づけがなされている科目です。

そのため、この『教職実践演習』において、各学生は履修登録した科目の履修履歴を記録しておかなければなりません。つまり各科目に関する『履修カルテ』を各自作成しておくこととなります。「教職実践演習」では、この『履修カルテ』を踏まえて指導を受け、各自の不足している知識や技能等を補うことになるわけです。

正科生2次編入学の教職課程単位認定

出願の際に教職課程希望を明記し、出身校の発行する、新法による「学力に関する証明書」と「シラバス(講義概要)」を提出してください。

Ⅱ. 科目等履修生

科目等履修生として教員免許状取得を目指す場合は、既にいずれかの教員免許状を所持し、それを基礎資格として教員免許状を取得する方、または教員免許状取得に必要な単位の一部を取り残して出身大学を卒業された方が該当します。他大学在籍中で教員免許状取得見込の方はご出願ができません。

出身大学の発行する、新法による「学力に関する証明書」を用意し、科目登録前に免許取得に必要な単位について、授与権者である居住先または勤務先の各都道府県教育委員会の指導(不足状況等)を受けてください。単位修得後は、居住先または勤務先の各都道府県教育委員会に個人申請することになります。

履修科目の決定は各自の責任において行ってください。なお、後期(10月)生では、メディア科目の受講ができません。なお、本学卒業生で、教育実習を希望し在学中に教職課程履修費を納入していない方は、別途、教職課程履修費が必要になります。

●教育実習・教育実習実習指導・教職実践演習について

科目等履修生は、本学では履修できません(本学卒業の科目等履修生を除く)。

Ⅲ. 2025年度入学生 授業科目等

※省令等の改正により変更される場合があります。

教科および教科の指導法に関する科目(情報)

単位数欄の○数字は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが必要な事項	科目の名称	配当年試験期	単位	授業 形態	備考
情報社会(職業に関する内容を含む)・ 情報倫理	○ 情報社会論	3年Ⅱ, Ⅳ	②	M	○印の必修科目を含めて24単位以上履修しなければなりません
	○ 情報と職業	4年Ⅱ, Ⅳ	②	M	
	技術者倫理	1年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
コンピュータ・情報処理	○ 情報科学演習1	2年Ⅰ, Ⅲ	②	M	
	プログラミング1	1年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	プログラミング2	1年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
	プログラミング3	2年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	計算機アーキテクチャ	3年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	オートマトンと計算理論	2年Ⅱ, Ⅳ	2	T	
情報システム	○ 情報科学演習4	3年Ⅱ, Ⅳ	②	M	
	プログラミング4	2年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
	データ構造とアルゴリズム	2年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	オペレーティングシステム	3年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	データベース論	2年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
	情報セキュリティ	3年Ⅰ, Ⅲ	2	T	
	情報システムデザイン	3年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
	論理回路	3年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
情報通信ネットワーク	○ 情報科学演習3	3年Ⅰ, Ⅲ	②	M	
	コンピュータネットワーク	2年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
マルチメディア表現・ マルチメディア技術	○ 情報科学演習2	2年Ⅱ, Ⅳ	②	M	
	Web技術	1年Ⅱ, Ⅳ	2	T	
	コンピュータシミュレーション	3年Ⅰ, Ⅲ	2	M	
	画像情報処理	3年Ⅰ, Ⅲ	2	T	
	コンピュータグラフィックス	3年Ⅱ, Ⅳ	2	M	
各教科の指導法 (情報通信技術活用を含む)	○ 情報科教育法1*	2年Ⅰ, Ⅲ	②	M	
	○ 情報科教育法2*	3年Ⅱ, Ⅳ	②	M	

*情報科教育法は、「1」を単位修得してからでないと「2」を履修できません。

また、本学卒業の科目等履修生を除いて、「2」のみを履修することはできません。

●必修科目(科目名の前に○がある科目)は、一般的包括的内容を含む科目です。科目等履修生で、不足分野の科目を選択する場合は、必修科目を最低限修得しなければなりません。

●情報科学演習1～4の履修には、プログラミング言語の理解が必要です。プログラミング1～4の履修を推奨します。

教育の基礎的理解に関する科目等

科目は各配当年次において単位修得していくこと

免許法施行規則に定める科目区分等		法定最低修得単位数	科目の名称	配当年試験期	単位数	授業形態	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育の理念と歴史	1年 Ⅱ, Ⅳ	②	M	必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		○教職論	1年 Ⅰ, Ⅲ	②	T	必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育制度論	2年 Ⅱ, Ⅳ	②	T	必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	1年 Ⅱ, Ⅳ	②	T	必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育論	3年 Ⅰ, Ⅲ	①	M	必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		○教育課程論	2年 Ⅱ, Ⅳ	②	M	必修
生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法	3年 Ⅱ, Ⅳ	②	T	必修
	特別活動の指導法		○教育の方法と技術(ICT活用を含む)	2年 Ⅰ, Ⅲ	②	M	必修
	教育の方法及び技術						
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○生徒指導・進路指導論	3年 Ⅰ, Ⅲ	②	T	必修
	生徒指導の理論及び方法						
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○教育相談	3年 Ⅱ, Ⅳ	②	M	必修
教育実践に関する科目	教育実習	3	○教育実習指導(注1)	4年 4~9月	①	S	必修
			○教育実習	4年 6~9月	②	S	必修
	教職実践演習	2	○教職実践演習(高)	4年 10~2月	②	S	必修

(注1)事前及び事後の指導の1単位を含む。

大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	法定最低修得単位数	科目の名称	配当年試験期	単位数	授業形態	備考
大学が独自に設定する科目	12	教科及び教科の指導法に関する科目*				
		教育の基礎的理解に関する科目等*				

*「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の法定最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当します。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等	法定最低修得単位数	科目の名称	配当年試験期	単位数	授業形態	備考
日本国憲法	2	法学	2年 I, Ⅲ	②	T	必修
体育	2	スポーツ科学	1年 II, IV	②	T	必修
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2年 II, IV	②	T	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報基礎 1	1年 6~9月	②	S	必修

<情報免許の履修モデル> ここで示すものはあくまでも例示です。

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
教科及び教科の指導法に関する科目	必修科目は配当年次で確実に単位修得すること (科目等履修生は、情報科学演習で使用されるプログラム言語を確認した上で選択科目を履修すること)							
教育の基礎的理解に関する科目等	教職論	2	教育制度論	2	情報科教育法2	2	教育実習指導	1
	教育の理念と歴史	2	教育課程論	2	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2	教育実習	2
	教育心理学	2	情報科教育法1	2	生徒指導・進路指導論	2	教職実践演習(高)	2
			教育の方法と技術 (ICT活用を含む)	2	教育相談	2		
				特別支援教育論	1			
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等の法定最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当							
教職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	スポーツ科学	2	英語コミュニケーション	2				
	情報基礎 1	2	法学	2				

- 教職の基礎的理解に関する科目等、教科教育法は、履修制限単位数に含まない。
- 配当年次で確実に単位修得すること。
- 教育実習へ行くための要件を満たすよう学習計画をたてること。

8. 教職課程科目の概要

※一部変更される場合があります。

教科及び教科の指導法に関する科目（情報）						
区分	授業科目名	配当年	試験実施時期	単位数	授業形態	科目の内容
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科教育法1	2	I・III	2	M	高校の共通教科「情報」・専門教科「情報」の両教科に含まれる科目群の教育を中心に、小学・中学の課程も視野に入れて情報教育の教科教育法を基礎から学び、教員として教壇に立てるまでの力を養う。このため、公教育としての情報教育の目標、教科「情報」の位置付けと、授業体系と指導方法、授業設計 (Instructional Design) 等を実践的に学ぶ。特に共通教科の必須科目「情報1」の取り扱い内容を精査する。また、情報通信技術を活用した学習、ワークシートと課題レポートの提出、および授業教材の作成の機会を活用して、自らの ICT 能力を磨き、学習者にとって情報技術とは何かを考察する。*「情報科教育法2」の前提科目となります。
	情報科教育法2	3	II・IV	2	M	「情報科教育法1」に続いて、高校の共通教科「情報」・専門教科「情報」の両教科に含まれる科目群の教科教育法を基礎から学び、教員として教壇に立てるまでの力を養う。このため、授業体系と指導方法、授業設計 (Instructional Design)、評価方法等を、模擬授業やその被験者体験を通して、さらに実践的に学ぶ。受講者自らが授業案の具体的事例や授業改善の論文などを読み解き、理解する。さらに、受講者自身で授業設計を行ったうえで、授業のシミュレーションや模擬授業を行い、検討することを中心に授業を進める。これによって、受講者の情報技術、情報モラル、そして対象の教育科目への理解を高めて、教員候補としての心がまえを築く。 ※「情報科教育法1」の単位を修得していないと履修できません。

教育の基礎的理解に関する科目						
区分	授業科目名	配当年	試験実施時期	単位数	授業形態	科目の内容
教職の基礎的理解に関する科目等	教職論	1	I・III	2	T	本講義の目的は、教職をめざしている学生が、「教職とは何か」ということを把握すること、つまり教師という職業の概要を十分に理解することである。その際、教職の意義や教師観、教員養成の歴史、教育実習の意義と心得など、さまざまな側面から教職についての理解を深めていく。
	教育の理念と歴史	1	II・IV	2	M	この授業では、教育という事象をより深く理解することを目指し、教育の基礎的概念や構成要素について学ぶとともに、教育に関する理念・思想・制度がどのように形づくられてきたのかを歴史的観点から検討していく。具体的には、前半部分で西洋教育史を、後半部分で日本教育史を扱い、それらを踏まえて、最後に教育をめぐる現代的課題について考察する。日本教育史に関する部分では、西洋における思想や制度からどのような影響を受け、それをどのように展開させていったのかに着目しながら進めていく。
	教育制度論	2	II・IV	2	T	教育制度の骨格は法律で定められています。特に、公立学校の場合、条例や規則で詳細な部分まで定められています。この講座は教職課程であることから、教師の教育活動と密接に関連する学校制度や学校の組織的構造の問題をとりあげて、それらについて法令や学校管理規則などはどのように定められているのか、また学校現場では実際にどんな課題をかかえているのかを中心に理解を深めていきます。
	教育課程論	2	II・IV	2	M	この授業では、カリキュラムの編成・実施・評価に関する基礎理論を検討し、カリキュラムの意義や役割について理解を深めることをねらいとしている。また、学習指導要領の変遷を概観することで、教育課程が教育政策や社会状況などに影響を受けながら変化してきたことを学び、カリキュラムをめぐる今日的課題について多角的に検討するための視点を獲得することを目指す。

教育の基礎的理解に関する科目						
区分	授業科目名	配当年	試験実施時期	単位数	授業形態	科目の内容
教職の基礎的理解に関する科目等	教育心理学	1	Ⅱ・Ⅳ	2	T	教育心理学の対象となる領域のうち、発達、学習、認知、動機づけについて解説し、学習指導および教育評価、生徒指導および教育相談について概観する。それらを通じて、今日の学習指導や評価の問題点や課題について考察していく。発達では、教育に不可欠な生徒の理解の基礎となる発達の变化を理解する。学習・認知・動機づけでは子どもの学習行動を理解するための心理学的基礎理論を習得する。学習指導、教育評価では、教授と学習の過程、教育評価の在り方について理解を深める。生徒指導と教育相談では、心理学的な観点からの生徒の支援の在り方について学ぶ。
	特別支援教育論	3	Ⅰ・Ⅲ	1	M	文部科学省（2022）の調査によると通常の学級にも8.8%の割合で特別な支援が必要な子どもたちが在籍している。そのような中で障害のある子どもの教育に対する社会的なニーズも多様化してきている。この授業では、「特殊教育」から「特別支援教育」に転換された特別支援教育の理念や制度と現状を学ぶとともに、子ども一人ひとりの教育的ニーズや今日的な課題に対応できる特別支援教育の在り方について理解を深める。
	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	3	Ⅱ・Ⅳ	2	T	総合的な学習の時間は、各教科等での学習を総合的に活用して、実社会・実生活の課題について多角的に捉え、探究的な見方・考え方を動かさ、横断的・総合的な学習を行い、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す学習活動である。特別活動は、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」や「チームとしての学校」の視点を持ち、学校生活における様々な集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行われる教育活動である。各活動の意義や内容の理解と指導法の基礎を学ぶ。
	教育の方法と技術（ICT活用を含む）	2	Ⅰ・Ⅲ	2	M	これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法及び教育の技術に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。特に、ICTを効果的に活用した教育の方法及び技術を理解し、生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を身に付ける。また、ICTを活用した校務の推進の在り方を身につける。
	生徒指導・進路指導論	3	Ⅰ・Ⅲ	2	T	学校教育は、すべての児童生徒の人格の健全な育成を図ることを目的としている。教師は、すべての教育活動を通して児童生徒の健やかな成長に寄与できるよう努力し続けなければならない。本講義では、学校の教育現場で起こっている現実（生徒指導・進路指導上の諸問題）を見据え、新学習指導要領のもとでの児童・生徒の伸長や自己実現、自立を援助するための生徒指導、キャリア教育の視点に立った進路指導についての具体的な方策、進め方について、事例分析や討論ができるだけの考え方をもつことができるよう学修する。また、学校は組織であり、組織・チームで取組む重要性和基本的な考え方を学ぶ。
	教育相談	3	Ⅱ・Ⅳ	2	M	学校における教育相談について理論と実践について理解を深める。まず、学校現場において教育相談を行う場合に重要な生徒理解の意義を理解する。次に、学校現場で教育相談を担う上で不可欠なカウンセリング・臨床心理学の基礎的な理論と方法を、予防的・開発的の観点から学ぶ。次に、学校で見られる児童・生徒の問題行動とその背景を概観し、教育相談とキャリアカウンセリングについてその取り組みについて理解する。

教育の基礎的理解に関する科目						
区分	授業科目名	配当年	試験実施時期	単位数	授業形態	科目の内容
教職の基礎的理解に関する科目等	教職実践演習 (高)	4	—	2	S	本演習の包括的テーマを「教師の総合的指導性の獲得」とする。このテーマの下に教師の総合的指導性、すなわち授業の構成力・指導力を中心として、使命感や責任感の自覚、社会性や対人関係能力などについて考えさせるとともに、各自がこれまでの教職課程の授業や教育実習を反省することによって自分自身の弱点を抽出して、その問題を解決することによってより充実した指導性の確保をめざすことを目標とする。
	教育実習	4	—	2	S	高等学校では2週間にわたって、それぞれの実習校において、授業見学、教壇実習、研究授業、ホームルーム指導などがおこなわれる。教育実習に行くためには、必要な単位、習得しておくべき科目などの条件を全て満たしておかなければならない。
	教育実習指導	4	—	1	S	教育実習の事前指導として、実習に必要な心構えや基礎知識を学ぶとともに、授業実践に必要なオリエンテーションを行う。

9. Q&A こんなことが知りたい



通信教育について

Q	通信教育なので、登校しなくても卒業できますか？
A	本学では、スクーリング科目を受講する場合、指定された会場へ登校する必要があります(1科目あたり2～3日)。ただし、スクーリングの受講は必須ではありません。同じ科目で「スクーリング授業」と「メディア授業」など、異なる授業形態が提供されている場合は、いずれか一方を選択できます。卒業に必要な最低単位数124単位のうち、スクーリングで取得する単位が0単位でも、各科目区分の最低必要単位数を満たせば、登校せずに卒業することが可能です。
Q	通信教育の場合、自学自習ということはわかるのですが、成績や単位はどのようにになりますか？
A	<p>本学では、科目は以下の3つの形態に分かれています。課題や補助教材、大学からの連絡はすべてeラーニング(LMS)で配信され、各自でダウンロードや印刷を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト科目(T) 指定されたテキストを中心に自学自習し、指定の課題をレポートとして提出します。添削・採点后、レポートが合格すると科目修得試験の受験資格が与えられます。 ・メディア科目(M) 自宅のパソコンを使って、LMS上に公開されたコンテンツで自学自習します。指定された課題や小テストをコンテンツ内で提出し、合格すると科目修得試験の受験資格が与えられます。テキスト科目と同様に、科目修得試験はオンラインで実施されます。 ・スクーリング科目(S) 2～3日間、登校して集中講義を受けます(1日5時限、1時限90分)。場合によってはLMSで事前・事後学習が必要です。対面授業の最終日に科目修得試験を行い、合格すると評価基準(S・A・B・C)に基づき単位が取得されます。 <p>テキスト科目やメディア科目では、科目修得試験に合格すると、年度末に成績(S・A・B・C)が評価され、単位が認定されます。</p>
Q	勉強で分からないことがある場合、質問できますか？
A	LMSのコース内でメッセージ機能や掲示板が設置されている場合は、教員へ直接質問することが可能です。設置されていない科目は、教務課を介して質問することができます。
Q	メディア科目は、時間が決まっているものを視聴する科目ですか？
A	本学のメディア科目は、eラーニング(LMS)のコースコンテンツに沿って学修を進めます。必要に応じて動画も用意されていますが、視聴時間は決まっていません。システムメンテナンス時以外はいつでも学習できます。ただし、試験日の前には課題提出締め切りが設定されていますので、それに合わせて学習を進める必要があります。
Q	入学前にメディア科目のイメージを知りたいのですが、LMSを体験することはできますか？
A	実際の操作体験はできませんが、帝京大学のホームページにLMS講習のビデオが公開されていますので、参考にしてください。
Q	オープンキャンパスや説明会はありますか？
A	オンライン個別相談会を実施しています。詳細はホームページをご確認ください。また、私立大学通信教育協会主催の合同説明会(8～9月、1～2月)にも参加しています。参加日時や会場は協会のホームページでご確認ください。宇都宮キャンパスの通学課程向けオープンキャンパスでも相談が可能です。電話やメールでのお問い合わせも随時受け付けています。



入学について

Q	ホームページに公開されている書類だけで出願できますか？
A	いいえ、できません。必要な書類は他にもあります。出願区分に応じた書類(出身校の証明書など)を準備してください。また、Web出願サイトで入力後に出願書類を印刷し、必要事項を追記して郵送してください。
Q	入学試験はあるのですか？
A	筆記試験はありません。正科生、科目等履修生ともに、出願書類による選考のみです。
Q	入学選考の基準を教えてくださいませんか？
A	選考基準については公表していません。まずは、出願資格を満たしているかをご確認ください。
Q	大学卒業を目指さずに、好きな科目だけを勉強できますか？
A	出願資格に該当する方であれば、大学卒業資格を取得せずに希望の科目のみを履修する「科目等履修生」として学ぶことができます。ただし、後期(10月)からの出願の場合、メディア科目を履修することはできません。
Q	出願したいのですが、学費などの納入はいつ行いますか？
A	正科生・科目等履修生ともに、出願書類を郵送する前に、金融機関で所定の額を納入してください。出願には「金融機関の収納印が押された志願票」または「振り込みが確認できる書類(振込控など)」が必要です。
Q	なぜ先に選考料以外の金額も納めるのですか？不合格の場合は返金されますか？
A	平日に限られた時間内に金融機関に行く負担や振り込み手数料の負担軽減を考慮しています。不合格の場合、選考料または選考登録料を除いた金額は返金されます。
Q	誓約書を先に提出するのはなぜですか？
A	書類は書留や簡易書留での郵送が必要で、平日に郵便局に向く負担を軽減するためです。提出された書類は本学の個人情報保護方針に従い適切に管理されます。
Q	受験番号はどこに記載されていますか？
A	Web出願システムで入力後に印刷する「志願票」に記載されています。募集要項P.66の記入例も参考にしてください。出願書類郵送後は、振込金受取書で確認することができます。
Q	専修学校を卒業して専門士の称号を持っています。基礎資格証明書は提出しなくてもよいですか？
A	必ず提出してください。出願期間前に出身校へ証明書の作成を依頼する際には、必要な書類を印刷し、使用してください。
Q	編入学を希望しています。各種学校を卒業し、1700時間の証明が可能ですが、入学資格はありますか？
A	1700時間の証明ができて、各種学校卒業資格では編入できません。正科生1年次入学の出願資格を確認し、1年次入学での出願をご検討ください。
Q	健康診断証明書は必ず提出しなければなりませんか？指定用紙でなくてもよいですか？
A	健康診断証明書は出願書類として必要です。書類不備とならないよう、必ず本学指定の用紙を使用し、提出してください。出願期間前に検診を受ける場合は、 こちら から指定用紙を印刷して使用してください。
Q	厚生労働省の教育訓練給付制度は利用できますか？
A	本学は厚生労働省の教育訓練給付制度の対象にはなっていません。
Q	海外在住ですが、入学は可能ですか？
A	海外にお住まいの方でも、入学資格を満たしていれば出願可能です。ただし、日本語が堪能であること、日本国内で実施されるスクーリングなどに出席できること、また本学から海外への郵送ができないため、日本国内で書類を受け取り転送してくれる方が必要です。

Q	他の大学に在籍しているのですが、同時に通信教育に入学できますか？
A	本学では、学校教育法に基づき他の大学・短期大学・大学院等に在籍している方の二重学籍を認めていません。そのため、正科生として本学に入学することはできません。在籍している大学に確認し、科目等履修生としての出願を検討してください。また、単位制における学修時間等の観点から、他大学や専門学校に通いながらの学修は難しい場合があります。
Q	大学卒業者です。教員免許状の取得を希望していますが、3年次編入学で出願できませんか？
A	初めて教員免許状を取得する場合には、2年次編入となります。教育実習に行くための条件として、指定された科目の履修や、3年次終了時まで卒業に必要な単位を100単位修得していること、実習先の確保が必要です。そのため、最短修業年での卒業は難しくなります。すでに大学で他教科の高校一種免許状を取得している場合には、出願前に教務課にお問い合わせください。
Q	秋期(10月)に科目等履修生で入学し、春期(4月)に正科生に入学し直したいのですが、できますか？科目等履修生で修得した単位は入学後に取り直しになりますか？
A	可能です。新年度の募集要項を確認し、正科生として出願し直してください。この場合、秋期の在籍は半期となります。本学通信教育課程で修得した単位は、正科生としての単位に認められます。ただし、学習途中の科目については、正科生入学後に改めて履修登録し、最初から学習し直してください。
Q	早い時期に申し込みをした場合、すぐに学習を始めることができますか？
A	学習開始時期については、募集要項P.12を参照してください。第1回・第2回の出願期間に審査を受けた入学者には、4月初旬に学習に必要な教材一式(学生証、レポート用紙、封筒、学生アカウント(ID・パスワード)等)を郵送します。到着後はすぐに開封し、学生アカウントを使用してポータルサイト(CampusSquare)からeラーニング(LMS)にログインし、連絡事項を確認した上で履修登録を行ってください。教材が届く前に、高校の数学(理系)の復習をお勧めしています。
Q	入学式はありますか？必ず出席しなければいけませんか？
A	本学の入学式は通学課程と合同で4月4日に行われます。式典のみで、参加は自由です。入学式に出席するには、春期(4月)入学の方に送付される入学式案内が必要です。入学式への出席を希望する場合は、第1回または第2回の出願期間に出願してください。秋期(10月)入学の科目等履修生の入学式はありません。
Q	帝京大学理工学部の卒業生ですが、在学中に取得できなかった資格を取得することは可能ですか？
A	教員免許状高校一種(情報)については、取得可能です。ただし、法改正や省令改正に伴い、新たな科目の履修が必要になる場合があります。なお、第一種電気主任技術者、第二種電気工事士、第一級陸上無線技士、電気通信に関する工事担任者などは、通学課程のみ認定校となっているため、通信教育課程では資格を取得できません。その他の資格については、在学中に取得する必要があったため、科目等履修生としての入学では資格取得はできません。
Q	編入学を希望しています。出願前に単位認定をしてもらうことはできますか？
A	出願前に単位認定を行うことはできません。書類選考の場で単位認定が行われます。本学の開講科目一覧を参照し、出身校で修得した科目と同じ名称や内容の科目がどれだけあるかで、おおよその目安を確認してください。他大学の科目等履修生や特修生で修得した単位は対象となりません。
Q	職業能力開発の学校で取得した単位を認定してもらうことはできますか？
A	できません。本課程では学校教育法による大学等で取得した単位のみ認定されます。



学費・諸費用について

Q	上の学年に進級する際の学納金はどのように支払いますか？																								
A	毎年4月初旬に、本学会計係より振り込みについて通知があります。案内に従い、期日(4月末日)までに指定の口座に振り込みを行ってください。なお、やむを得ず退学や休学を希望する場合は、学年末の1月から3月初旬頃を目安に、早めに申し出て所定の手続きを完了する必要があります。																								
Q	入学から卒業までに、実際どれくらいの費用がかかりますか？																								
A	<p>2025年度の最低学納金の概算は以下の通りです。スクーリング受講料と科目修得試験の受験料は授業料に含まれていますが、テキスト・参考書代(年間30,000～50,000円目安)、スクーリング会場までの交通費や宿泊費、教職課程履修費(希望者のみ25,000円)などは別途必要となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正科生1年次入学</td> <td>202,740円</td> <td>162,000円</td> <td>162,000円</td> <td>162,000円</td> <td>688,740円</td> </tr> <tr> <td>正科生2年次編入学</td> <td>—</td> <td>204,760円</td> <td>154,020円</td> <td>154,020円</td> <td>512,800円</td> </tr> <tr> <td>正科生3年次編入学</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>204,760円</td> <td>154,020円</td> <td>358,780円</td> </tr> </tbody> </table> <p>再入学希望者で書類審査の結果、下級年次での入学が許可された場合には、その年次の入学金と授業料が適用されます。</p>		1年	2年	3年	4年	合計	正科生1年次入学	202,740円	162,000円	162,000円	162,000円	688,740円	正科生2年次編入学	—	204,760円	154,020円	154,020円	512,800円	正科生3年次編入学	—	—	204,760円	154,020円	358,780円
	1年	2年	3年	4年	合計																				
正科生1年次入学	202,740円	162,000円	162,000円	162,000円	688,740円																				
正科生2年次編入学	—	204,760円	154,020円	154,020円	512,800円																				
正科生3年次編入学	—	—	204,760円	154,020円	358,780円																				



教科書(テキスト)について

Q	教科書は大学から送られてきますか？
A	本学では、大学からの教科書配本システムを採用していません。入学後に履修登録を行い、シラバスを確認して、各自で指定されたテキストや参考書を購入する必要があります。シラバスは宇都宮キャンパスのホームページで参照できます。
Q	教科書はどのように入手しますか？
A	最寄りの書店やインターネットを通じて購入してください。指定されたテキストや参考書は学費に含まれておらず、各自で購入する必要があります。古書店やリサイクルショップを利用して、指定された版のテキストを購入することも可能です。また、補助教材として教員が作成した指導書がeラーニング(LMS)に公開されますので、履修登録後にダウンロードして利用してください。
Q	入学前にシラバスを見ることはできますか？
A	宇都宮キャンパスのホームページ からシラバスを参照することが可能です。新年度のシラバスは3月中旬頃に公開予定です。
Q	参考書は必ず購入しなければなりませんか？
A	シラバスや指導書に記載されている参考書は、必要に応じて各自の判断で購入してください。
Q	一度購入したテキストは、単位修得まで変更されませんか？
A	授業内容や担当教員の変更、テキストの絶版や廃版などにより、テキストが変更されることがあります。履修登録した科目はその年度内に単位修得できるよう計画的に学修することが推奨されます。



科目修得試験について

Q	科目修得試験は必ず受ける必要がありますか？
A	はい。科目修得試験は、テキスト科目およびメディア科目で単位を修得するために必須の試験です。試験を受けるには、指定期日までにすべての課題を提出し合格することで受験資格を得る必要があります。事前に公開されている試験時間割を参照し、計画的に学習を進めてください。
Q	科目修得試験の受験料はいくらですか？
A	科目修得試験の受験料は授業料に含まれています。
Q	科目修得試験はどのように受験しますか？
A	科目修得試験は年に4回実施され、各試験にはあらかじめ時間割が決められています。試験期の約1か月前までにレポートを規定数分提出し、合格することで受験資格を得られます。受験資格を満たし、申し込み手続きを完了すれば受験できます。1つの科目につき1年に2回(I・Ⅲ期またはⅡ・Ⅳ期)の試験を受験することができますが、入学時期や学習開始時期によっては受験できない場合もあります。スクーリング科目では、2～3日間の授業内で試験が実施されます。
Q	レポートや科目修得試験で不合格になることはありますか？
A	はい、不合格になることもあります。剽窃が疑われるレポートや内容が不十分なレポート、また科目修得試験で59点以下を取った場合は不合格です。
Q	科目修得試験を欠席した場合、追試験はありますか？
A	追試験や再試験はありません。受験資格が有効な期間内であれば、次の期の試験で受験することができます。受験資格が失効した場合は、翌年に再度履修登録を行い、レポート提出から始めて受験資格を取得する必要があります。科目等履修生の場合、最終試験を受験できなかった場合には翌年の継続手続きが必要です。
Q	科目修得試験の出題範囲は教えてもらえますか？
A	出題範囲は、学習した内容全体が対象です。部分的な出題範囲は設定されていません。
Q	科目修得試験にはテキストやノートを持ち込めますか？
A	原則として持ち込みは禁止ですが、科目によってはテキストやノートの持ち込みが許可される場合があります。通信機能を持つ機器や指定外の物品の持ち込みはできません。持ち込み可否の情報は、LMSでお知らせされます。
Q	科目修得試験の結果はいつわかりますか？
A	試験終了後、1ヶ月以内に合否結果が通知されます。



スクーリングについて

Q	スクーリングは必ず受講しなければいけませんか？
A	必ずしも受講する必要はありません。同一科目でスクーリング授業とメディア授業がある場合、どちらか一方を選択できます。卒業に必要な最低単位数124単位のうち、スクーリングでの単位数が0単位でも、各科目区分の最低必要単位数を満たしていれば卒業可能です。
Q	スクーリングの料金はいくらですか？
A	正科生のスクーリング受講料は授業料に含まれています。科目等履修生の場合、科目の形態により金額が異なりますので、募集要項の「科目等履修生」のページを参照してください。
Q	スクーリングの会場はどこですか？
A	宇都宮会場または板橋会場のどちらかで実施されます。
Q	スクーリングの1時限は何分ですか？
A	1時限90分で、1日に5時限(9:20～18:10)行われます。
Q	スクーリングは欠席や遅刻・早退ができますか？
A	スクーリングは密度の高い授業で、原則として欠席や遅刻・早退はできません。事前にLMSで学習し、3日間または2日間連続して出席する必要があります。
Q	スクーリング科目も科目修得試験を受ける必要がありますか？
A	スクーリング科目の科目修得試験は、スクーリング実施期間内に行われます。試験を受験しないと単位を修得できません。
Q	スクーリングに参加する際、勤務先に提出する証明書はありますか？
A	希望者にはスクーリング出席依頼状を発行します。受講後にはスクーリング出席証明書も発行可能です。
Q	スクーリングに出席する際、宿泊場所は紹介されていますか？
A	大学最寄り駅周辺のホテルがいくつか紹介されています。一部のホテルでは、通信教育生向けの割引もありますが、個人でネット割引などを利用して予約することもできます。
Q	スクーリング当日、学食やコンビニを利用できますか？
A	宇都宮キャンパスでは、土曜・日曜ともに学食やコンビニは営業していません。近くにスーパーがありますが、昼食を持参することをお勧めします。板橋キャンパスでは、土曜・日曜ともに学食やコンビニが利用可能です。
Q	スクーリングの結果はいつ頃わかりますか？
A	6～9月のスクーリング日程終了後、または10～2月のスクーリング日程終了後にLMSで結果が通知されます。
Q	スクーリングで単位を修得できなかった場合、どうなりますか？
A	翌年に再度履修登録し、受講し直してください。履修登録時に、別の授業形態に変更することも可能です。



科目の登録について

Q	履修する科目は開講学年を超えて、上級学年の科目を履修することはできますか？
A	上級学年に担当されている科目は履修できません。基礎的な科目から順に学習を進め、カリキュラム表に従い学年進行で履修します。ただし、単位修得ができなかった場合は、下級学年に担当されている科目を履修することが可能です。科目等履修生は、学年や配当時期に関係なく、自身の希望で1年間の履修科目を選定し出願時に届け出ます。
Q	履修モデルに設定された科目を履修しなければならないでしょうか？
A	履修モデルは学習の目安として設定されていますが、必修科目や卒業要件を満たせば、モデル通りに履修しなくても卒業可能です。
Q	1年間で履修できる科目数に制限がありますか？
A	正科生は1年間で48単位(1科目2単位で24科目)まで履修できます。科目等履修生は1年間で30単位(1科目2単位で15科目)まで履修可能です。
Q	1年間で修得できる単位数はどれくらいですか？
A	個々の学習環境やペースにより異なりますが、過去に1年間で36単位を修得した例があります。ただし、履修制限の上限まで登録しても、すべての単位を修得するのは難しいです。余裕を持った学習計画が、単位修得の成功につながる人が多いです。
Q	1年間で学習する科目の履修登録はいつ行いますか？
A	4月初旬に、ポータルサイト(CampusSquare)から履修登録を行います。入学後に送付される補助教材を確認し、学生アカウントを使ってポータルサイトからeラーニング(LMS)にログインし、指定された期間内に履修登録を完了してください。期間外での変更や取消はできません。
Q	英語検定2級に合格しています。科目履修が免除になりますか？
A	入学後に所定の期間内に申請手続きを行うと、未修得の英語科目4単位が認定されます。また、TOEIC®やTOEFL®の成績スコアによっても単位が認定される場合があります。
Q	英語以外の検定で、科目履修が免除されますか？
A	ITパスポートや基本情報技術者などの資格に合格している場合は、履修が免除される科目があります。入学後に申請手続きを行うことで、合格した資格に応じて1～4科目程度の単位が付与されます。
Q	資格取得により免除された科目は卒業単位になりますか？
A	はい。資格取得により免除された科目も、卒業に必要な単位数として認定されます。



卒業について

Q	通学課程の大学と同様に、大学を卒業したことになりますか？
A	通学課程と差のない、正規の課程です。卒業時には学士(工学)の学位が授与されます。英文表記は、Degree : Bachelor of Engineeringです。
Q	卒業証書や証明書には通信教育課程と記載されるのですか？
A	卒業証書(学位記)には通信教育課程の記載はありませんが、卒業証明書や成績証明書には記載されます。
Q	科目等履修生でも成績証明書は発行されるのですか？
A	科目等履修生であっても、単位を修得した科目については証明書が発行されます。
Q	卒業するために必ず受講しなければならない科目がありますか？また卒業論文や卒業試験はありますか？
A	卒業するためには124単位のうち30単位以上をスクーリングまたはメディア授業で修得する必要があります。卒業要件として13科目26単位が必修です。それ以外は選択科目で、科目の指定はありません。卒業試験や卒業論文はありません。
Q	各学年の進級条件はありますか？
A	進級に必要な条件はありません。学年は4年生まで進行し、卒業要件を満たしていない場合は留め置きとなります。ただし、3年生終了時点で卒業に必要な100単位を修得していない場合、卒業見込証明書は発行されません。
Q	卒業するまでに何年くらいかかりますか？
A	4年間で卒業する方もいれば、8年間在籍して卒業する方もいます。多くの方は5～6年で卒業を目指していますが、学習計画と学習ペースによります。
Q	放送大学と単位互換を行っていると聞いたのですが？
A	本学通信教育課程の正科生が、放送大学に特別聴講生として出願し、放送大学の科目を修得した場合、本学の総合基礎科目として最大10単位まで認定されます。
Q	卒業に必要な単位は修得したのですが、教員免許の科目が修得できていません。続けて在籍できますか？
A	卒業に必要な単位を満たすと、卒業となります。教員免許に必要な科目は卒業後、科目等履修生として履修し、単位を修得してください。



学生生活について

Q	通信教育課程に入学した場合でも、学生証は発行してもらえるのでしょうか？
A	学生証は発行されます。通信教育課程でも、学生証を提示することで美術館や映画館の入場に学割が適用されますが、通学定期券やJRの学割購入には利用制限があります。
Q	JRの学割は使えますか？
A	JRの学割は正科生にのみ発行され、スクーリング授業など学事参加の目的で利用できます。
Q	学校の設備を借りて勉強することができますか？
A	宇都宮キャンパスと八王子キャンパスの図書館を利用するには学生証が必要です。また、宇都宮キャンパスではパソコン教室も使用できます。開館日や利用方法はホームページで確認し、疑問点があれば事前にお問い合わせください。
Q	部活動はありますか？
A	部活動はありません。多くの学生が職業に就いており、自宅で学習を行っているため、クラブやサークル活動は行われていません。ただし、有志による「勉強会」が年に数回開催されています。
Q	何歳くらいの方が多くいますか？
A	18歳から70歳代まで、幅広い年齢層の方が在籍しています。男女比は男性が8割、女性が2割です。関東圏にお住まいの方が多いです。



転籍について

Q	通信教育課程から通学課程への転籍制度はありますか？
A	無試験で転籍する制度はありません。通学課程を希望される場合は、2・3年次編入学試験を受けることができます。



休学について

Q	入学後に休学することはできますか？
A	やむを得ない事由により学習が困難になった場合、所定の手続きを経て、1年単位で最大2年間の休学が可能です(通算で3年間)。ただし、年度途中での復学はできません。休学には「休学願」を提出し、許可を得る必要があります。復学する際も手続きが必要です。
Q	休学した場合の学納金はどうなりますか？
A	所定の期間内に手続きを終えた場合、休学期間中の学納金は減免されます。



教職課程について

Q	教員免許状取得まで、最短で何年かかりますか？
A	<p>(1) 1年次に入学した場合は、標準的に4年間の学習期間が必要です。</p> <p>(2) 2年次に編入学した場合は、標準的に3年間の学習期間となります。</p> <p>ただし、教育実習期間中は大学の通常の学習を進めることが難しいことや、既に就職されている方の場合、学習と仕事の両立を考慮すると、さらに1～2年の学習期間が必要になることがあります。特に、3年次終了時点(教育実習を履修する前年)までに修得すべき科目や必要単位が定められており、これを達成するためには計画的に進めることが求められます。卒業に必要な単位に加え、教職課程に必要な単位も修得する必要があるため、入学時から計画的に学習を進めることが重要です。そうしないと、最短年数での免許取得が難しくなる可能性があります。</p>
Q	教職課程を履修するのは大変ですか？
A	はい。教員を目指す方のコースですので、教職に対する熱意や意志が必要です。教育実習の申し込み前に面談が行われ、実習の延期が求められることもあります。実習の受け入れ先は学生自身で探す必要があり、真剣に取り組まなければなりません。
Q	教員免許状を取得するのに年齢制限はありますか？
A	免許状の取得に年齢制限はありませんが、採用試験には年齢制限がある場合があります。各都道府県の採用試験についての情報は、該当の教育委員会のホームページをご確認ください。
Q	高校一種(数学)の免許を所持しているが、情報免許を取得したい場合、1年間で取得できますか？
A	科目等履修生として出願可能ですが、履修計画は可能でも、実際の単位修得は非常に困難です。前提科目の修得が遅れると、次の科目の履修試験を受けられなくなることがあります。また、1年間で免許状を取得するのは難しい場合が多いです。
Q	現役の高校教員で、科目等履修生で情報免許を取得したい場合の学費は？
A	<p>不足している状況により異なり、その中で選択科目を、どの形態の科目にするかで金額は変わります。法改正や省令改正に伴い、「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位を最低限修得しなければならない単位数とした場合で、選択科目を全てメディア科目のみとした場合の例では以下の金額です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目…テキスト科目が1科目2単位で10,000円、メディア科目が7科目14単位で98,000円 ・選択科目…メディア科目で4科目8単位として56,000円 <p>上記合計164,000円+選考登録料17,000円+学研災140円+補助教材費5,000円=186,140円</p>
Q	科目等履修生で、教職実践演習のみ受講したい場合、履修可能ですか？
A	教職実践演習のみの履修はできません。教育実習の単位を修得した上での学習が必要であり、教育実習先を自身で探す必要があります。
Q	卒業単位は修得したが、資格に関する科目が不足している場合、続けて在籍できますか？
A	卒業単位を修得した時点で卒業となるため、在籍を続けることはできません。資格に必要な科目は科目等履修生として再度出願し、履修する必要があります。
Q	情報以外の免許状は取得できませんか？
A	情報以外の免許状に関しては、本課程では課程認定を受けていないため、取得することができません。必要な科目を開講していないため、他の免許については履修できません。
Q	なぜ、教員免許状(情報)の履修を希望する場合は、教務課へ連絡する必要があるのですか？
A	<p>出身大学より「学力に関する証明書」を入手し、免許状申請を予定している都道府県の教育委員会で指導を受け、必要な科目が分かっているかを確認していただけます。</p> <p>特に、秋期(10月)生は、メディア科目の受講ができません。教科及び教科の指導法に関する科目はメディア授業が主となりますので、そちらについてもきちんと認識されているかを確認させていただきます。</p>

10. 振込依頼書および志願票の記入例

※金融機関所定の振り込み用紙、ATM、インターネットバンキングで振り込み、「志願票」に収納印が押印されていない場合は、振り込み明細票や本人控え等、振り込み日がわかるものを同封してください。

●振込依頼書記入例

電信 **振込依頼書** 正科目生1年次

選考料・入学金・授業料・学研費

依頼日	20XX年 2月 1日			勘定科目	
振込先	三菱UFJ銀行 新板橋支店			送信通番	
金額	¥194,760-			手数料	
受取人	預金科目	フツウ	口座番号	0037029	内訳 現金 当手 他手
	ガクテイキョウダガク				
	(学)帝京大学				
	依頼人コード	0004760007			
氏名	依頼人名	2105		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 収納印 A1 </div>	
	フリガナ	テイキョウ タロウ			
	受験者氏名(漢字)	帝京 太郎			
	住所	〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1			
			電話	090(1234)5678	

取り扱い金融機関へお願い

◎依頼人コードと依頼人名およびフリガナは空白を開けずに、すべて**電信**で打電してください。

◎三菱UFJ銀行本・支店からの振込の時は手数料は不要です。

振込金受取書

20XX年 2月 1日

金額	¥194,760-
振込先	三菱UFJ銀行 新板橋支店
受取人	(学)帝京大学
受験番号	4760007
学 科	理工情報(正科目生1年次)
受験者氏名	帝京 太郎
(備考) 2024年度 選考料・入学金・授業料・学研費	

上記の通り振込金として受け取りました。
(取扱金融機関)

収納印
A2

店

**【取扱店→依頼人】
【受験者が保管します】**

ここに受験番号が記載されています。出願後のお問い合わせの際や身上調査書、誓約書記入の際に必要となります。

収納印押印後は各自で保管してください。

●志願票記入例

志願票 帝京大学 理工学部情報科学科 通信教育課程 受付番号 1002

出願区分	正科目生1年次	受験番号	4760007	卒業	2008年 3月 ○○高等学校
フリガナ	テイキョウ タロウ	性別	男	国籍	日本
氏名	帝京 太郎	生年月日	西暦 1989年 8月 21日生(満XX才)		
現住所	〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1			職業	勤務先名称 (株)帝京 宇都宮支店 通信事業部 会社(商店)員
自宅電話	000(111)2222	携帯電話	090(1234)5678		
Eメール	■■■■■@gmail.com			教職希望(○で囲む)	(有) 無
振込金額	¥194,760-			既に取得している教員免許状の種類	高等学 校 一種(数学)
旧学籍番号				職業	

ここに受験番号が記載されています。出願後のお問い合わせの際や誓約書記入の際に必要となります。

収納印押印後は各自で保管してください。

該当する場合は記入してください。

以前に、本学の通信教育課程に在籍したことがある場合に記入してください。

12. 健康診断書(3カ月以内に発行されたもの)

出願情報の登録完了後にダウンロードする書類の中に、氏名・生年月日・性別が印字された健康診断書があります(出願サイトは2025年2月1日(水)よりアクセス可能です)。印刷した健康診断書をもって医療機関で証明を受けてください。出願期間より前に検診を受ける場合は、[こちら](#)を印刷し、使用してください。どちらの健康診断書を使っても問題ありません。

帝京大学グループ健康診断証明書

受付番号	受験番号	理工学部情報科学科 (通信教育課程)
1002	4760007	

医師記入欄

1. 検査方法は学校保健法施行規則の定めるところにより行ってください。
2. 該当事項を○で囲んでください。
3. 視力は裸眼か矯正のいずれかを検査してください。

フリガナ 氏名	テイキョウ タロウ 帝京 太郎	生年月日	西暦 1989 年 8 月 21 日生
		性別	男

現住所	〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1
-----	----------------------------

身長	. cm		エ ツ ク ス 線 検 査	直接・間接	年 月 日撮影	
体重	. kg			フィルムNo.		
視力	右	裸眼 矯正		.		
	左	裸眼 矯正		.		
聴力	右	異常なし・要精密		所見	異常なし・要精密	
	左	異常なし・要精密				
主な 既往症			その他の 診断事項			

(入学後に健康管理上注意すべき疾病がある場合は記入してください)

診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。

20 年 月 日

所在地

医療機関名

医師氏名



13. 誓約書の記入例

受験番号 第 4760007 号

帝京大学学長 冲永佳史 殿

誓 約 書

私儀 貴大学 通信教育課程に入学を許可されました。
 ついては在学中貴大学の学則および諸規則ならびに教育方針および指導方針を固く守ります。
 上記に違背した場合は如何なる処分をうけても異議のないことを連帯保証人との連署をもって誓約いたします。

20XX年 2 月 | 日(記入日)

入学学部・学科・コース		理工学部 情報科学科 通信教育課程	
本 人	現住所	〒 320-8551 自宅電話 000(111) 2222 携帯電話 090(1234) 5678 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1	
	フリガナ	テイキョウ タロウ	捺印
	氏名	帝京 太郎	
1989年 8月 21日生			
上の者について貴大学在学中に生じた一切の事項および一切の債務(但し20万円を上限とする)を保証いたします。			
連帯保証人	現住所	〒 320-0003 自宅電話 028(627) 7121 栃木県宇都宮市豊郷台 5-1	
	フリガナ	テイキョウ サザロウ	捺印
	氏名	帝京 三郎	
本人との関係(弟) 本人と(同居・別居)			

※ すべてペン又はボールペンで、楷書で丁寧に記入してください。
 ※ 連帯保証人は、成人で、独立の生計を立てている、成年者に限ります。捺印は、各々の印を使用してください。

本人自署で記入してください。

押印してください。

14. 個人情報の取り扱いに関する同意書の記入例

受付番号 1002
受験番号 4760007

個人情報の取り扱いに関する同意書

帝京大学 学長 殿

帝京大学における「個人情報保護方針」、「本学の保有する個人情報の利用目的及び取扱いについて」、「帝京大学宇都宮キャンパスにおける個人情報の取扱いについて」を了解し、私の個人情報を大学が提示した利用目的に沿って使用することに対して同意します。

20XX 年 2 月 1 日

学部・学科: 理工 学部 情報科 学科

氏名(本人自著):

帝京太郎

必ず記入してください。

15. 出願書類郵送用封筒表紙の記入例

郵便ポスト
投函不可
→郵便局の
窓口へ

3 2 0 - 8 5 5 1

栃木県宇都宮市豊郷台1-1
帝京大学 宇都宮キャンパス
教務課行

簡
易
書
留

(出願書類在中)

20XX年2月1日

理工学部 情報科学科 (通信教育課程)		出願区分			
		正科目生1年次			
		受付番号	1002	受験番号	4760007
志願者	住所	〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1			
	氏名	帝京 太郎			

☆出願前に不足書類がないか再度チェックしてください。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 志願票 <input checked="" type="checkbox"/> 志望理由書 <input checked="" type="checkbox"/> 誓約書および身上調査書 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いに関する同意書 <input checked="" type="checkbox"/> 健康診断書 <input type="checkbox"/> 履修登録用紙[科目等履修生のみ] <input checked="" type="checkbox"/> 講義概要またはシラバス[学士入学・編入学希望者のみ] <input checked="" type="checkbox"/> 卒業(見込)証明書・成績証明書 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 調査書 <input type="checkbox"/> 在学期間証明書・成績証明書 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験
(大学入学資格検定)合格成績証明書 <input type="checkbox"/> 基礎資格証明書[専修学校用] <input checked="" type="checkbox"/> 学力に関する証明書[教職希望者のみ] <input type="checkbox"/> 在留カードの写し・パスポートの写し[外国籍の方のみ] <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 赤字修正あり() |
|--|--|

締切日必着(消印有効ではありません)

出願サイトより、登録した内容に訂正がある場合は手書きで修正の上、こちらに訂正をした書類名を記入してください。

帝京大学宇都宮キャンパスにおける個人情報の取扱いについて

帝京大学宇都宮キャンパス（以下「本学」といいます。）は、個人情報保護に関する法令および「学校法人帝京大学個人情報保護方針」を遵守し、本学が入学する個人情報を以下のように取り扱います。

< 1. 個人情報の管理 >

学生の個人情報は、法令および学校法人帝京大学個人情報保護方針に則り、漏洩・滅失・毀損等がないよう安全に管理します。

< 2. 利用目的 >

学生の個人情報は、以下の目的のために利用します。

- ・学籍管理、履修管理、成績管理、学費情報管理等、学生等の学修支援を行うため
- ・学生生活相談、課外活動支援、奨学金管理、保健衛生管理等、学生等の学生生活支援を行うため
- ・進路指導、就職活動支援、進路就職情報管理等、学生等の進路就職支援を行うため
- ・保護者への成績表送付等、保護者との履修、成績、進路相談を行うため
- ・入学試験業務、入学手続業務執行のため
- ・本学および学校法人帝京大学が設置する各校の各種案内物送付のため
- ・学内施設・設備の利用管理、保安管理のため
- ・各種証明書発行のため
- ・出身高等学校への学修状況、学生生活状況等の情報提供を行うため
- ・大学評価（自己点検評価・第三者評価・認証評価等）、各種統計調査のため
- ・教育、研究、FD活動のため
- ・その他、本学の管理・運営に関する業務に必要な事項を処理するため

< 3. 個人情報の提供を伴う業務委託 >

本学は、個人情報の取扱を含む業務の一部を個人情報の適切な取扱に関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

< 4. その他 >

1. 「学校法人帝京大学個人情報保護方針」については学内掲示・HPでの公開を致します。
2. 上記のうち、情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を窓口までお申し出ください。

出願書類（所定用紙）

各種所定用紙のプリント出力時のご注意

印刷の際は、必ず印刷範囲の [現在のページ] にチェックをしてください。

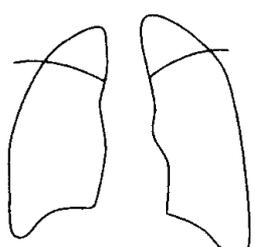
※ [現在のページ] をチェックしないとすべてのページが印刷されますので
ご注意ください。

[帝京大学グループ健康診断証明書](#)

[基礎資格証明書](#)

帝京大学グループ健康診断証明書

受付番号	受験番号	理工学部情報科学科 (通信教育課程)
------	------	-----------------------

医師記入欄					
1. 検査方法は学校保健法施行規則の定めるところにより行ってください。 2. 該当事項を○で囲んでください。 3. 視力は裸眼か矯正のいずれかを検査してください。					
フリガナ 氏名	生年月日		西暦 年 月 日生		
	性別				
現住所					
身長	. cm		エ ツ ク ス 線 検 査	直接・間接 年 月 日撮影	
体重	. kg			フィルムNo.	
視力	右	裸眼 矯正		.	
	左	裸眼 矯正		.	
聴力	右	異常なし・要精密		所見	
	左	異常なし・要精密			
主な 既往症			その他の 診断事項		
(入学後に健康管理上注意すべき疾病がある場合は記入してください)					
診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。 20 年 月 日 所在地 医療機関名 医師氏名					

基礎資格証明書
〈専修学校専門課程修了(見込)者用〉

帝京大学長 殿

下記の者は、本校において修業年限が2年以上あり、かつ、
修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上である専門課程
の修了(見込)者である。

フリガナ		性別	生年月日
氏名			年 月 日生
在学期間	年 月 日 入学	年 月 日 修了・修了見込	
専修学校名	学校	科 課程	
専修学校設置認可年月日	年 月 日		
上記学科の専門課程認可年月日	年 月 日		

留意事項

- この用紙は専修学校においてすべてご記入ください。
- 文部科学大臣の定める基準を満たす方に限ります。
- 昭和51年1月11日以降に専修学校専門課程の設置を受けた専門学校を対象に、学校教育法の一部が平成10年6月に改正され、平成11年4月より専修学校専門課程(専門学校)の卒業(修了)者で「修業年限が2年以上で課程の卒業に必要な総授業時間数が1,700時間以上」の基準を満たした方の大学編入が可能となりました。ご出身の専修学校専門課程に昭和51年4月以前に入学した方および専修学校として設置認可を受ける前に卒業した方は対象となりません。
- 専修学校設置認可年月日は、学校創立年月日ではありませんのでご注意ください。

上記の記載事項に誤りのないことを証明する。

年 月 日

学校所在地

学 校 名

学 校 長 名

印



帝京大学 宇都宮キャンパス
教務課

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1
TEL : 028-627-7117
eメール : tsushin@riko.teikyo-u.ac.jp
ホームページ : <https://www.teikyo-u.ac.jp/>